

Volleyball Annual '86



603度
成積

静岡県バレーボール協会



小山副会長
真田副会長
木部会長
綾部副会長

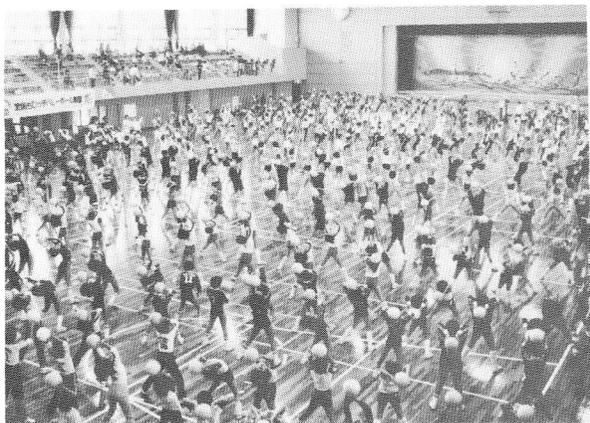


大会の度に多忙な
事務局のみなさん ▶





小学生の指導者勢揃い



小学生バレーも年々増大してきた



可愛い小学生も緊張して整列



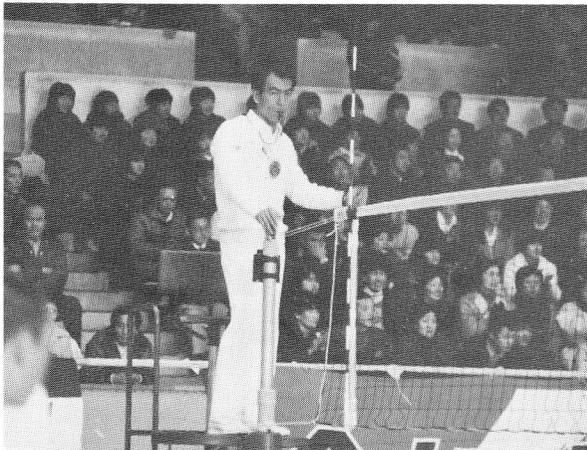
新人戦兼選抜大会決勝
掛川東対浜北西



応援にも熱が入る

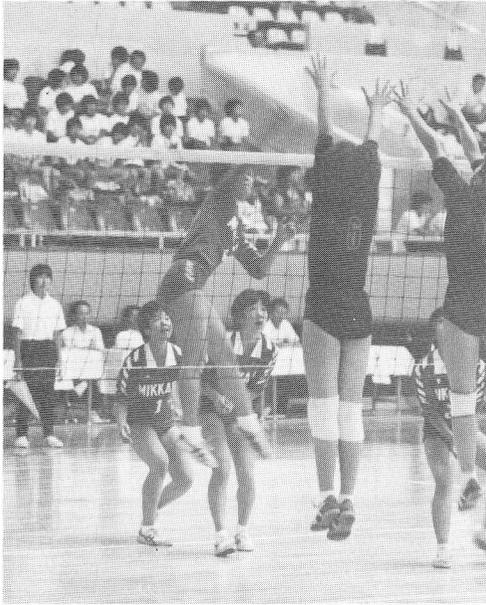


女子優勝チーム 掛川東高校



審判は山口一三先生





中学総体
女子決勝戦
高洲対三ヶ日



◀ 中学校総体
男子 決勝戦

浜北北部対江南





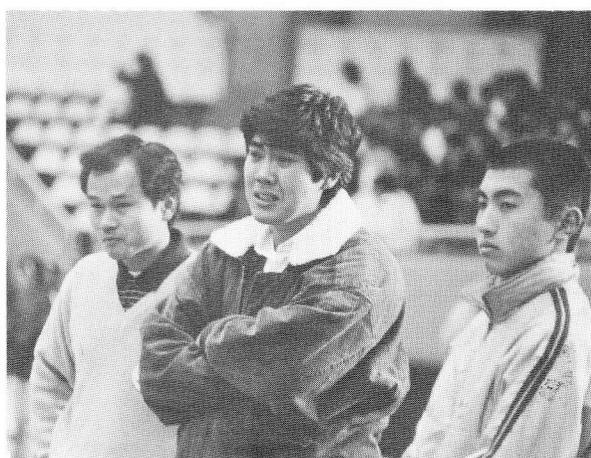
男子選抜 優勝チーム 掛川工業高校

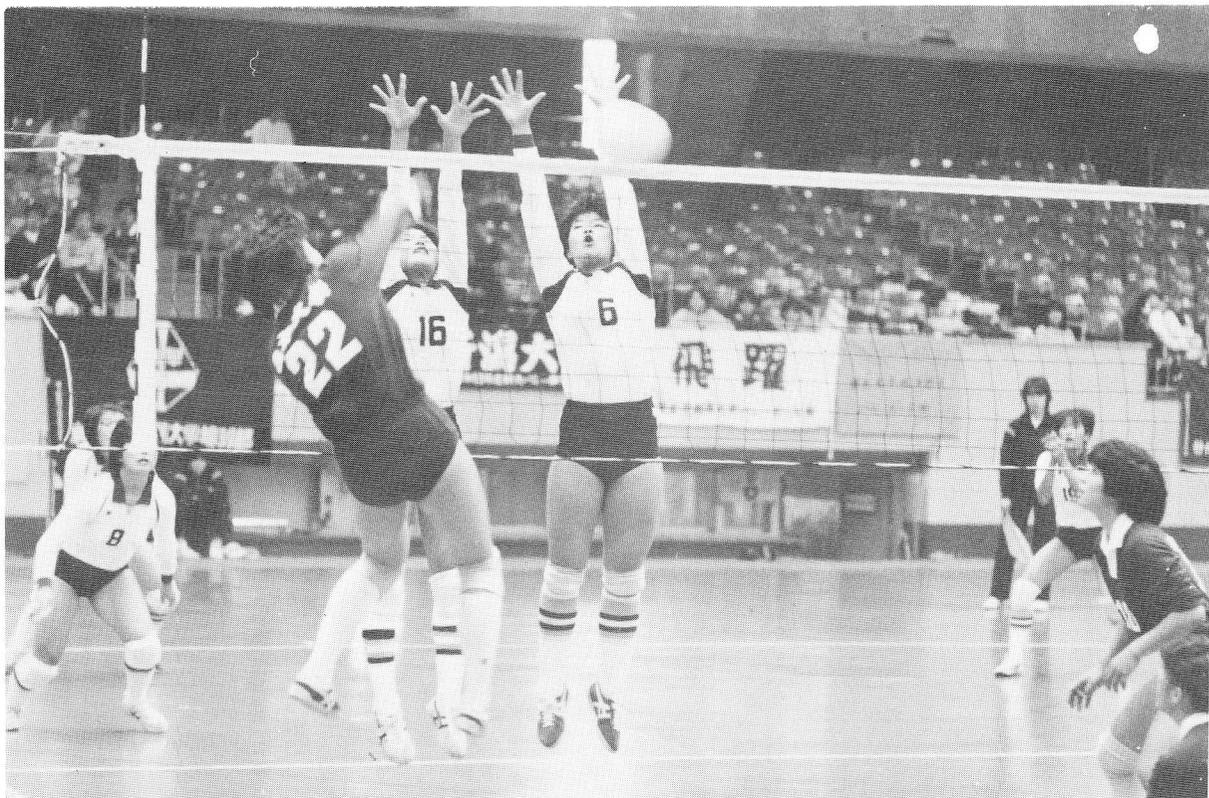


◀ 掛川工業高校
優勝の感激



決勝戦での真剣な作戦タイムをとる下田北高





大学女子 静岡大学も大いに活躍



◀ 稲村監督（静岡大）を囲んで

県下を制覇した
浜松聖隷短大チーム ▶





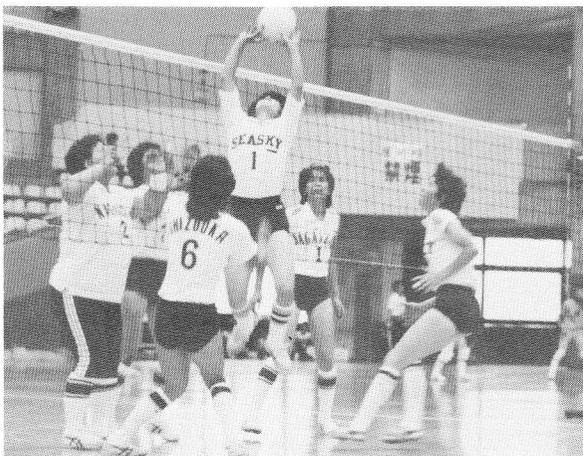
60年度大活躍の清水シースカイチーム



お父さんの応援も加熱気味



表彰には子供も一緒



家庭婦人チーム最高の名セッター池ヶ谷選手のトス

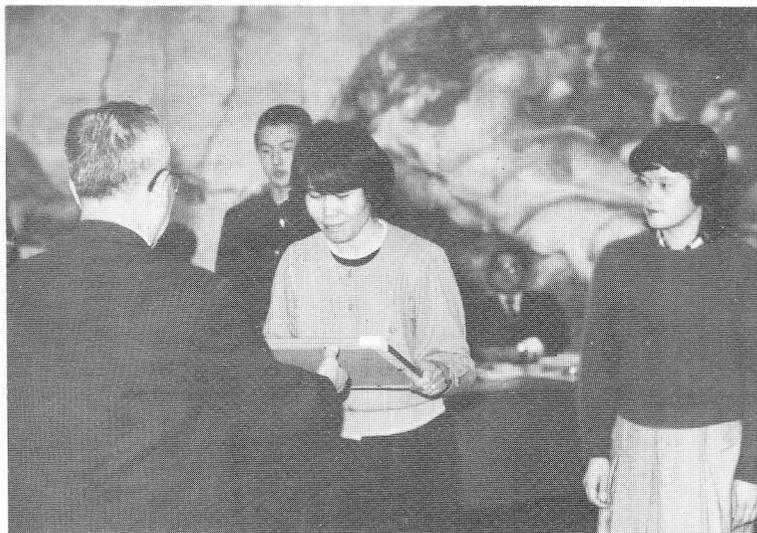


会長さんたりともベンチ入りではルール違反では？

昭和60年度 優秀団体及び優秀選手表彰



◀ 県立浜松西高等学校
男子バレーボール部
第16回 全国高等学校
バレーボール選抜優勝大会



細江クラブ ▶
第16回 全国家庭婦人
バレーボール大会
D組準優勝



◀ 薬科晶子 (豊田バレーボール・
スポーツ少年団)
ライオンカップ 第5回全日本
バレーボール小学生大会
ブロック賞受賞

目 次

1. 発刊にあたって	2
1) 静岡県バレーボール協会 会 長	
2) 静岡県バレーボール協会理事長	
2. 私とバレーボール	4
3. 業 務 委 員 会 一年のあゆみ	7
4. 専 門 部 一年の記録	13
1) 実業団・一般部	14
2) 家庭婦人部	38
3) 大 学 部	51
4) 高 校 部	58
5) 中 学 校 部	82
6) 小 学 生 部	94
5. 昭和 60 年度 登録チーム一覧表	105
6. 編 集 後 記	137



飛躍への大きな指標

静岡県バレーボール協会長

木部 佳 昭

あらゆるスポーツは、ある意味ではそのひとつ、ひとつがレコード＝記録です。一年間の記録や、その部門の足跡、業績を集大成したイヤブックス＝年鑑と呼ばれるものが、市販されているだけで日本国内で四百種にも上ると聞いたことがあります。このたびの「VOLLYBALL ANNUAL SHIZUOKA」の発刊はその記録を、文字通り記し、録し、年ごとに、さらに未来に向けての指標とするものとして、誠に意義深いものがあると存じます。

省りみますれば、私が協会長に就任いたしましたから20年余が経過いたしました。あの昭和39年の東京オリンピックでのわが国バレーチームの活躍をひとつのはずみとして、その感激をさらに大きな輪に広げ、高めようと当時みなさんと共に大いに意気込んだものでした。

その後の、各部門での飛躍向上は、あらためて記すまでもなく目を見張るものがございます。就任当時から、機会あるごとに申し上げておりますように、スポーツは記録＝勝利への道をきざむものであると同時に、一方でそれを通じての地域社会の連帯、人間関係の向上、そして身体づくりとそれぞれにもうひとつの多くの役割を果たすものです。

いま、国民の9割が中産階級といわれ、ものが豊かにあふれる時代ですが反面、スポーツとくにバレーボールを通じてのこころづくりが、大きな課題であります。

当協会に於ては、それを立派に果していることは、家庭婦人のバレーを見ても、あるいは高校、社会人、それぞれの分野の活動を見ても明らかであり、役員はもちろん、関係されるすべての方々、さらには、見えない部分で支えて頂いている方々の努力の賜であります。その意味で、このたびの「年鑑」発刊は、「前進飛躍へのまたとない指標」と重ねて申し上げ、ともに喜ぶものでございます。



VOLLY BALL ANNUAL SHIZUOKA 1986 の発刊に思う

県バレーボール協会理事長

海 瀬 重 詮

厳しい、苦しい時代から、楽しい、ほほえみの時代を繰り返し歴史は流れつづけ、そのあしあとが刻まれてきた。ここに “VOLLY BALL ANNUAL SHIZUOKA 1986” が、バレーボール愛好者の力で発刊できることは、きわめてよろこばしいことである。

長いバレーボールの歴史の中に我々が求めぬいて来たことは何であったか。大きくとらえて次の3本の柱であったろう。

その第1は

協会組織の内部充実であり、内外各地域等の協力を得た「和」であり

第2は

協会を安定させるための財源の確保

第3は

正しい指導のもとに、普及拡大をはかり、親しみやすいバレーボールの育成に馬力を注ぐと共に「強い静岡県チーム」の誕生である。

過去において、素晴らしい成績を残した数々の思い出を再燃焼させ、この発刊を機によみがえる「強い静岡県バレーボール」の築きあげることを心から希望するものである。



「バレーボールと私」

静岡県バレーボール協会副会長

真 田 賢 吉

私がバレーボールとかかわったのは大正 11 年（1922 年）4 月でした。

安井太郎氏の指導を受けたアスレチッククラブという市内教員 10 名余のメンバーとして、物干竿に縄をつけたネットで、パスとサーブの練習を、2 時間程やったのが最初でした。

当時の中等学校や高等女学校で、バレーボールをやるところは僅かでしたが、静岡市内の学校ではいくつかが始ままして、私は時々コーチに出かけておりました。

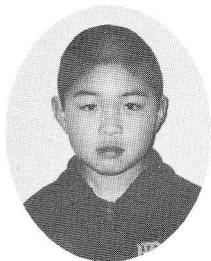
昭和 13 年 静岡精華に勤務してチームづくりをする一方県内や東海地区の各地の大会設立にもとび廻り、昭和 21 年（1946 年）戦後の混乱の中、物資もなく、静岡市もまだ焼野原のころ静岡県バレーボール協会を創立し副会長に推され、活動も組織的になりました。以後麦畑やさつまいも畑を整地しただけのお粗末なコートにラインを引き、ネットを張っての大会運営も大変な苦勞でした。

昭和 25 年全日本選抜優秀チーム招待大会、27 年天皇杯大会、28 年皇后杯大会、29 年全日本実業団大会、32 年国民体育大会と全日本大会を次々に開催することになり、これらに大観衆を集め得たことが、本県バレーボール人口を急増させることになりました。

昭和 32 年から 40 年まで理事長になり、また東海バレーボール協会の理事を仰せつかり、43 年には、私のこれらの仕事を認めていただいたのか、叙勲を受けることになりました。これも皆様のご支援あつてのことと大変嬉しく思いました。昭和 48 年の組織再編成当時の本県の登録数は 400 余チームと増加し、日本協会の中でも上位に進出いたしました。

昭和 40 年より県協会の副会長として今日に至りましたが登録数は 800 余チームと増加し、協会もますます活発となり日本でも有数の協会に発展してまいりました。

私が生れた明治 26 年ころ丁度アメリカでバレーボールが考案され、以来 93 年私の人生はバレーボールと共に生きてまいりました。



「私とバレーボール」

岡部バレーボールスポーツ少年団

芳 賀 健

ぼくがバレーを始めたのは3年の中ごろだった。友達にさそわれて入ったがみんなはうまいのに、ぼくだけパスがとどかず、くやしい思いをしたことをおぼえている。そのころはサーブもネットをこえるのがやっとだった。今の4年生より下手だったと思う。

ぼくたちのチームの初試合は、なんの大会か忘れたけれど、その日に最後に広幡とやって勝ったことはおぼえている。その日負け負けできていたのでコーチに、

「負けたら弁当ぬきだぞ」

といわれ必死にやった。「勝とう。」「どうしても勝ちたい。」という気持ちが声を出させ、それが勝利につながったと思う。(食欲のおかげかな)

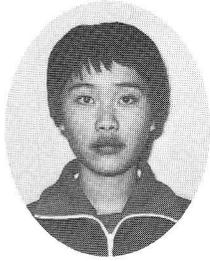
5年生になって新しいチームができ、ぼくはバックセンターになった。バックセンターはアタックもうてないしサーブもちょっとしかうてず、ただ捨うだけだったので、本当のことをいうとつまらなかった。でも、ぼくが捨わなければ、チームプレーがバラバラになってしまう。だからぼくは捨って捨って捨いまくって自分の役目を果たしたいと思った。

ぼくの心に一番残っているのは、第5回ライオンカップのことだ。ライオンカップの県大会決勝のことは、全国大会のことよりもよく覚えている。それは、相手が強いチームでないと声のでないぼくたちが、初めて大きい声を出して戦った試合だからだ。決勝はこの大きい声のおかげで勝ったといってもいいだろう。本当にあの時は必死だった。サーブレシーブをしんちょ

うにかえして、ブロックのカバーにも入っているいろいろと気をつかってとてもつかれた。試合が終わって見えたものはみんなが涙を流しながら笑っている顔だった。第11回岡部町長杯大会は、宿敵大淵が参加しなかったので、気がぬけて声がでなかった。決勝でも気がぬけていたぼくたちは大平に苦戦した。百獣の王ライオンはうさぎをたおすのにも全力をつくしたというから、ぼくたちも相手を甘く見すぎない方がいいと思った。

今年、ほとんどの大会を優勝でかざっているぼくたちにとって、とてもいい相手である東京の東金町ビーバーズが、2月の15.16日と岡部にやって来た。15日の夕方に来て一晩ぼくたちの家に泊まってから試合だった。15日の夜ぼくの家泊まった野沢くんは、とてもおもしろいふつうの小学生だった。でも次の日の試合になるとすごいハッスルプレーを見せてくれた。エースの滝くんがいない分だけ、東金町ビーバーズはチーム力が落ちていたが声は岡部とくらべものにならないほどよく出ていた。ビーバーズの選手には、ボールにとびつく気はくがあった。その点でとてもぼくたちはかなわなかった。

この練習試合を通していろんなことを学んだけれど、やっぱり声を出すことが一つの勝因になることもある、ということがわかり、体力や技術だけではなくて気持ちの持ち方がとても大切だと感じた。これからも、大きな声を出してバレーを続けたいと思う。



「バレーボールと私」

豊田バレーボール少年団

藁 科 晶 子

私がバレーボールをやりたいと思ったのは1年生の時です。わけは姉が少年団へ入団しており、姉達の練習はおもしろく、そして楽しくやっていたし、かんとく、コーチがやさしそうだったからです。

3年生になって、前から入りたかった少年団に入団しました。今のかんとく、コーチがわかったのは、練習の時です。始めのうちはきそ練習ばかりで、早くボールを使ってやりたいと思っていました。ボールを使って練習した時は、うれしくてうれしくて、大はしゃぎした事を覚えています。

けれど、だんだん練習が厳しくなると、大勢いた団員も次々とやめてしまい、私も厳しい練習がだんだんいやになり、やめたくなった事もありました。けれども、少年団を好きで入ったんだから最後までがんばっていきましょうと思い、毎日練習へ行きました。4年生の時、私は水泳部へ入っていて、夕方おそくまでやり、おなかが痛くて休んだ事もたびたびありました。

私はよくねんごをして、みんなにめいわくをかけてしまい、みんなが練習をしている時、見学をしていました。ふだん練習をやっていると、『早く終わらないかな』と考えていましたが、見学していると、『早く足を治してみんなといっしょにやりたいな』と思った事が何度もあります。かんとくが教えてくれた言葉に、“道徳というのは一人が十一人を思いやる心だ”という事です。この意味は、一人一人がみんなの事を考えるという事です。この言葉は今でもはっきりと覚えています。

五、六年生になると、週五日の練習です。それに大会が近くなると、毎日練習がありました。家に帰るとつかれてへとへとだったけれど、優勝したかったため、一生けん命やった事を覚えています。

こんな厳しい練習の中で楽しかった事は、夏休みのバーベキューとお正月のおしるこ会でした。バーベキューの時は、みんなで遊んだり花火などで遊びました。おしるこ会では交流試合をやり、そのあとみんなでおもちを食べたりした時はとっても楽しかった。

小学校生活最後の夏、ライオンカップ県大会で優勝できてとてもうれしかった。下級生の団員も一生けん命大きな声で応援してくれました。みんな、一つの気持ちで優勝を目覚してがんばりました。優勝と決定した時は、「ヤッター優勝だ。」と思った。みんなで飛びあがって喜んだ。これは最高の思い出だ。チームのみんな応援してくれたみんなもそう思っていたにちがいない。

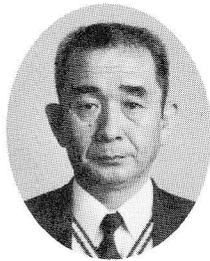
念願の全国大会へ行けた事はとても光栄でした。準々決勝で全国優勝した徳島県の桑島スポーツ少年団と試合をして負けてしまいましたが力一杯がんばりました。ベスト8まで残った事は、忘れられない良い思い出です。

バレーボールをやってきて礼儀、思いやる心、良い習慣を作るという事を学びました。

これからもみんなと力を合わせてがんばっていきましょうと思います。

業務委員会

一年のあゆみ



総務委員会

総務委員長 中 村 均

昭和60年度から、機構改革をはかることになり、事務局・経理部・編集部・事業部（新設）の事務部門を包含した総務委員会が発足した。

理由としては、今まで事務局長が渉外から、国際大会・国内大会（日本リーグ・実業団リーグ）全国大会さらには、県内大会の実務責任者として企画、運営、事務処理等を行ってきたが、国際大会や国内大会の開催回数が増加、それに県協会の組織も大きくなってきたので、業務を分担することによって運営効率が良くなると判断した。

組織は、県協会役員名簿に掲載されている通りであるが、委員長は副理事長の中から選任され委員会を統括する。

副委員長は事務局長、経理部長がそれぞれ兼務し、主事は事務局長補佐が兼務することになった。

1. 職務分担

(1) 総務委員長

全国大会、ブロック大会（中部日本、東海）の企画運営や外部団体（日本協会、中部日本連合、東海連盟、日本体育協会、県体育協会、県教育委員会等）及び報道関係との連絡等の渉外的事務を担当する。

(2) 事務局

主として県内大会の企画運営並びに事務処理、各業務委員会、各専門部との連携、登録業務、その他各部門に属さない事項の処理を担当する。

(3) 経理部

協会の会計を担当する。

(4) 編集部

県協会史編さんのための資料収集、その年度の大会記録を中心に各業務委員会、各専門部の年間の仕事の内容、役員の名簿、全国大会出場チームの報告、写真のページ、スナップ写真等を載せたバレーボール年鑑の発行等を担当する。

(5) 事業部（新設）

日本協会が主催する国際大会、国内大会（日本リーグ、実業団リーグ）等の静岡大会についての企画運営並びに事務処理を担当する。

2. 60年度活動実施報告

(1) 各種大会準備及び実施

☆全日本9人制総合男子選手権大会

60.11.16～18

草薙、静岡市民、静岡南部

☆日米対抗女子静岡大会

60.8.11 草薙

☆日本リーグ 草薙

男子 61.2.16

女子 61.2.23

☆実業団リーグ

東レ会場 61.3.1

浜松会場 61.3.2

☆東海大会

小学生 60.8.4 藤枝

東海国体 " 9.8 草薙

家庭婦人 " 10.27 東レ

(2) 年鑑発行の準備

61年6月頃発行予定、各チーム1冊(@1,500)購入が総会で決定したので資金面での心配は解消。

名称 VOLLEYBALL ANNUAL
SHIZUOKA 1986

(3) 三役会（3回）、常任理事会（2回）、評議員総会の準備及び開催

(4) 業務及び会計監査

61年2月2日 6時間かけて行われた。

本年度は、委員会制度になって初めての年で、日米対抗の準備の時多少のとまどいがあったが日本リーグでは効果が発揮されスムーズに運営された。又県協会発足以来の念願であった年鑑が発行される運びとなったことは総務委員会制度が良い方向に動きだしたと感じております。



「競技委員会の反省、所感」

競技委員長 西 島 利 一

年々、静岡県バレーボール協会が主催、主管する大会が隆盛を極めていく事は、一バレーボールラーとして大変に喜ばしい限りであります。然しその陰には数多くの役員諸氏、チーム関係者の御協力、御指導があつての賜物と深く感謝申し上げる次第です。

扱て競技委員会とは、御承知の通り年度当初の競技日程の立案、計画作成から始まり、大会の運営、進行を掌り、競技会の運営に関するいっさいの問題について対処しなければならないのが職務だと思います。もちろん大会委員長に連絡、報告し、裁断を受けなければならない事項、指導を受けなければならない事項に関してはそれに応じた処置をとるわけですが、お互いに自覚と自負の上になつて任務遂行してゆきたいものと思います。

扱て私は昭和 42 年、県協会の機構改革と共に競技（当時は企画運営）に携わるようになり（その間 4 ケ年県家庭婦人連盟に居候）今日に至っているわけですが、当時は競技としての役割分担、任務が周知徹底されておらず、数人の者で全てを賄なければならないとか、更に大会会場も駿府コートのように外のコート割り振らなければならない等、悪条件の中で天候によっては、雑布で雨水を吸い取って急場を凌いだ事、等が昨日の事のように想い出されます。又機構改

革に踏みきつた年に、全日本実業団選手権大会を当県で開催しなければならず、当時の事務局長、野田明宏氏（現副理事長）と東奔西走した事も想い出の一コマであります。

そこで、競技委員とは大会を運営、進行するにあたり、忘れてならないものに審判との連携と、意志の疎通を密にする事だと思います。中部日本総合、全日本のような大きな規模の大会になると一層その必要性が強調されるわけですが、過去、戸本隆雄審判委員長（現監事）、池谷始朗審判委員長（現副理事長）、そして現在の河村俊彦審判委員長の良き師と巡り合えた事も、今日の競技委員会を語る時、忘れてはならない事柄だろうと思います。記憶に新しいものとして、昭和 60 年の全日本総合男子選手権大会は 11 月開催でありましたが、数少ない競技委員に対し、河村俊彦氏、鈴木明氏、の心温まる御理解の下に、競技審判という形がとれた事は、特筆に値する理想像ではなかったかと思うのは、私の一人よがりでしょうか。

今後も大会を運営、進行するにあたり、競技と審判の連携を密にする中で、競技審判という考えで任務遂行していただきたいものと思います。とかく審判技術の習得に心逸る気持も無理からぬ事ではありますが、今後大きく育ち、はばたく若人諸氏に紙面を通してお願い申し上げます。



審判委員会

審判委員長 河村俊彦

昭和 60 年度は、各大会の運行とともに、全日本 9 人制総合男子選手権大会の開催と、6 人制レフリースクールの開講等、多忙な 1 年間が過ぎました。

昭和 61 年度をむかえ、新たな気持で常に前向きな姿勢で、審判委員会を運営してゆきます。

現在審判委員会は、委員長、副委員長(2 名)、審判部長、規則部長、各専門部の審判部長、及び、各地区の審判部長により構成されており、委員会は、定期的会合と必要に応じて、会合を開催して居ます。又、開催する事業により随時プロジェクトチームを編成し効率的な運営を行っています。委員会のメンバーは、全員が熱心で、会合もわきあいあいのうちに、真険に討議されています。各大会に於ける審判員の確保と質の向上が要望されていますが、レフリースクール、審判講習会の開講や、各大会での指導等を通じて、目的を達成してゆきたいと考えています。

審判のむづかしさは、誰もが感じているものであり、満足ゆく審判とはなかなか出来ないものであります。

審判とは、「相対する 2 チームが相互に勝負を競うゲームの場でルールを代弁者として公平で、正確かつ、迅速に判定するとともに、ゲームを円滑に運行し管理することを云う」、これが審判の定義であり、基本的な任務であります。つまり、規則に従って公平に判断し、競技を明るくなめらかに進行させるのであります。

したがって、審判とは、その競技の司会者役であり、各競技者の良い技術を生み出す援護者であると云えます。その為には、競技の特質、

特徴、ルールを良く知り、的確な判断と、タイミングのよい正しい判定を送れる様に努めなければなりません。

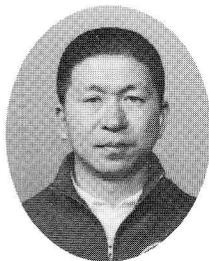
バレーボールの審判は、勉強すれば誰でも出来ますが、競技者から信頼される様な上手に審判をするという事は、非常にむづかしいものがあります。少しでも満足ゆく審判をする為には、常に勉強することに他なりません。人は、反復繰り返す事により習得するものであり、積極的に審判の経験を積み、他人のアドバイスを素直に聞き入れる様に努めるべきであり、常に向上意欲をもつ事が、その人の進歩につながると考えます。

この様な審判員が、1 人でも多く育つ事が、各大会の円滑が運行に役立つものと信じます。

今年度も、審判委員会の人達と充分に協議すると共に、他の各委員会、及び、専門部とも連けいを保ちながら県協会の発展につくしてゆきたいと思ひます。

＜年間の仕事の内容＞

1. 県内、県外大会への審判員派遣、及び、講習会、研修会への派遣
 - 特に、各市町村協会が、審判講習会を開催する場合は必ず、県協会審判委員会、鈴木明氏に依頼連絡すること。
2. レフリースクール＜6・9人制＞の運営、実施
3. 62 年度、中学総体に向けて、審判部門の準備、及び技術の習得
4. 日協 B 級審判員の見直しと申請
5. 日協名誉審判員の申請
6. 競技委員会、指導普及委員会、強化委員会等の横のつながりをしっかり持ち、前進する。



指導普及委員会

指導普及委員長 外山圭介

現在指導普及部が主として進めていることは、

1. 各種指導者講習会及び研修会への参加
 2. 少年少女バレーボールの普及推進。
 3. 婦人バレーボールの啓蒙。
 4. 静岡県C級審判員の養成（審判委員会とのタイアップ）
- の4項目であります。

◎指導者養成であります。日本バレーボール協会では、日本体育協会スポーツ指導者制度にのっとり、バレーボール指導者を有効に活用することがバレーボールのますますの発展につながるものであるという考えから、構想の一端として、昭和65年にはブロック大会の監督かコーチいずれかが公認指導者でなければならず、更には昭和70年には総てのバレーボールの監督かコーチは有資格者でなければならないというシステムを思考している現状にあります。このことから指導普及委員会では県内バレーボール指導者の養成はもとより、既資格取得者の調査を早急にしなければならないと思っています。また、現有取得者においては、スポーツ指導員・コーチ・上級コーチにそれぞれ移行して戴くべく、コーチ・上級コーチへの移行講習会への

参加をお願いします。

婦人バレーボールや小学生バレーボールの開発も今後の課題であります。

特に婦人においては、情報の不足や、くわず嫌いでバレーボールとのすばらしい出会いの機会がなく、スポーツに親しむことが少ない方々への働きかけをどうするか、また、市町村の体育指導委員を中心に発展した「ゴムボールのバレーボール」を少し進歩させた「軽量4号球」のバレーボール、更には「革ボール」への移行といった意欲ある方々への指導助言を進め、技術の向上のみならず、クラブの運営やバレーボールのすばらしさの啓発を計りたい。

小学生バレーボールの普及においても、関係各位の努力にもかかわらず、条件が整わないために参加したいができないでいる子供達がいる様です。そういった地域への働きかけを早急にしなければなりません。

専門部（婦人部・小学生部）においても尚一層の働きかけをお願いするとともに、普及委員会では助言、情報の提供をしておりますのでご支援の程お願いします。



「強化を考える」

強化委員長 安 達 忠 勝

「全国大会で賞状をもらうチームを育てる」これが強化委員会のねらいであります。

本県のバレーボールは、チビッ子からおかあさんまで、多くの人たちが楽しんでおり、野球、サッカーに次ぐ人気スポーツであります。そのレベルは残念ながら、満足できるものではありません。

全国大会で、本県のチームが優勝や上位に入賞することは単に個人の名誉だけでなく、バレーボール愛好者に夢と希望を与えるとともに、愛好者をさらに増加させ、本県のバレーボールをより発展させることになるのであります。

強化委員会では、勝つためには、素質ある選手を集め、優秀な指導者のもとで、有効な練習をすることが肝要と考えて、これらを具体的に実行するため、各専門部と連携を図りながら、次のような強化方策を実施しています。

- 小学生……スポーツ少年団等チビッ子バレーボールの普及を図って、有能な子どもを確保するため、指導普及委員会と協力して、指導者養成講習会を実施
- 中学生……指定された強化指導者にトレーニング法、コーチング等について、年5回の研修会の実施
県外の優秀チームを本県に招待し、強化練習会の実施
- 高校生……国民体育大会に備えて、優秀な選手を集めた県選抜チームの編成
- 社会人……強化チームを指定し、選手勧誘の助言、遠征費の援助、一般県選抜チームの編成

強化研修……小、中、高、社の連携をもった強化策をすすめるため、強化委員、各専門部代表による強化研修会の実施

これらの強化方策はすぐに効果は出るものではありませんが、担当者のたゆまぬ努力によって着々と基礎がためがすすみ、その成果が出はじめています。

60年度の主な成績をあげてみますと

- * チビッ子バレーボールチームの増加
- * 春の高校バレーで、浜松西高校(男子)がベスト4入り
- * 高校男子県選抜チームが東海代表として国民体育大会に出場し、ベスト8入り
- * 全日本男子9人制選手権大会で、一般県選抜チームが、ベスト8入り

今後の強化を考えるうえで重要なことは、他県に勝とうとするならば、質、量とも他県より優る強化策が実行されなければなりません。そのためには、

- ①いかにして、優秀な選手を確保するか。
- ②どのようにして、レベルの高い指導者を養成するか。
- ③そして、レベルの高い練習の機会を、いかに多く与えていくか。

の基本理念を、関係者全員が認識し力を合せて取り組む必要があります。そして、少ない経費でより効果的な強化をするためには、その対象を、できるだけ絞り、少ない人数に厚く、力を注ぐべきだと考えます。

専 門 部

一 年 の 記 録



実 業 団

実業団部長 藤 村 至 男

それぞれの企業にあって、それぞれの仕事をこなし、その余暇にバレーボールにも情熱を燃やし企業の名を背負って奮闘するチームの集まりである。

実業団に所属するチームの人達はそれだけに仕事にもバレーボールにも、常に誇りをもって立ち向っている人達の集まりでもある訳です。

こうした人達がより良くバレーボールに打ち込み、目標を達成する事が出来る様な雰囲気をつくって行く事が、実業団連盟に果せられた使命であると思います。

現在、男女合わせての登録が 60 チームを越す実業団連盟も現体勢が形成されて早や 15 年を経過しようとしており、それ以前にも連盟の名は県協会の組織の中にくみ入れられ長くその活動を繰り広げて来た訳ですが、当時は県協会にまとめて面倒をみて貰った形で連盟が自主的に各チームの要望を取り入れ、独自の運営という所までは及ばなかったきらいがあり、何とか一本立ちを図りたいという気運が当然の様に高まり、昭和 45 年に当時連盟に加盟していた数チームの関係者が集まり再考・再建の準備がすすめられた経緯があります。

連盟のモットーとして、後退する事なく常に一步前進を心掛ける様、常日頃から提唱しており、毎年の様に新しい試みが提起され検討が加えられ実行に移されて着実に前進をとげ、その一つ一つが今ある実業団連盟の歴史となっていると思います。

その一例として、昭和 46 年に発足し、今や第 16 回目を数えんとしている実業団連盟のメイ

ン大会でもある、県内 9 人制実業団リーグ戦は各チームの深いご理解・ご協力もあって順調に推移する中で、更にこの大会を権威あるものとするべく全日本実業団選手権大会への代表推せん的一端をこのリーグ戦の優勝チームから選ぶ事を取り入れたり、各部（男子 1～5 部、女子 1～2 部）の優勝、準優勝チームを静岐対抗（静岡県と岐阜県の実業団同志の対抗戦）戦に推せん出場させる等、上位チームにもまた中間層にもそして底辺層にも意欲をもって参加してもらえる様な工夫が盛り込まれています。

その他、我々のよき相談相手でバレー協会の大先輩でもあり、よき親父でもある小山幸隆氏を会長に擁する所から名前をいただいた小山杯争奪県 9 人制実業団選手権大会や、今後ますます連盟を充実させて行く意味からも一チームでも多くの仲間を受け入れる手段のひとつとして未登録チームの大会等、数々の大会を実施する等も今後に残された問題点として、国体に単独出場出来る様な強力チームの育成、県内実業団チームの 6 人制バレーに対する見直し、東海実業団連盟への参画等、多くの課題を考えて行かなければならないと思います。

これからもよろしく、実業団連盟にご支援賜わります様お願い致します。



昭和60年をふりかえって

一般部長 伊藤 真 一

60年度一般部には大きな課題が二つあった。一つはクラブ連盟設立の件であり、一つは全日本九人制総合へ向けての選抜チーム結成の件であった。クラブ連盟設立に関しては日本協会の方でも、その必要性を感じながら、余りにも各地方、各県によって考え方や、現状に差があり、一挙に進展するような状態でないのが実状である。然し本県に於ては東海四県（何処にも連盟は存在していない）に先駆けてその結成を果そうと検討を重ねた。結果、多少の困難（一般クラブチームの性格から生れる種々の）はあろうとも、何とか61年度後半には旗上げしようと話し合いが高まった。従って前半は具体的な問題である、規則、財政上の問題、役員構成についての問題、特色ある行事等について検討し、各チームの賛同を得たいと考えて居ります。因みに東海に於ては、二県がその必要を感じ、他の二県は全くその必要はないと考えているようです。さて選抜チームについては、一昨年（1978年）の12月頃、一般部強化委員長の望月晃より、60年全日本九人制総合に向けて、一般部より是非代表を送りたいということと、地元開催なのだから何とか互角に戦え、ベスト8へ入れるようなチームをとというような話があり、（本当は県協会そのものがそういう意向や動きを早くとるべきだったと考えるのだが……）一般役員有志を固めた。やがて全チームの承認を得、更に教員チームの賛同も得られて、別表のようなメンバーでチームは発足した。クラブカップで全国大会・教員全国大会までは、それぞれに属するチームで練習をとということと、各選手の仕事や地

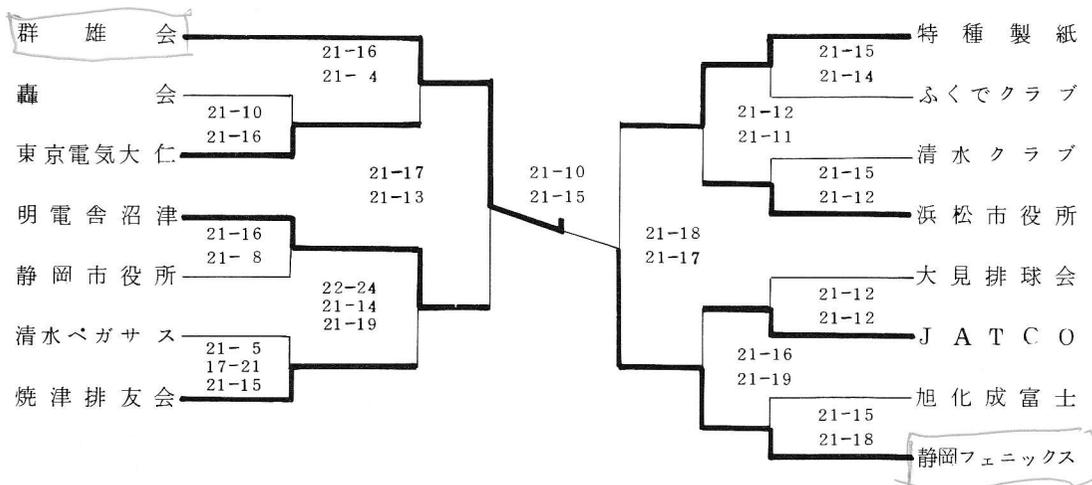
域に問題があって、実際に集まって練習がされ始めたのは8月も末であった。それ以後何回か練習及び練習試合を開催したが、全員そろっての練習はたった一度という苦しさであった。

こんな中ではあったが、段々と意識は高まり、頑張り始め、県予選会では第一位、群雄会と共に県の代表権を握った。そして選抜チームが全国大会で念願であるベスト8入りを果たした訳であったが、達成する迄には望月監督をはじめとしたスタッフ及び選手一同の並々ならない苦勞（金銭上・練習上の）があったのは言うまでもない。よくやってくれたという他はない。このことが、県協会の各方面に新しい波紋を起し、各クラブチームにやれば出来る、やってみようというような気風が生じれば望外の喜びというものです。その他のことについて言えば、群雄会が全国クラブカップで16に入り、栄クラブが念願かなって全国大会に出場したことや、浜岡体協が6人制の方で頑張っていることが特筆されるべきであろう。最後になりましたが、一般部が担当している県民パレー大会については来年度も検討の余地があるように思う。60年は一般部にとってほんとうに実り多い年であった。

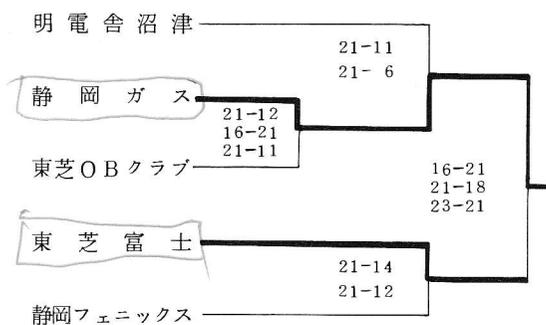
第24回 静岡まつりバレーボール大会兼静岡県9人制バレーボール大会

60.3.21

<一般男子>



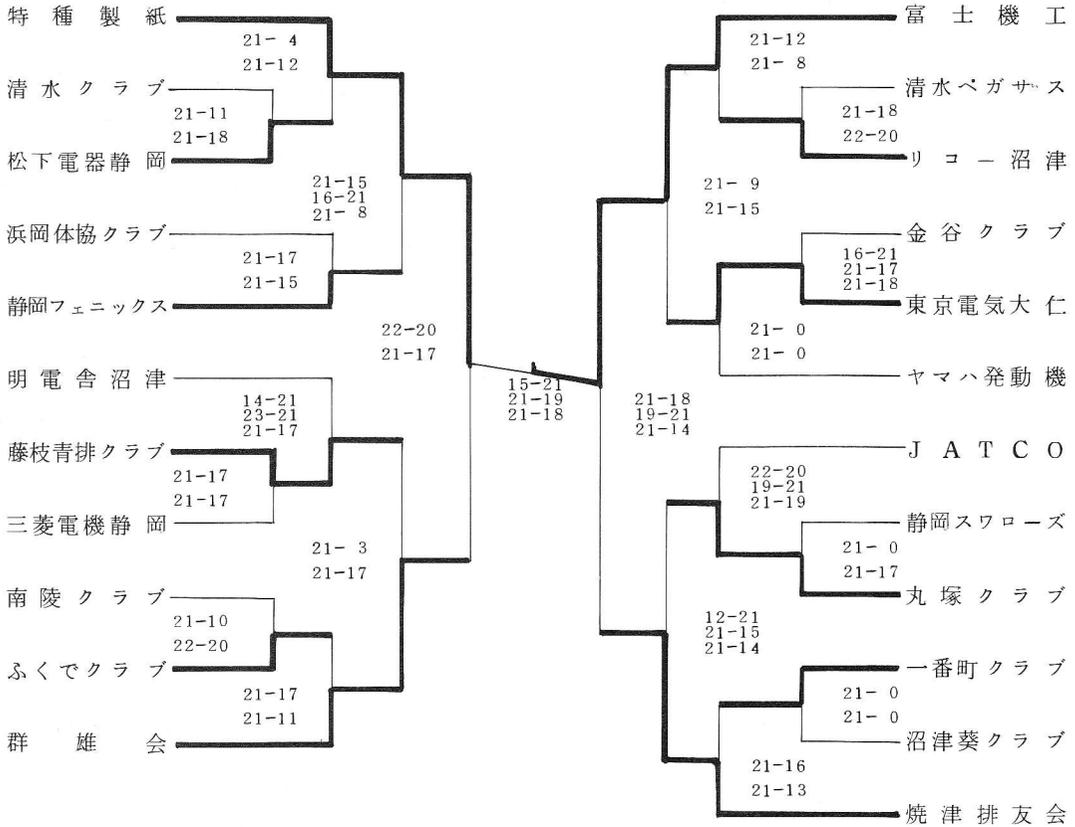
<一般女子>



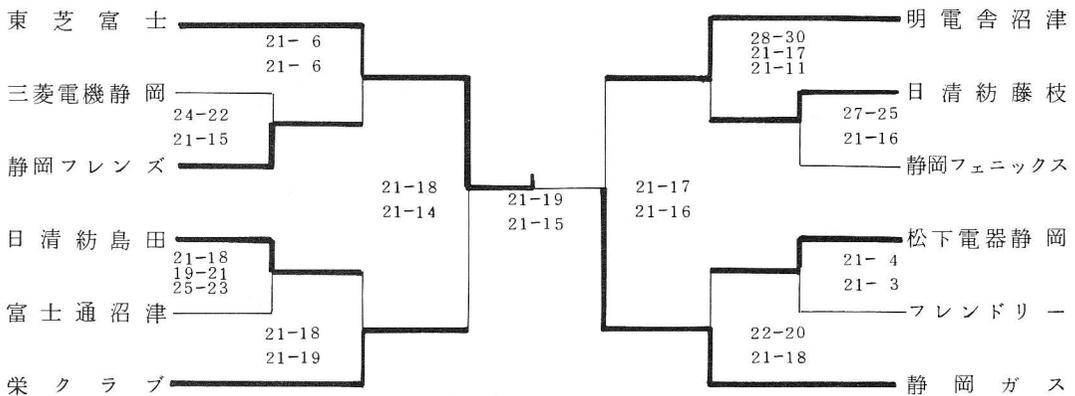
東海 9 人制総合静岡県予選

60.4.21

<男子の部>



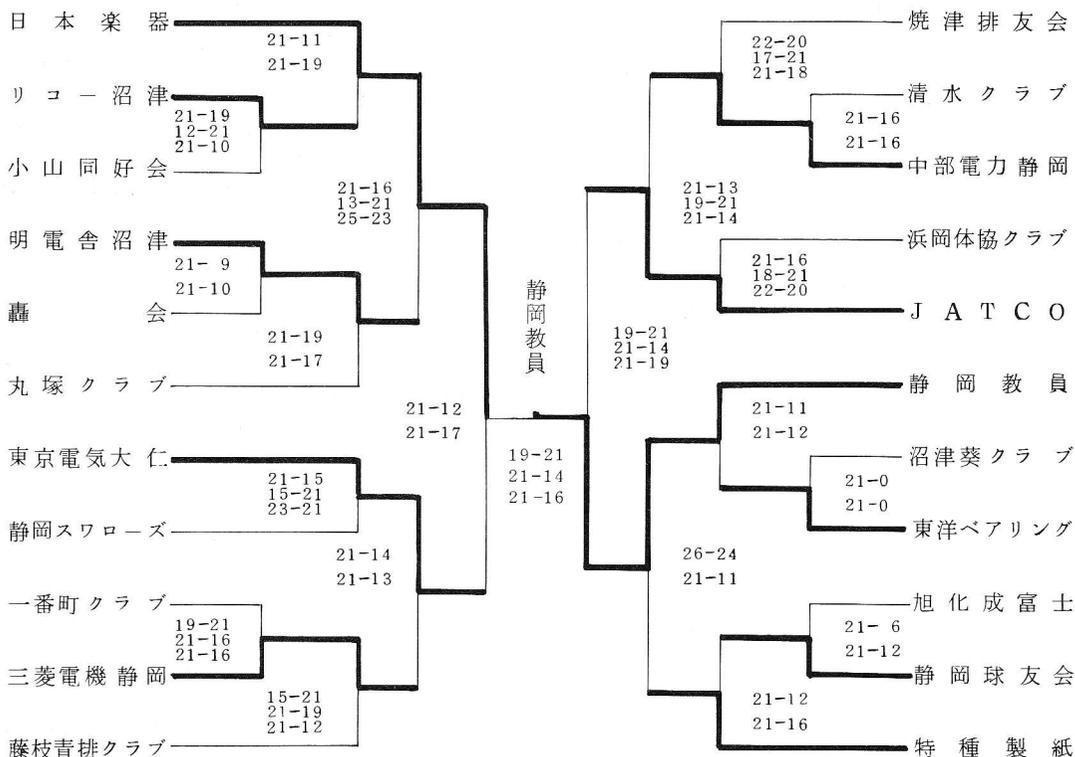
<女子の部>



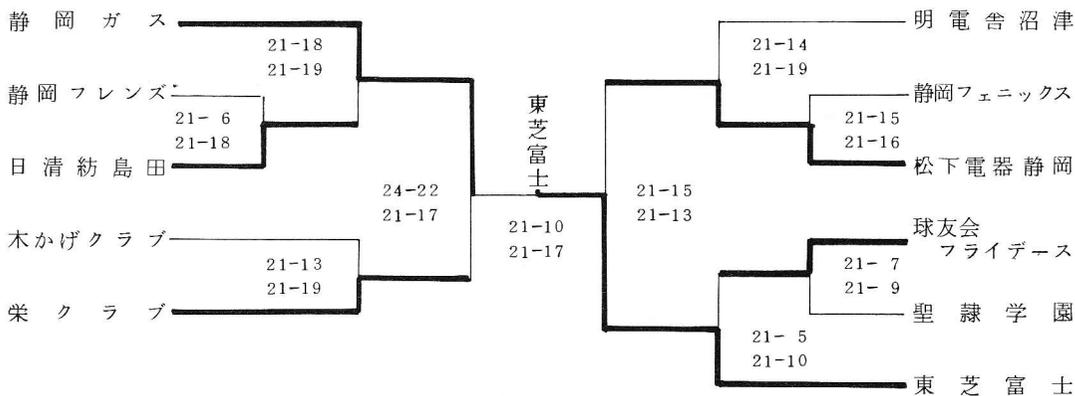
真田杯争奪バレーボール優勝大会

60.6.23

<男子の部>



<女子の部>

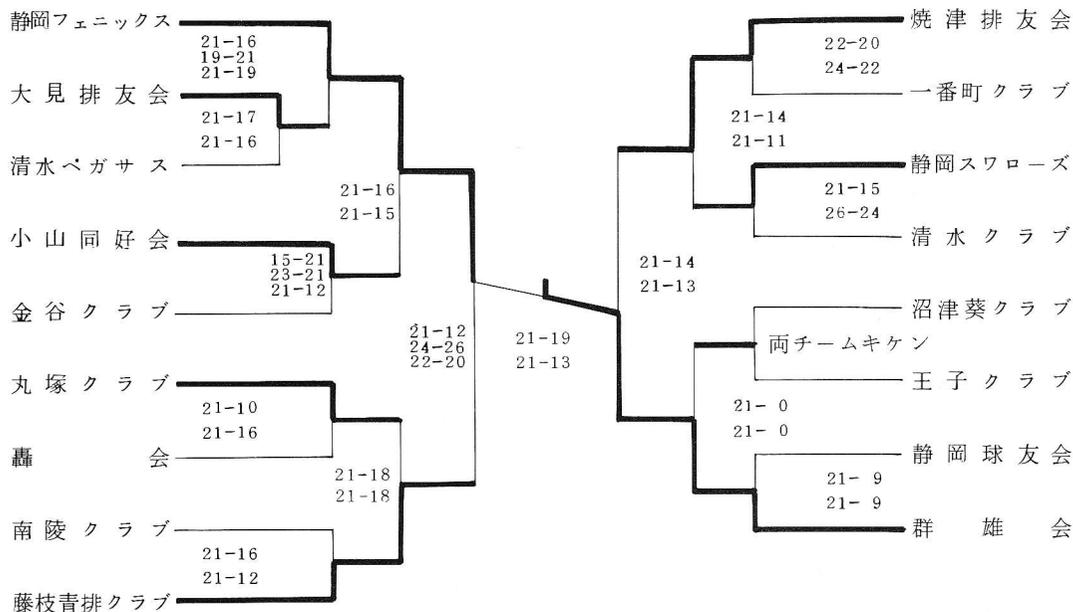


全日本クラブカップ県予選

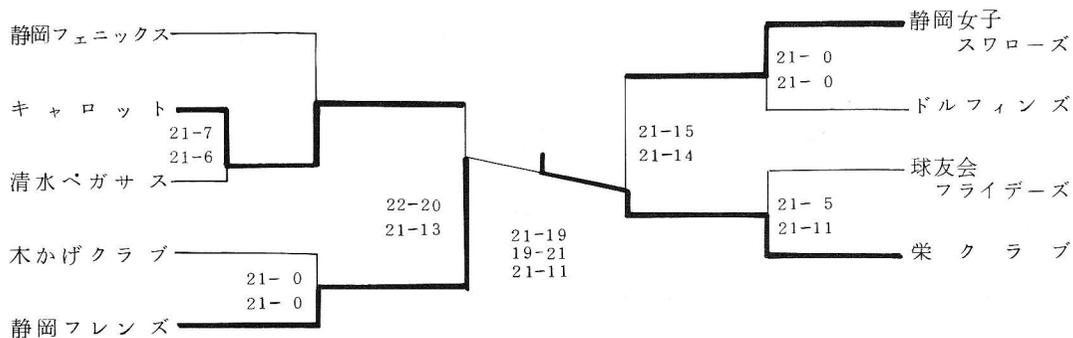
60.7.9

9人制

<男子の部>



<女子の部>



全 国 大 会

< 男 子 の 部 >

予選グループ 1回戦

山 梨 ク ラ ブ $2 \left\{ \begin{array}{l} 21-12 \\ 21-19 \end{array} \right\} 0$ 群 雄 会

予選グループ 2回戦

群 雄 会 $2 \left\{ \begin{array}{l} 22-20 \\ 21-11 \end{array} \right\} 0$ 大河原体協クラブ

決勝トーナメント

1 回 戦

群 雄 会 $2 \left\{ \begin{array}{l} 21-14 \\ 22-20 \end{array} \right\} 0$ 霧 島 球 友 会

2 回 戦

群 雄 会 $2 \left\{ \begin{array}{l} 30-32 \\ 21-11 \\ 21-10 \end{array} \right\} 1$ 東 芝 大 阪 O B

3 回 戦

群 雄 会 $2 \left\{ \begin{array}{l} 16-21 \\ 21-16 \\ 11-21 \end{array} \right\} 1$ 島 根 ク ラ ブ

< 女 子 の 部 >

予選グループ 1回戦

栄 ク ラ ブ $1 \left\{ \begin{array}{l} 21-13 \\ 17-21 \\ 14-21 \end{array} \right\} 2$ 岩 手 県 サ ン ク ラ ブ

予選グループ 2回戦

栄 ク ラ ブ $2 \left\{ \begin{array}{l} 21-13 \\ 21-10 \end{array} \right\} 0$ 兵 庫 県 や ん ぐ あ い お い

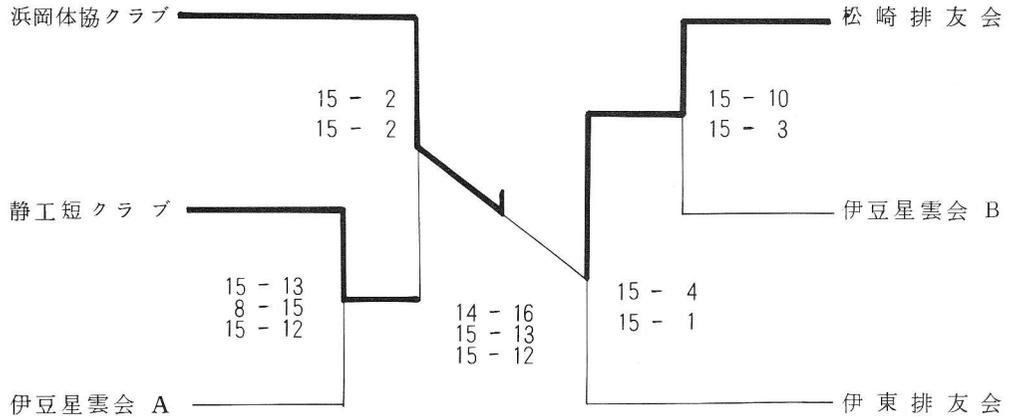
決勝トーナメント

1 回 戦

栄 ク ラ ブ $0 \left\{ \begin{array}{l} 14-21 \\ 17-21 \end{array} \right\} 2$ 福 岡 県 西 銀 球 友 ク ラ ブ

6 人 制

< 男 子 の 部 >



< 女 子 の 部 >



全 国 大 会

< 男 子 の 部 >

予選リーグ戦

浜岡体協クラブ $0 \left\{ \begin{array}{l} 8-15 \\ 5-15 \end{array} \right\} 2$ 群馬県桐商クラブ

浜岡体協クラブ $2 \left\{ \begin{array}{l} 7-15 \\ 17-15 \\ 15-12 \end{array} \right\} 1$ 鳥取県 待 夢

決勝トーナメント

1 回 戦

浜岡体協クラブ $2 \left\{ \begin{array}{l} 15-13 \\ 15-10 \end{array} \right\} 0$ 富山県大星クラブ

2 回 戦

浜岡体協クラブ $0 \left\{ \begin{array}{l} 12-15 \\ 5-15 \end{array} \right\} 2$ 広島県東広島選抜

< 女 子 の 部 >

予選リーグ戦

H ク ラ ブ $2 \left\{ \begin{array}{l} 16-14 \\ 15- 4 \end{array} \right\} 0$ 古河OGクラブ

決勝トーナメント

1 回 戦

H ク ラ ブ $2 \left\{ \begin{array}{l} 15-10 \\ 15-11 \end{array} \right\} 0$ 西那須野りんどうクラブ

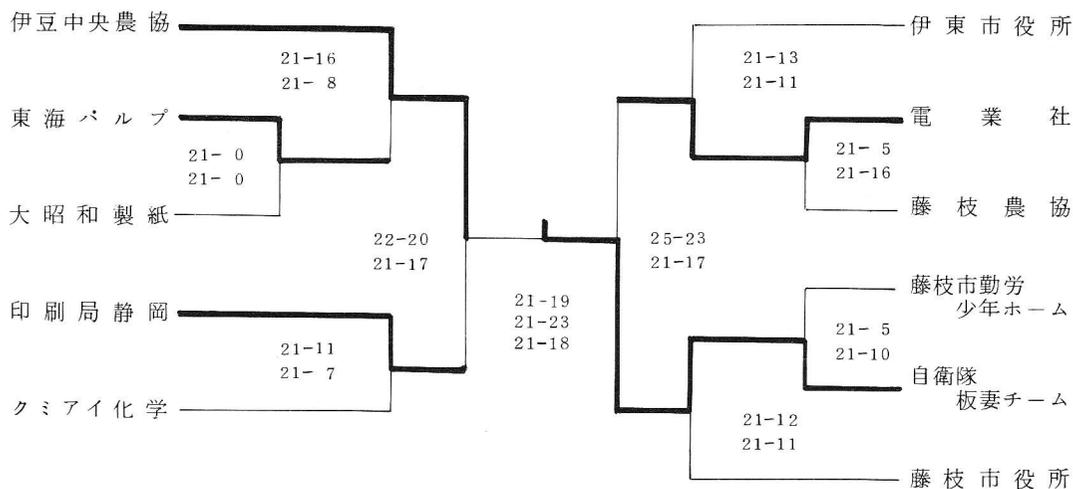
2 回 戦

H ク ラ ブ $0 \left\{ \begin{array}{l} 4-15 \\ 8-15 \end{array} \right\} 2$ ランセル東京

静岡県9人制バレーボール実業団選手権大会（未登録の部）

60.7.14

<男子の部>



<女子の部>

鈴 与	2	$\left\{ \begin{array}{l} 21 - 7 \\ 21 - 10 \end{array} \right\}$	0	伊豆中央農協
鈴 与	0	$\left\{ \begin{array}{l} 18 - 21 \\ 5 - 21 \end{array} \right\}$	2	中部電力静岡
伊豆中央農協	0	$\left\{ \begin{array}{l} 4 - 21 \\ 4 - 21 \end{array} \right\}$	2	中部電力静岡

優勝 中部電力静岡
(2勝0敗)

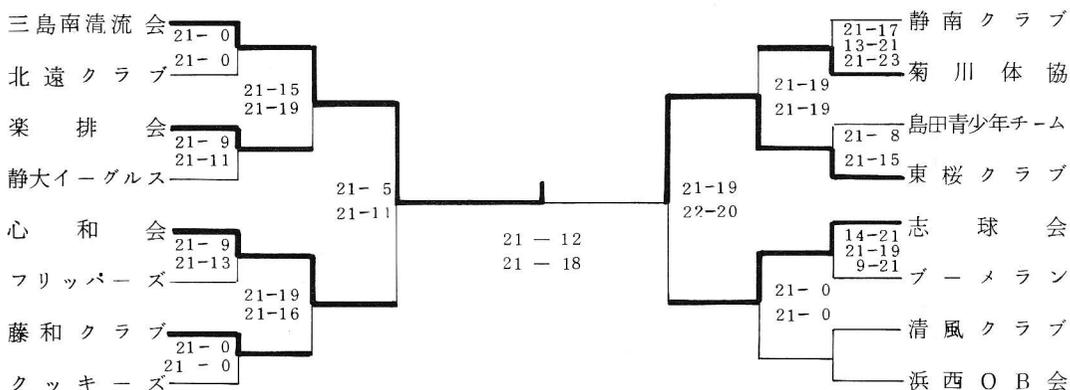
準優勝 鈴 与
(1勝1敗)

第 6 回 小 川 杯 県 民 バ レ ー

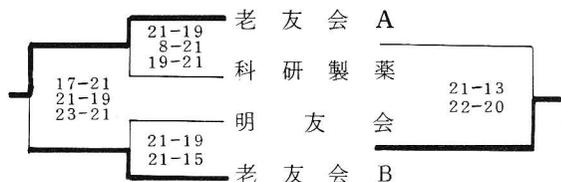
60. 7. 28

< 男 子 の 部 >

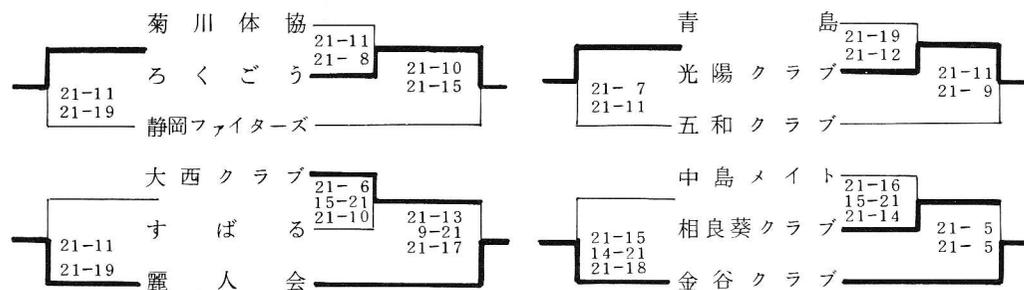
A グループ



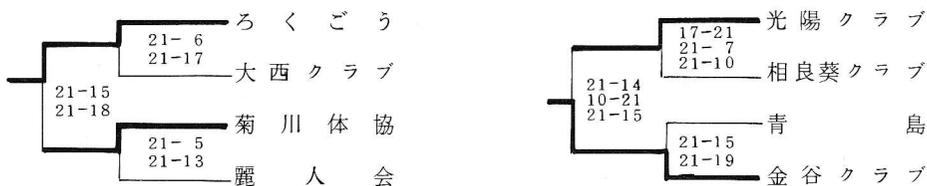
B グループ



< 女 子 の 部 >



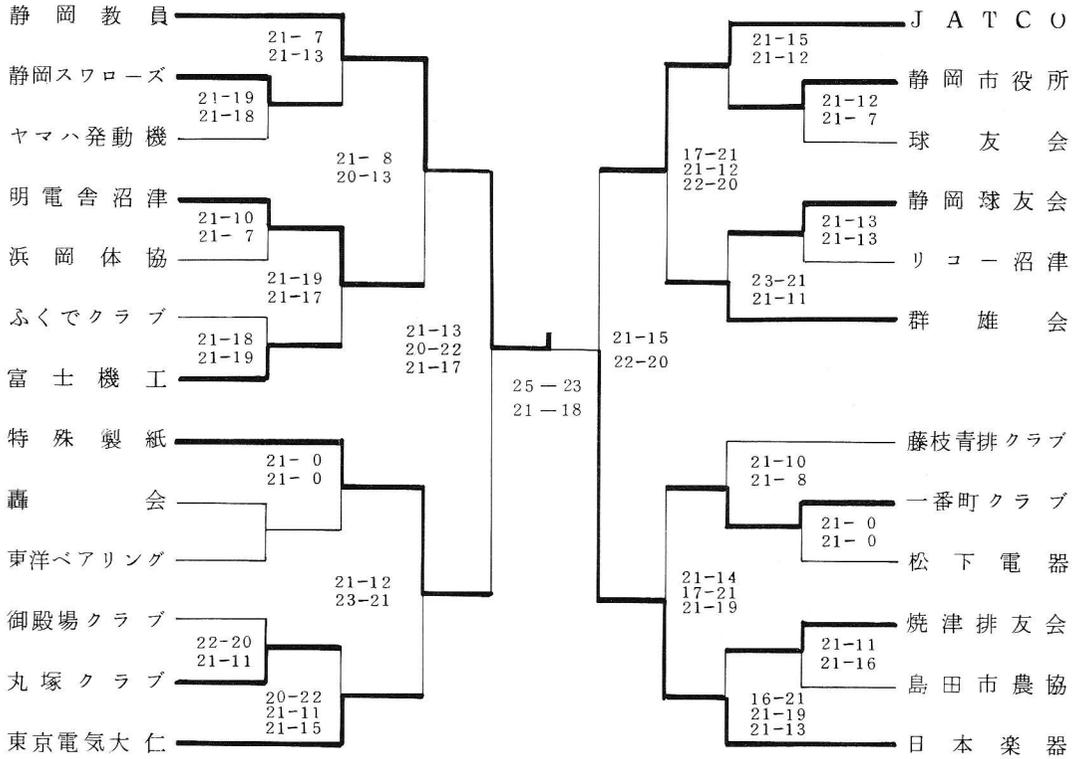
決 勝 ト ー ナ メ ン ト



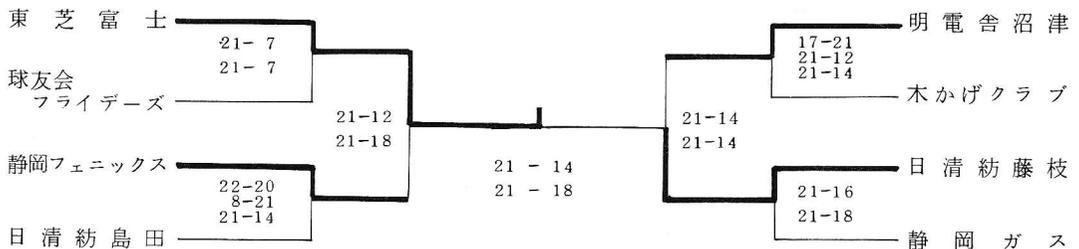
第40回国民体育大会静岡県予選大会

60.8.4

成年男子 9人制



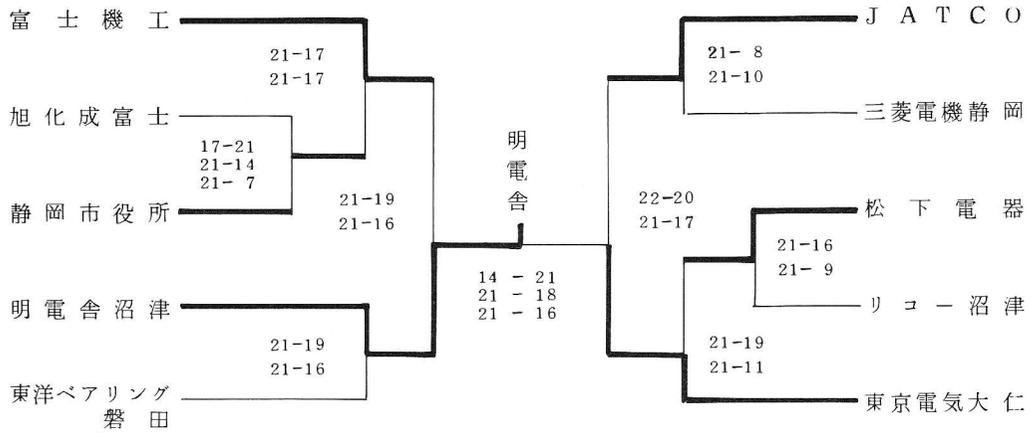
成年女子 9人制



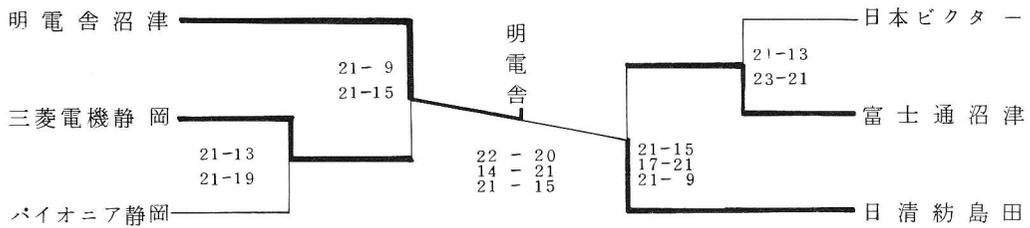
日本産業人バレーボール大会静岡県予選会

60.8.25

<男子の部>



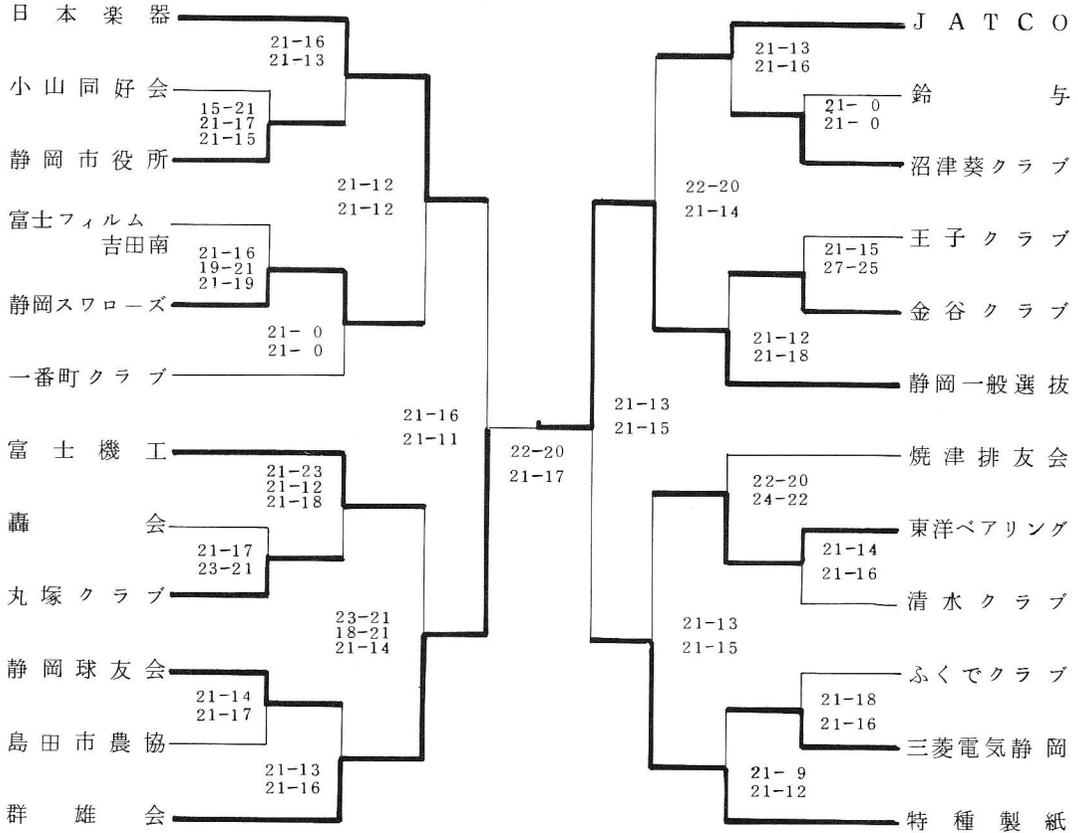
<女子の部>



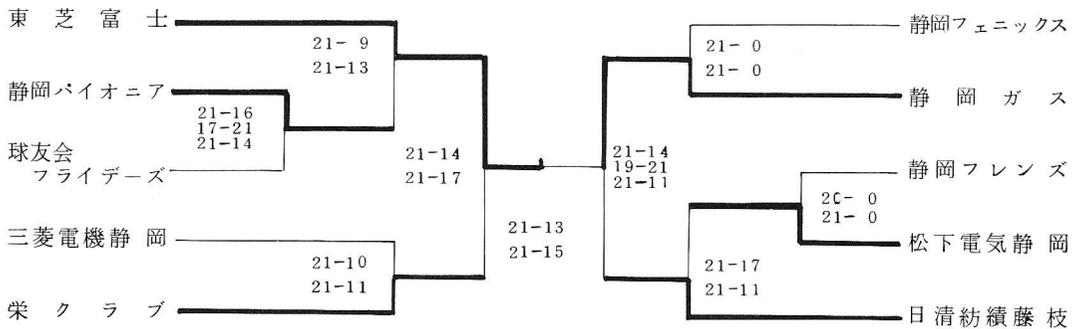
全日本9人制総合選手権大会県予選

60.9.29

<一般男子の部>



<一般女子の部>

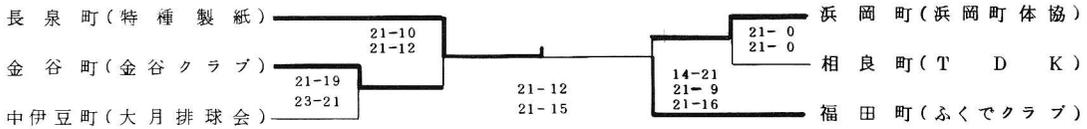


第39回静岡県スポーツ祭バレーボール競技県大会

60.11.3

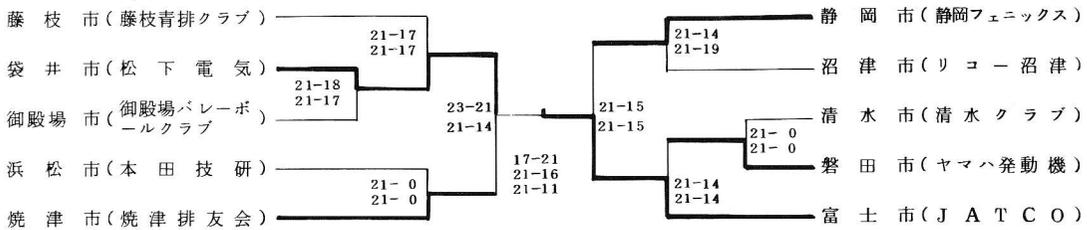
<成年男子町村対抗>

(登録の部)



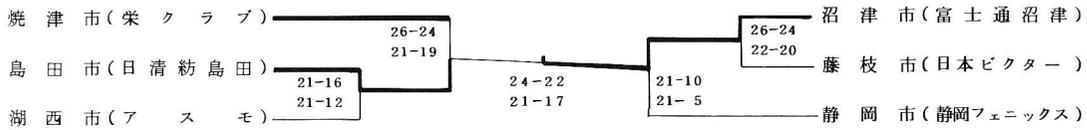
<成年男子市対抗>

(登録の部)



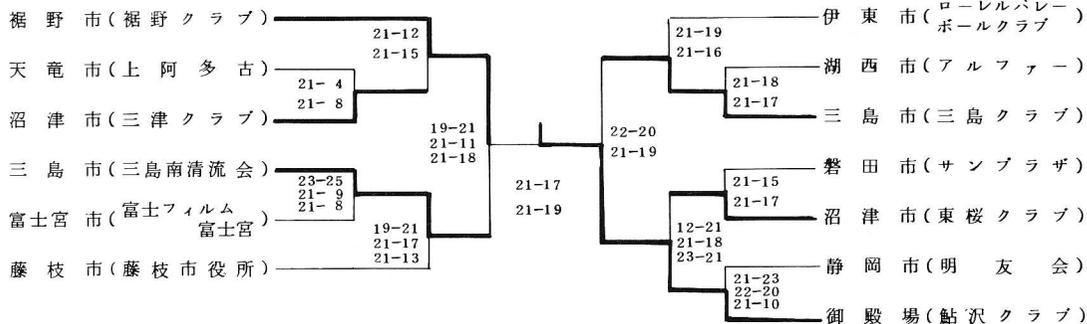
<成年女子市対抗>

(登録の部)



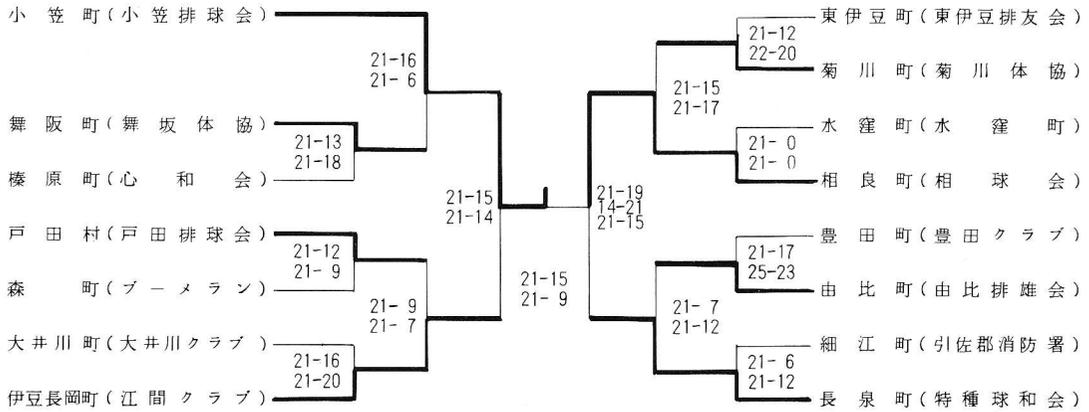
<成年男子市対抗>

(未登録の部)



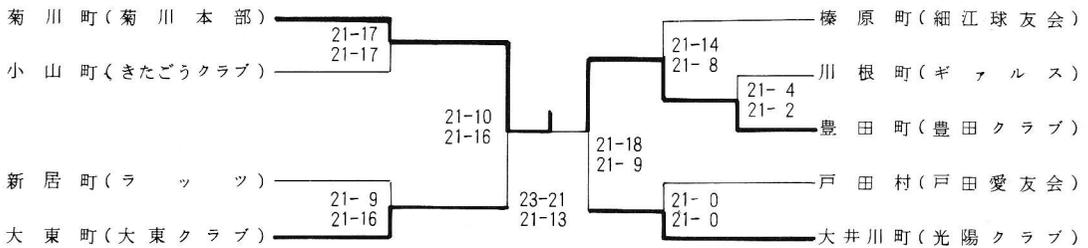
< 成年男子町村対抗 >

(未登録の部)



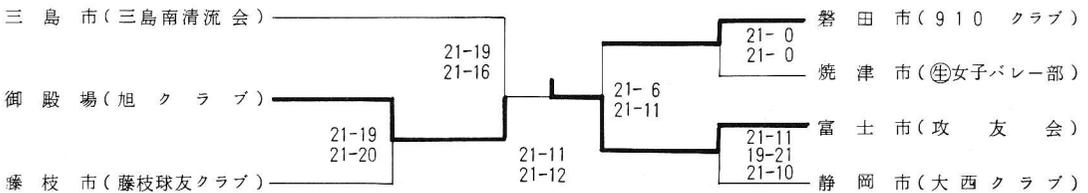
< 成年女子町村対抗 >

(未登録の部)



< 成年女子市対抗 >

(未登録の部)



昭和60年度第15回静岡県9人制バレーボール実業団男女リーグ戦成績表

60.4.14 ~ 7.7

男子1部

チーム名	日楽	特種	富機	静岡	明電	JATCO	東ベ	東大	勝敗	取得セット率			得点率			順位
										取a	失b	a/b	取A	失B	A/B	
日本楽器		21-19 19-21 21-17	9-21 22-20 13-21	21-19 21-13	21-5 21-12	21-15 21-18	14-21 18-21	21-13 19-21 21-13	5.2							3
特殊製紙	19-21 21-19 17-21		21-18 21-16	21-15 21-12	21-19 21-12	24-22 18-21 21-12	21-14 21-16 2	21-17 18-21 21-7	6.1	13	4	3.25				1
富士機工	21-9 20-22 21-13	18-21 16-21		21-9 21-10	21-16 17-21 21-11	21-11 11-21 21-19	24-22 16-21 21-16	22-20 21-16	6.1	12	6	2.0				2
静岡市役所	19-21 13-21	15-21 12-21	9-21 10-21		16-21 22-20 9-21	9-21 16-21	12-21 7-21	19-21 11-21	0.7							8
明電舎沼津	5-21 12-21	19-21 12-21	16-21 21-17 11-21	21-16 20-22 21-9		12-21 21-13 23-25	17-21 7-21 1	17-21 21-13 21-17	2.5							6
JATCO	15-21 18-21	22-24 21-18 12-21	11-21 21-11 19-21	21-9 21-16	21-12 13-21 21-23		21-16 21-19	14-21 21-19 21-15	4.3	10	8	1.25				5
東洋ベアリング	21-14 21-18	14-21 16-21	22-24 21-16 16-21	21-12 21-7	21-17 21-15	16-21 19-21		22-24 21-14 21-14	4.3	9	7	1.28				4
東京電気大仁	13-21 21-19 13-21	17-21 21-16 7-21	20-22 16-21	21-19 21-11	21-19 13-21 17-21	21-14 19-21 15-21	24-22 14-21 14-21		1.6							7

男子2部

チーム名	日楽	中電	三菱	東芝	旭化	富市	ヤマハ	県庁	勝敗	取得セット率			得点率			順位
										取a	失b	a/b	取A	失B	A/B	
浜松南基地		21-15 22-20	15-21 21-23	19-21 17-21	29-31 21-14 23-25	21-15 21-14	16-21 21-18 21-17	21-13 22-24 21-15	4.3	9	8	1.12				5
中部電力静岡	15-21 20-22		20-22 21-18 20-22	19-21 21-7 21-11	21-12 21-14	21-11 21-17	21-13 21-15	21-12 21-23 18-21	4.3	10	7	1.42				3
三菱電機静岡	21-15 23-21	22-20 15-21 22-20		21-11 21-16	21-13 21-17	12-21 17-21	21-19 21-16	21-16 21-16	6.1							1
東芝富士	21-19 21-17	21-19 17-21 11-21	11-21 16-21		11-21 21-15 21-15	19-21 6-21	16-21 15-21	19-21 15-21	2.5	5	11	0.45				7
旭化成富士	21-19 4-21 25-23	12-21 14-21	13-21 19-21	21-11 17-21 15-21		19-21 21-23	21-11 15-21 18-21	21-8 20-22 9-21	1.6							8
富士市役所	15-21 14-21	11-21 17-21	21-12 21-17	21-19 21-6	21-19 23-21		21-19 20-22 21-19	23-25 16-21	4.3	8	7	1.14				4
ヤマハ発動機	21-16 15-21 17-21	13-21 15-21	19-21 16-21	21-16 21-15	17-21 21-15 21-18	19-21 22-20 19-21		13-21 19-21	2.5	6	11	0.54				6
静岡県庁	13-21 24-22 18-21	12-21 25-23 21-18	16-21 16-21	8-21 22-20 21-9	25-23 21-16	25-23 21-16	21-13 21-19		5.2							2

男子 3 部

チーム名	日鋼	沼市	巴川	藤沢	日立	東三	本田	トヨタ	勝敗	取得セット率			得点率			順位
										取a	失b	A/B	取A	失B	A/B	
日本鋼管			9-21 21-14 17-21	21-15 14-21 21-10	21-17 21-17	19-21 21-14 16-21	19-21 21-19 22-20	11-21 13-21	4.3							4
沼津市役所									0.7							8
巴川製紙	21-18 14-21 21-17			21-12 15-21 21-17	10-21 21-16 21-16	21-12 19-21 21-18	21-10 18-21 16-21	8-21 18-21	5.2							3
藤沢薬品	16-21 21-14 10-21		12-21 21-15 17-21		17-21 21-5 18-21	21-17 21-14	21-19 12-21 12-21	17-21 15-21	2.5	8	10	0.8				6
日立清水	17-21 17-21		21-10 16-21 16-21	21-17 5-21 21-17		21-10 21-10	20-22 19-21	21-18 18-21 9-21	3.4							5
東京電気 三島	21-19 14-21 21-16		12-21 21-10 18-21	17-21 14-21	10-21 10-21		15-21 17-21	12-21 11-21	2.5	5	11	0.45				7
本田技研	21-18 19-21 20-22		10-21 21-18 21-16	10-21 21-18 21-16	22-20 21-19	21-15 21-17			6.1	13	4	0.25				2
トヨタ 自動車	21-11 21-13		21-9 21-18	21-17 21-15	18-21 21-13 21-9	21-12 21-11			6.1	12	3	4				1

男子 4 部

チーム名	静電	富化	富フ	熱市	鈴与	三菱ア	松下	浜市	勝敗	取得セット率			得点率			順位
										取a	失b	a/b	取A	失B	A/B	
静岡電話局									0.7							7
富士化工									0.7							8
富士フィルム 吉田南				19-21 11-21	21-19 20-22 23-21	21-15 17-21 13-21	29-31 9-21	17-21 13-21	3.4	7	9	0.77				5
熱海市役所			21-19 21-11		21-11 24-22	21-18 21-9	15-21 21-17 15-21	21-17 21-19	6.1							2
鈴 与			19-21 22-20 21-23	11-21 22-24		21-16 21-17	17-21 14-21	14-21 16-21	3.4	7	8	0.87				4
三菱アルミ ニウム			15-21 21-17 21-13	18-21 9-21	16-21 17-21		8-21 13-21	15-21 19-21	3.4	6	9	0.66				6
松下電器			31-29 21-9	21-15 17-21 21-15	21-17 21-14	21-8 21-13		21-19 21-18	7.0							1
浜松市役所			21-17 21-13	17-21 19-21	21-14 21-16	21-8 21-19	19-21 17-21		5.2							3

男子5部

グループ戦及び敗者復活戦

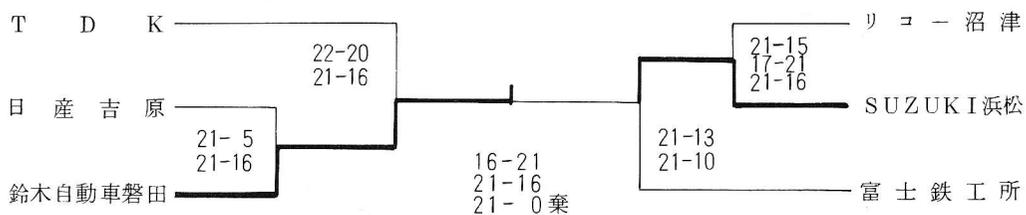
(Aグループ)



(Bグループ)



決勝トーナメント戦



女子 1 部

チーム名	東芝	静岡ガス	特種	三ヶ日	明電	日清紡	バイオニア	松下	勝敗	取得セット率			得点率			順位
										取a	失b	ab	取A	失B	AB	
東芝富士		22-24 21-12 21-12	21-12 21-14	21-12 21-12	21-12 21- 4	21-13 21- 4	20-22 21-13 21-11	21-12 21-11								
静岡ガス	24-22 12-21 12-21		27-25 22-20	16-21 12-21	21-18 23-21	21- 9 17-21 21-11	21-13 19-21 22-20	21-11 21-13								
特種製紙	12-21 14-21	25-26 20-22		21-23 16-21	21-15 25-27 21-13	21-13 21-16	21- 5 21-17	21-16 21-18								
三ヶ日町農協	12-21 12-21	21-16 21-12	23-21 21-16		12-21 21-12 13-21	21-15 21-14	14-21 13-21	21-17 21- 7								
明電舎沼津	12-21 4-21	18-21 21-23	15-21 27-25 13-21	21-12 12-21 21-13		21- 7 21-19	21-19 21-16	21-15 21-19								
日清紡島田	13-21 4-21	4-21 21-17 11-21	4-21 16-21	15-21 14-21	7-21 19-21		17-21 21-16 21- 4	17-21 21-18 21- 7								
バイオニア静岡	22-20 13-21 11-21	13-21 21-19 20-22	5-21 17-21	21-14 21-13	19-21 16-21	21-17 16-21 4-21		21-12 22-12								
松下電器静岡	11-21 11-21	11-21 13-21	16-21 18-21	17-21 7-21	15-21 19-21	21-17 18-21 7-21	12-21 12-21									

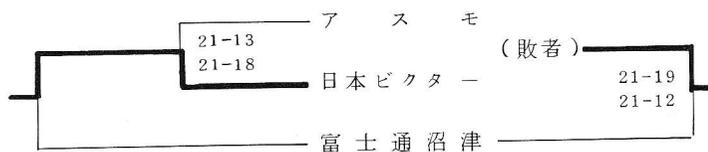
女子 2 部

グループ戦及び敗者復活戦

(A - グループ)



(B - グループ)



決勝トーナメント



昭和 60 年度 東レ九鱗会大会戦績

第 34 回 黒鷲旗 全日本選手権大会

1 回戦 東レ 0 $\left\{ \begin{matrix} 9-15 \\ 6-15 \\ 3-15 \end{matrix} \right\}$ 3 富士フィルム

第 5 回 日本サマーリーグ大会

順位	チーム名	鋼管	富士	大協	NTT	生命	日立	東レ	勝敗
1	日本鋼管		○3-1	○3-1	○3-0	○3-0	○3-1	○3-0	6 - 0
2	富士フィルム	●1-3		○3-0	○3-0	○3-0	○3-0	○3-1	5 - 1
3	コスモ大協	●1-3	●0-3		○3-0	○3-0	○3-1	○3-1	4 - 2
4	NTT東海	●0-3	●0-3	●0-3		○3-2	○3-2	○3-1	3 - 3
5	朝日生命	●0-3	●0-3	●0-3	●2-3		○3-2	○3-0	2 - 4
6	日立国分	●1-3	●0-3	●1-3	●2-3	●2-3		○3-1	1 - 5
7	東レ九鱗会	●0-3	●1-3	●1-3	●1-3	●0-3	●1-3		0 - 6

第 35 回 中部日本 6 人制総合男女選手権大会

1 回戦 東レ 2 $\left\{ \begin{matrix} 15-9 \\ 15-5 \end{matrix} \right\}$ 0 福井教員

準決勝 東レ 2 $\left\{ \begin{matrix} 15-8 \\ 15-6 \end{matrix} \right\}$ 0 長野 V.B.C

決勝 東レ 1 $\left\{ \begin{matrix} 15-7 \\ 9-15 \\ 3-15 \end{matrix} \right\}$ 2 コスモ大協

国民体育大会第 6 回 東海大会

1 回戦 東レ 0 $\left\{ \begin{matrix} 13-15 \\ 14-16 \end{matrix} \right\}$ 2 NTT東海

第 17 回 実業団リーグ大会

順位	チーム名	回	住金	東レ	日電	大協	帝人	日立	生命	東海	勝敗
1	住金金属	1	*	○3-0	○3-0	○3-0	○3-0	○3-1	○3-0	○3-1	14 勝 0 敗
		2		○3-1	○3-2	○3-1	○3-0	○3-0	○3-0	○3-0	
4	東レ九鱗会	1	●0-3	*	○3-2	○3-2	●0-3	●3-0	●2-3	●0-3	8 勝 6 敗
		2	●1-3		○3-0	●0-3	○3-0	○3-0	○3-0	○3-0	
3	日電 H.E	1	●0-3	●2-3	*	○3-0	●1-3	○3-1	○3-0	○3-2	8 勝 6 敗
		2	●2-3	●0-3		○3-1	●0-3	○3-1	○3-0	○3-0	
2	コスモ大協	1	●0-3	●2-3	●0-3	*	○3-0	○3-0	○3-1	●2-3	8 勝 6 敗
		2	●1-3	○3-0	●1-3		○3-1	○3-1	○3-1	○3-0	
5	帝人	1	●0-3	○3-0	○3-1	●0-3	*	●1-3	○3-0	○3-2	7 勝 7 敗
		2	●0-3	●0-3	○3-0	●1-3		○3-0	○3-1	●0-3	
8	日立国分	1	●1-3	●0-3	●1-3	●0-3	○3-1	*	●1-3	●0-3	2 勝 12 敗
		2	●0-3	●0-3	●1-3	●1-3	●0-3		○3-2	●0-3	
7	朝日生命	1	●0-3	○3-2	●0-3	●1-3	●0-3	○3-1	*	●0-3	3 勝 10 敗
		2	●0-3	●0-3	●0-3	●1-3	●1-3	●2-3		○3-2	
6	NTT東海	1	●1-3	○3-0	●2-3	○3-2	●2-3	○3-0	○3-0	*	6 勝 8 敗
		2	●0-3	●0-3	●0-3	●0-3	○3-0	○3-0	●2-3		

* 日電 H.E = 日本電気ホームエレクトロニクス 2/2 (完)



家庭婦人部の反省

家庭婦人部長 増田 ユキ子

静岡県家庭婦人バレーボール連盟は、昭和49年に結成されましたが、早くも今年は12年目を迎えます。この間、県バレーボール協会の皆様方よりあたたかいご指導を受け又、各大会協賛各社のご支援、ご協力をいただいております。心から感謝いたします。

私達婦人による連盟の自主運営も軌道にのり、連盟登録チーム数も着実に増加して、結成当時の61チームから60年度には、103チームを数えるに至りました。

競技会の運営、審判などそれぞれの分野で担当役員が研修につとめておりますが、特に東海ブロックの審判講習会、指導者講習会には積極的に参加して、技術を向上させ、加盟チームの皆様への指導、育成に大きな成果をあげております。県内各地域には、まだ連盟に未加入のママさんチームが数多く存在しております。これらのママさんチームの育成も連盟にとって今後の課題の一つであると考えております。

昨今、競技大会で感じることは、各チームとも技術の向上が目覚ましく、これがお母さんかしらと思うようなすばらしい技が随所に見られ、又、お母さんらしい粘り強いプレーの連続で、手に汗を握るほどの熱戦が数多く繰りひろげられる大会の充実ぶりです。これは各チームの皆様方の精進と役員の方々の協力と努力の賜物と存じます。良いプレーは良い審判によって引き出されるといわれます。

毎年ルールが改正される度に、熱心に講習会に参加して、研鑽をつみ、何時も前向きに努力している審判員の姿は頼もしい限りです。こうし

た審判員の方達の努力がゲームを盛りあげ、大会の成功にもつながっているものと思います。

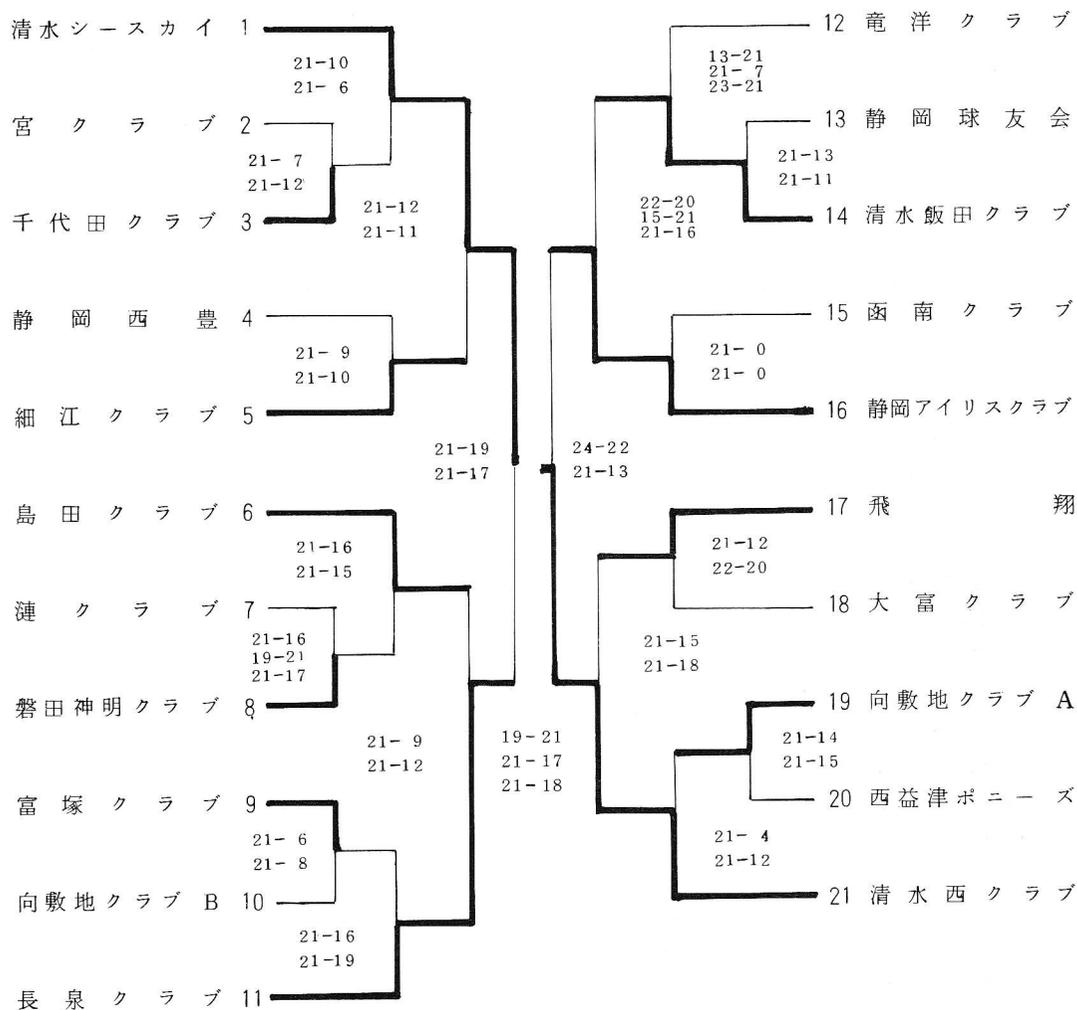
連盟登録メンバーも世代の巾が広がってまいりました。ベテランの経験と、若さあふれるママさんの良さをお互いに理解しあいながら、思いやりのある楽しいチームづくりがされていることと思いますが、家庭婦人が好きなバレーを楽しむことができるのは、ご家族の皆様の深いご理解とあたたかいご協力があればこそと、感謝の気持ちを忘れてはならないと存じます。

私達は、ママさんバレーの目的である、「健康づくり、仲間づくり」を進めるなかで、多くの人々とのふれあいをもち、明るいバレーの輪を更に大きく広げてまいりましょう。

「明るく、楽しく、美しく」のスローガンのもとに、家庭婦人らしい連盟の充実と発展のために、皆様と共に、心を合せて努力してまいりたいと存じます。

真 田 杯

60. 5. 12



第16回 全国家庭婦人バレーボール大会 60.5.26

各 地 区 大 会

<東 部 地 区>

1回戦

羽衣愛好会 2-0 山 ぶ き

2回戦

板妻クラブ 2-0 羽衣愛好会

裾野クラブ 2-0 玄岳クラブ

御殿場マザーズ 2-0 下田球友会

江川クラブ 2-0 沼津原クラブ

久沢クラブ 2-0 友愛クラブ

金岡クラブ 2-1 大富士クラブ

ふじみ台クラブ 2-1 さ く ら

錦田クラブ 2-1 沢田クラブ

準々決勝

板妻クラブ 2-0 裾野クラブ

御殿場マザーズ 2-0 江川クラブ

久沢クラブ 2-0 金岡クラブ

錦田クラブ 2-1 ふじみ台クラブ

5.6.7.8位決定戦

江川クラブ 2-1 裾野クラブ

金岡クラブ 2-0 ふじみ台クラブ

裾野クラブ 2-0 ふじみ台クラブ

江川クラブ 2-0 金岡クラブ

準決勝

板妻クラブ 2-1 御殿場マザーズ

錦田クラブ 2-1 久沢クラブ

3.4位決定戦

久沢クラブ 2-1 御殿場マザーズ

決勝

板妻クラブ 2-1 錦田クラブ

<中 部 地 区>

1回戦

大富クラブ 2-0 住 吉

向敷地 A 2-0 有度クローバー

西益津球趣会 2-1 本町クラブ

静岡アイリスクラブ 2-0 興津クラブ

ビクトリー 2-0 大洲球友クラブ

和田クラブ 2-0 向敷地 B

準々決勝

清水飯田クラブ 2-0 大富クラブ

向敷地 A 2-0 西益津球趣会

静岡アイリスクラブ 2-0 ビクトリー

和田クラブ 2-0 広幡球友クラブ

5.6.7.8位決定戦

大富クラブ 2-0 西益津球趣会

広幡球友クラブ 2-0 ビクトリー

西益津球趣会 2-0 ビクトリー

広幡球友クラブ 2-0 大富クラブ

準決勝

向敷地 A 2-1 清水飯田クラブ

静岡アイリスクラブ 2-0 和田クラブ

3.4位決定戦

清水飯田クラブ 2-0 和田クラブ

決勝

静岡アイリスクラブ 2-1 向敷地 A

<西 部 区>

1回戦

蒲 クラブ 2-0 浜北球友クラブ

河城クラブ 2-1 引佐バレークラブ

掛川桔梗 2-0 大東町はまゆクラブ

遠州浜クラブ 2-1 小松第一

準々決勝

細江クラブ 2-0 蒲 クラブ

二俣クラブ 2-1 河城クラブ

豊田町クラブ 2-0 掛川桔梗

遠州浜クラブ 2-0 高台クラブ

5.6.7.8位決定戦

蒲 クラブ 2-1 河城クラブ

高台クラブ 2-0 掛川桔梗

河城クラブ 2-0 掛川桔梗

高台クラブ 2-0 蒲 クラブ

準決勝

細江クラブ 2-0 二俣クラブ

豊田町クラブ 2-1 遠州浜クラブ

3.4位決定戦

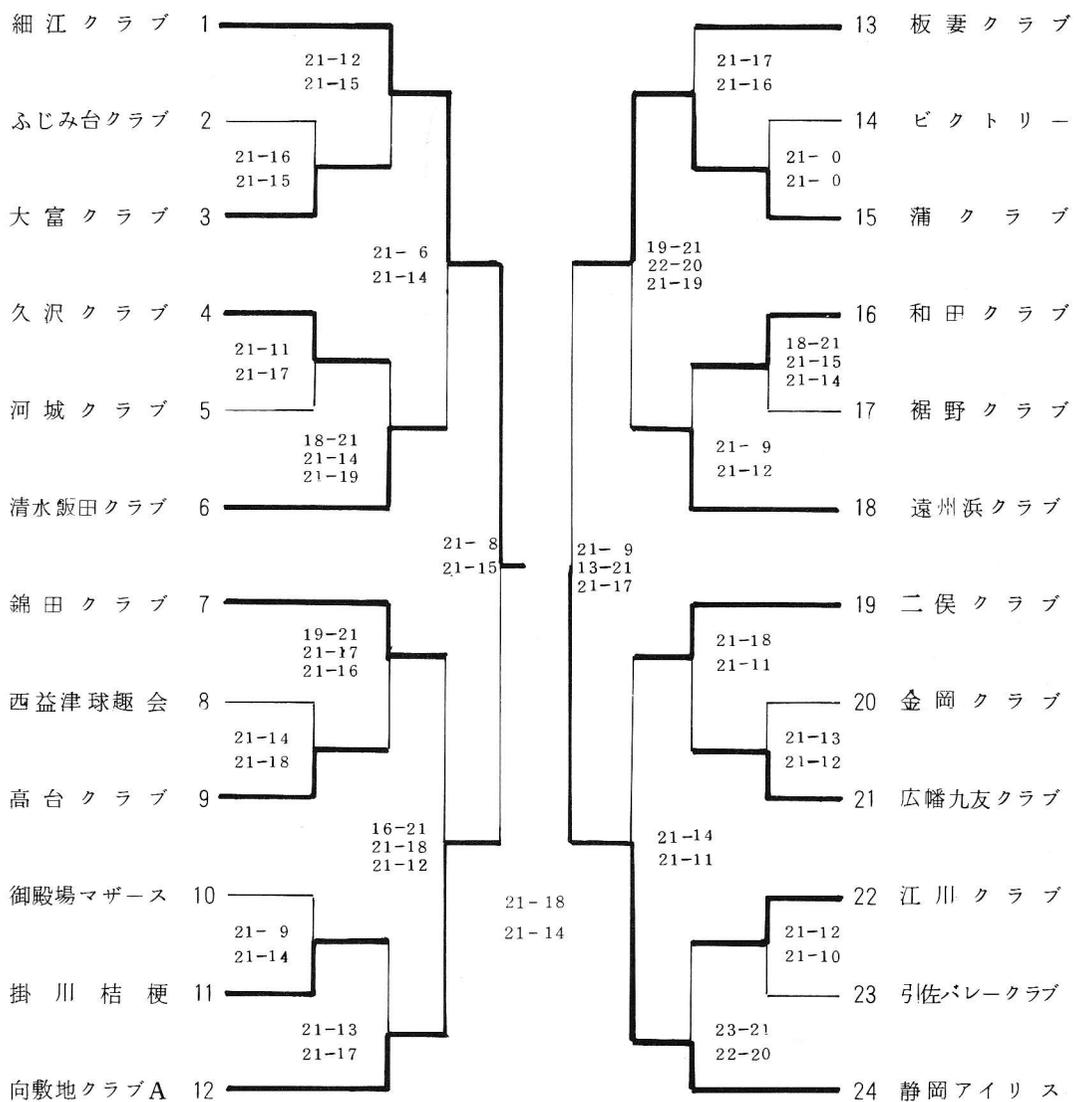
遠州浜クラブ 2-0 二俣クラブ

決勝

細江クラブ 2-0 豊田町クラブ

第16回 全国家庭婦人県予選大会

60.6.23



第9回 さわやか杯争奪地区予選

<p style="text-align: center;">各 地 区 大 会</p> <p>＜東 部 地 区＞</p> <p>○ A グループ</p> <p>1 回 戦</p> <p>中 郷 ク ラ ブ 2-0 久 沢 ク ラ ブ</p> <p>準々決勝</p> <p>長 泉 ク ラ ブ 2-0 中 郷 ク ラ ブ</p> <p>三島中央婦人学級 2-0 きたごうクラブ</p> <p>三島西クラブ 2-0 板 妻 ク ラ ブ</p> <p>函 南 ク ラ ブ 2-0 錦 田 ク ラ ブ</p> <p>準決勝</p> <p>長 泉 ク ラ ブ 2-0 三島中央婦人学級</p> <p>函 南 ク ラ ブ 2-0 三島西クラブ</p> <p>決 勝</p> <p>長 泉 ク ラ ブ 2-0 函 南 ク ラ ブ</p> <p>○ B グループ</p> <p>1 回 戦</p> <p>裾 野 ク ラ ブ 2-1 大富士クラブ</p> <p>下 田 球 友 会 2-1 松 風</p> <p>江 川 ク ラ ブ 2-0 徳 倉 ク ラ ブ</p> <p>一 九 ク ラ ブ 2-1 メ イ ト</p> <p>開 北 ク ラ ブ 2-0 熱 球 会</p> <p>準々決勝</p> <p>裾 野 ク ラ ブ 2-1 愛 鷹 ク ラ ブ</p> <p>江 川 ク ラ ブ 2-0 下 田 球 友 会</p> <p>沼津はまゆう 2-1 一 九 ク ラ ブ</p> <p>若 松 ク ラ ブ 2-1 開 北 ク ラ ブ</p> <p>準決勝</p> <p>裾 野 ク ラ ブ 2-0 江 川 ク ラ ブ</p> <p>岩 松 ク ラ ブ 2-0 沼津はまゆう</p> <p>3 位 決 定 戦</p> <p>江 川 ク ラ ブ 2-1 沼津はまゆう</p> <p>決 勝</p> <p>岩 松 ク ラ ブ 2-0 裾 野 ク ラ ブ</p> <p>○ C グループ</p> <p>1 回 戦</p> <p>本 宿 ク ラ ブ 2-1 山 ぶ き</p>	<p>宮 ク ラ ブ 2-0 静岡フレンドクラブ</p> <p>2 回 戦</p> <p>御殿場マザーズ 2-0 本 宿 ク ラ ブ</p> <p>稲 取 ク ィ ー ン 2-1 沼津原クラブ</p> <p>友 愛 ク ラ ブ 2-0 ふじみ台クラブ</p> <p>羽 衣 愛 好 会 2-0 第 五 ク ラ ブ</p> <p>富 士 嶺 愛 好 会 2-0 葦 山 ク ラ ブ</p> <p>沢 田 ク ラ ブ 2-0 広 見 ク ラ ブ</p> <p>玄 岳 ク ラ ブ 2-1 大 仁 ク ラ ブ</p> <p>金 岡 ク ラ ブ 2-0 宮 ク ラ ブ</p> <p>準々決勝</p> <p>御殿場サマーズ 2-0 稲 取 ク ィ ー ン</p> <p>友 愛 ク ラ ブ 2-0 羽 衣 愛 好 会</p> <p>富 士 嶺 愛 好 会 2-1 沢 田 ク ラ ブ</p> <p>金 岡 ク ラ ブ 2-1 玄 岳 ク ラ ブ</p> <p>準決勝</p> <p>御殿場マザーズ 2-1 友 愛 ク ラ ブ</p> <p>富 士 嶺 愛 好 会 2-0 金 岡 ク ラ ブ</p> <p>3 位 決 定 戦</p> <p>金 岡 ク ラ ブ 2-0 友 愛 ク ラ ブ</p> <p>決 勝</p> <p>御殿場マザーズ 2-1 富 士 嶺 愛 好 会</p> <p>＜中 部 地 区＞</p> <p>○ A グループ</p> <p>準々決勝</p> <p>清 水 飯 田 ク ラ ブ 2-1 焼 津 ク ラ ブ</p> <p>漣 ク ラ ブ 2-0 向敷地クラ A</p> <p>準決勝</p> <p>清 水 西 ク ラ ブ 2-0 清 水 飯 田 ク ラ ブ</p> <p>清 水 シ ー ス カ イ 2-0 漣 ク ラ ブ</p> <p>決 勝</p> <p>清 水 シ ー ス カ イ 2-1 清 水 西 ク ラ ブ</p> <p>○ B グループ</p> <p>1 回 戦</p> <p>静 岡 西 豊 2-0 榛 原 ク ラ ブ</p>
--	---

準々決勝

西益津球趣会 2-0 静岡西豊
 静岡球友会 2-0 大州球友クラブ
 静岡アイリスクラブ 2-0 有度クローバー
 大富クラブ 2-0 西益津ポニーズ

準決勝

静岡球友会 2-0 西益津球趣会
 静岡アイリスクラブ 2-0 大富クラブ

3位決定戦

大富士クラブ 2-1 西益津球趣会

決勝

静岡球友会 2-1 静岡アイリスクラブ

○Cグループ

1回戦

興津クラブ 2-1 入江同好会
 住吉クラブ 2-0 向敷地クラブC
 岡部ファイターズ 2-0 向敷地クラブB
 はごろもクラブ 2-0 本町クラブ

準々決勝

千代田クラブ 2-0 興津クラブ
 親栄クラブ 2-0 住吉クラブ
 岡部ファイターズ 2-0 ビクトリー
 はごろもクラブ 2-0 由比愛好会

準決勝

千代田クラブ 2-1 親栄クラブ
 はごろもクラブ 2-0 岡部ファイターズ

3位決定戦

親栄クラブ 2-0 岡部ファイターズ

決勝

千代田クラブ 2-0 はごろもクラブ

<西部地区>

○Aグループ

準決勝

細江クラブ 2-0 浜松西クラブ
 竜洋クラブ 2-0 飛翔クラブ

決勝

細江クラブ 2-0 竜洋クラブ

○Bグループ

準々決勝

緑ヶ丘クラブ 2-0 掛川桔梗
 高台クラブ 2-1 二俣クラブ
 遠州浜クラブ 2-1 磐田神明クラブ
 積志クラブ 2-1 豊田町クラブ

準決勝

高台クラブ 2-1 緑ヶ丘クラブ
 遠州浜クラブ 2-0 積志クラブ

3位決定戦

積志クラブ 2-0 緑ヶ丘クラブ

決勝

遠州浜クラブ 2-0 高台クラブ

○Cグループ

1回戦

森田球友クラブ 2-0 福田クラブ

準々決勝

森田球友クラブ 2-0 富塚クラブ
 蒲クラブ 2-1 浜北球友クラブ
 河城クラブ 2-0 笠原クラブ
 浜松北星クラブ 2-0 小松第一

準決勝

森田球友クラブ 2-0 蒲クラブ
 浜松北星クラブ 2-0 河城クラブ

3位決定戦

河城クラブ 2-1 蒲クラブ

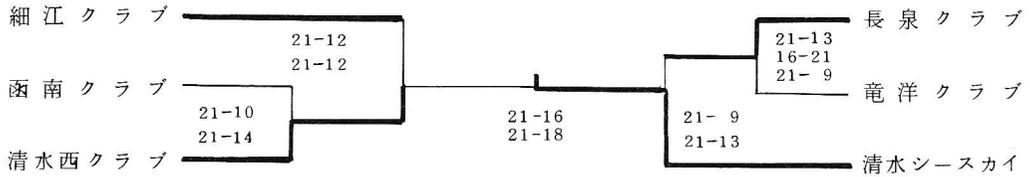
決勝

森田球友クラブ 2-1 浜松北星クラブ

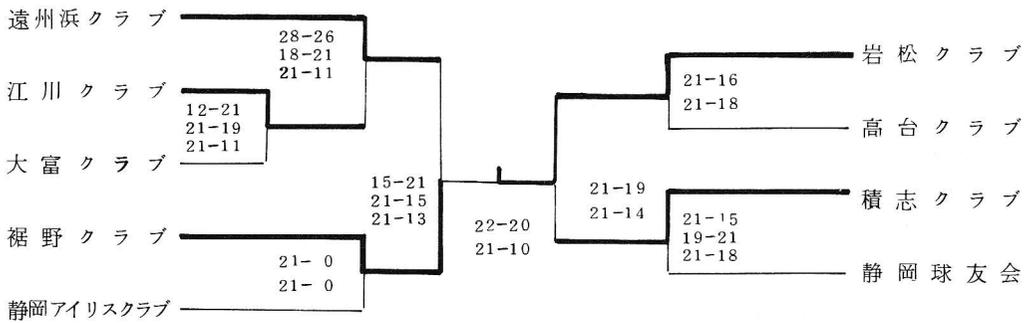
第9回 さわやか杯争奪県大会

60.9.1

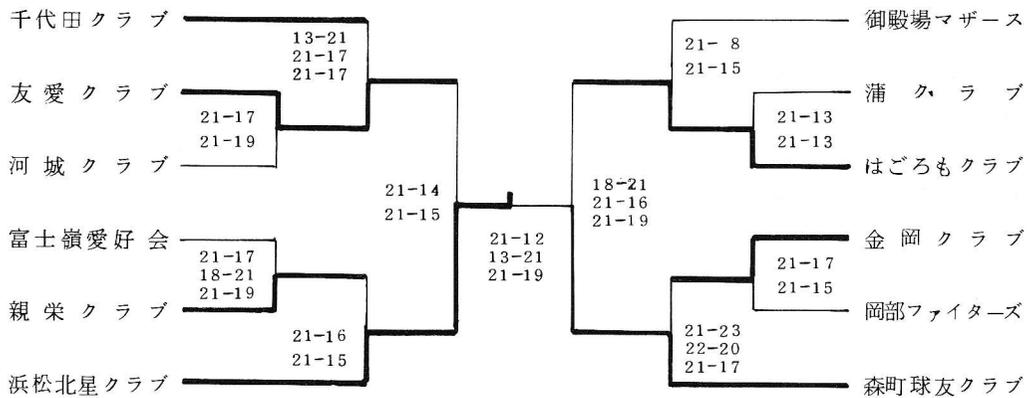
(A グループ)



(B グループ)



(C グループ)



第11回 静岡県家庭婦人バレーボール選手権大会
第12回 東海家庭婦人バレーボール大会県予選

60.9.22

各 地 区 大 会

<東 部 地 区>

1 回 戦

熱 球 会 2-0 羽衣愛好会
徳倉クラブ 2-0 本宿クラブ

2 回 戦

長泉クラブ 2-0 熱球会
錦田クラブ 2-0 大仁クラブ
富士根愛好会 2-1 愛クラブ
三島西クラブ 2-1 下田球友会
開北クラブ 2-0 宮クラブ
三島中央婦人学級 2-0 玄岳クラブ
メイト 2-1 沼津原クラブ
函南クラブ 2-0 徳倉クラブ

準々決勝

長泉クラブ 2-0 錦田クラブ
富士嶺愛好会 2-0 三島西クラブ
三島中央婦人学級 2-1 開北クラブ
函南クラブ 2-1 メイト

5 . 6 . 7 . 8 位 決 定 戦

三島西クラブ 2-0 錦田クラブ
メイト 2-0 開北クラブ
メイト 2-0 三島西クラブ
開北クラブ 2-0 錦田クラブ

準決勝

長泉クラブ 2-0 富士嶺愛好会
函南クラブ 2-0 三島中央婦人学級

3 位 決 定 戦

三島中央婦人学級 2-0 富士嶺愛好会

決 勝

長泉クラブ 2-0 函南クラブ

<中 部 地 区>

1 回 戦

親栄クラブ 2-1 千代田クラブ
和田クラブ 2-1 西益津球趣会
はごろもクラブ 2-0 榛原クラブ
焼津クラブ 2-0 大州球友クラブ

島田クラブ 2-0 興津クラブ

清水飯田クラブ 2-0 岡部ファイターズ

準々決勝

清水シースカイ 2-0 親栄クラブ
はごろもクラブ 2-0 和田クラブ
島田クラブ 2- 焼津クラブ
清水飯田クラブ 2-1 清水西クラブ

5 . 6 . 7 . 8 位 決 定 戦

親栄クラブ 2-0 和田クラブ
清水西クラブ 2-1 焼津クラブ
焼津クラブ 2-1 和田クラブ
親栄クラブ 2-0 清水西クラブ

準決勝

清水シースカイ 2-0 はごろもクラブ
島田クラブ 2-0 清水飯田クラブ

3 位 決 定 戦

はごろもクラブ 2-0 清水飯田クラブ

決 勝

清水シースカイ 2-1 島田クラブ

<西 部 地 区>

準々決勝

竜洋クラブ 2-0 富塚クラブ
飛翔クラブ 2 0 浜松北星クラブ
高台クラブ 2-0 掛川桔梗
浜松西クラブ 2-0 福田クラブ

5 . 6 . 7 8 位 決 定 戦

富塚クラブ 2-1 浜松北星クラブ
福田クラブ 2-1 掛川桔梗
浜松北星クラブ 2-0 掛川桔梗
富田クラブ 2-0 福田クラブ

準決勝

竜洋クラブ 2-1 飛翔クラブ
浜松西クラブ 2-0 高台クラブ

3 位 決 定 戦

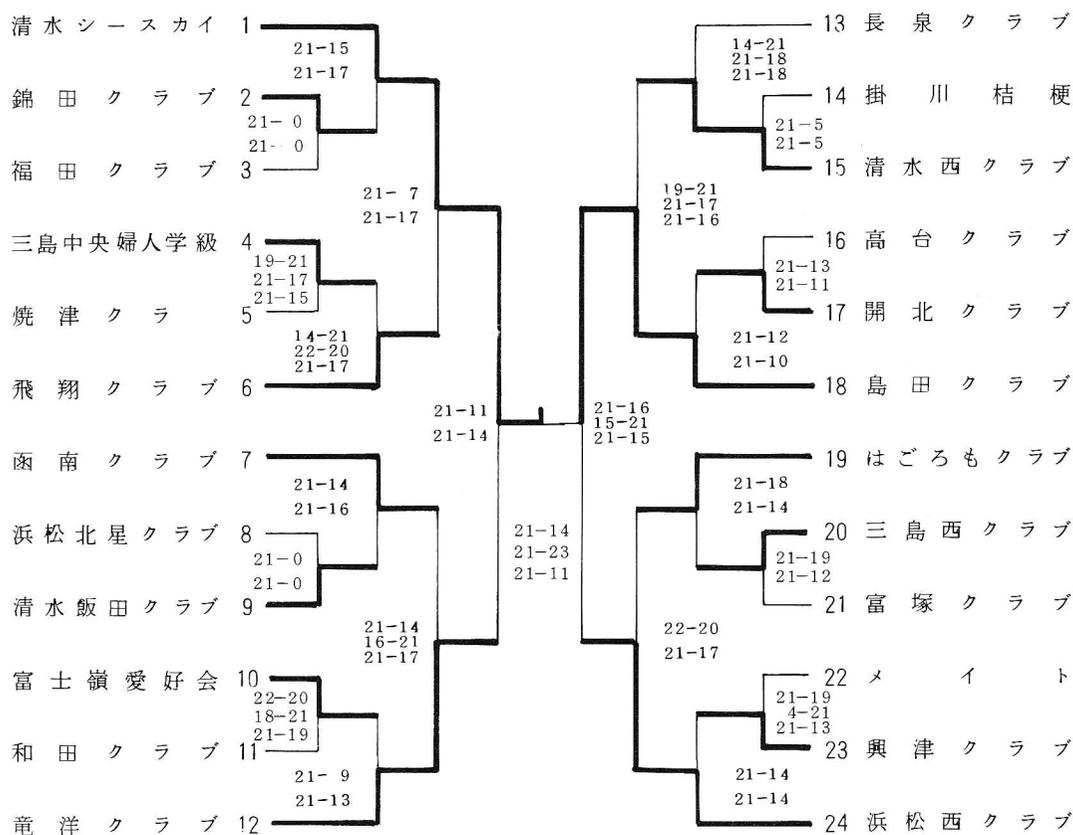
飛翔クラブ 2-0 高台クラブ

決 勝

浜松西クラブ 2-0 竜洋クラブ

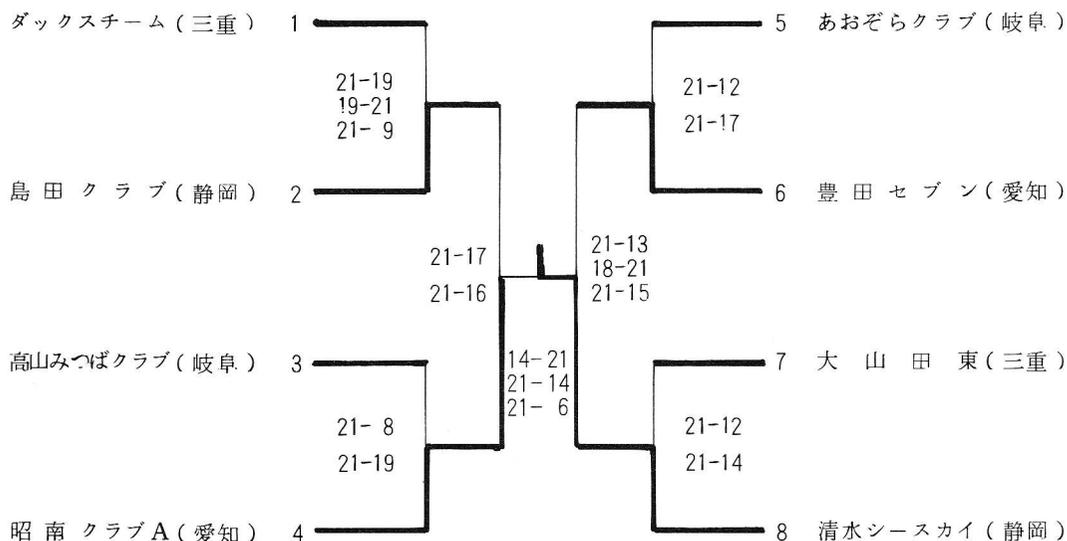
第11回静岡県家庭婦人バレーボール選手権大会 兼第12回東海家庭婦人バレーボール大会県予選

60.10.23



第12回東海家庭婦人バレーボール大会

60.10.27



バレーボール大会及び各種スポーツ大会の写真撮影製作。

見本写真をお送りいたします。

東京スポーツ写真通信社

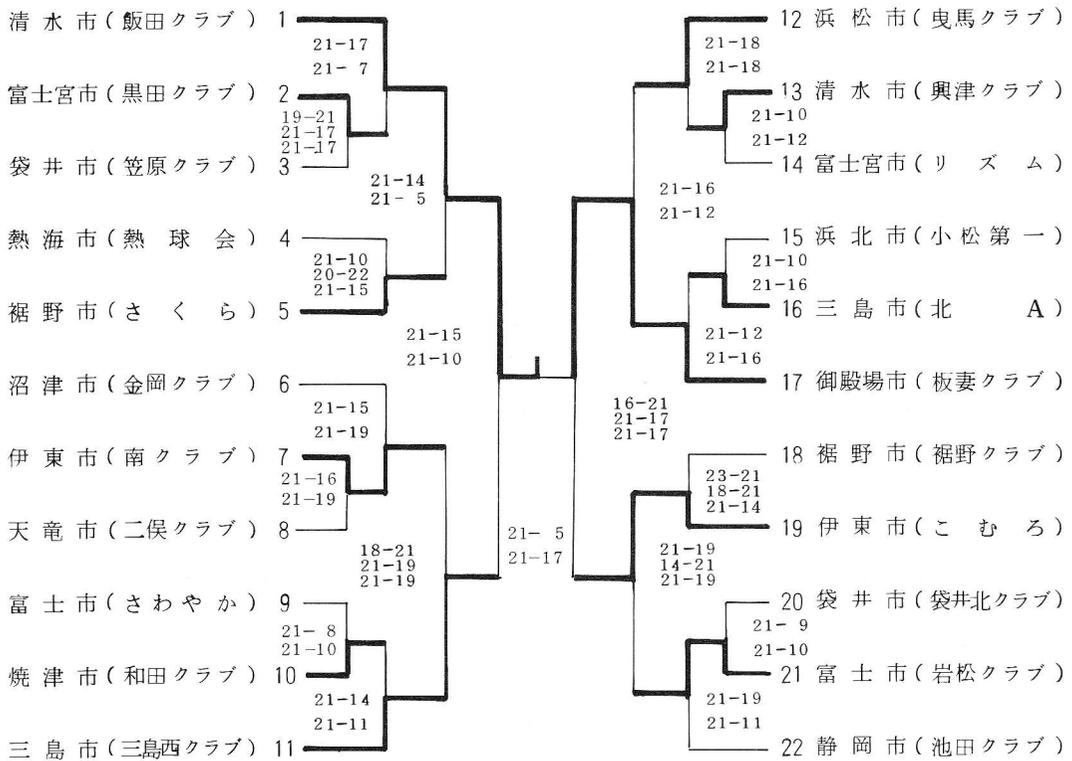
東京事務所 東京都江戸川区中央2丁目18番19号 信和MS
電話 03 (653) 0313 番

千葉事務所 千葉県野田市上花輪835番地
電話 0471(25) 1560 番

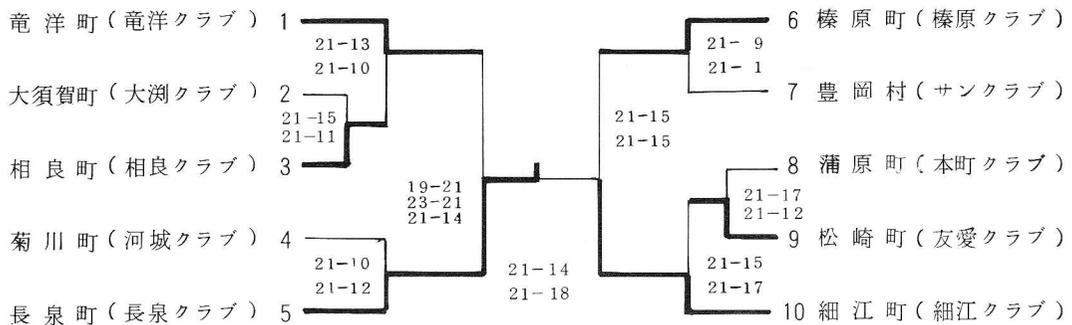
第39回 県スポーツ祭組合せ

60. 11. 10

<家庭婦人市対抗の部>

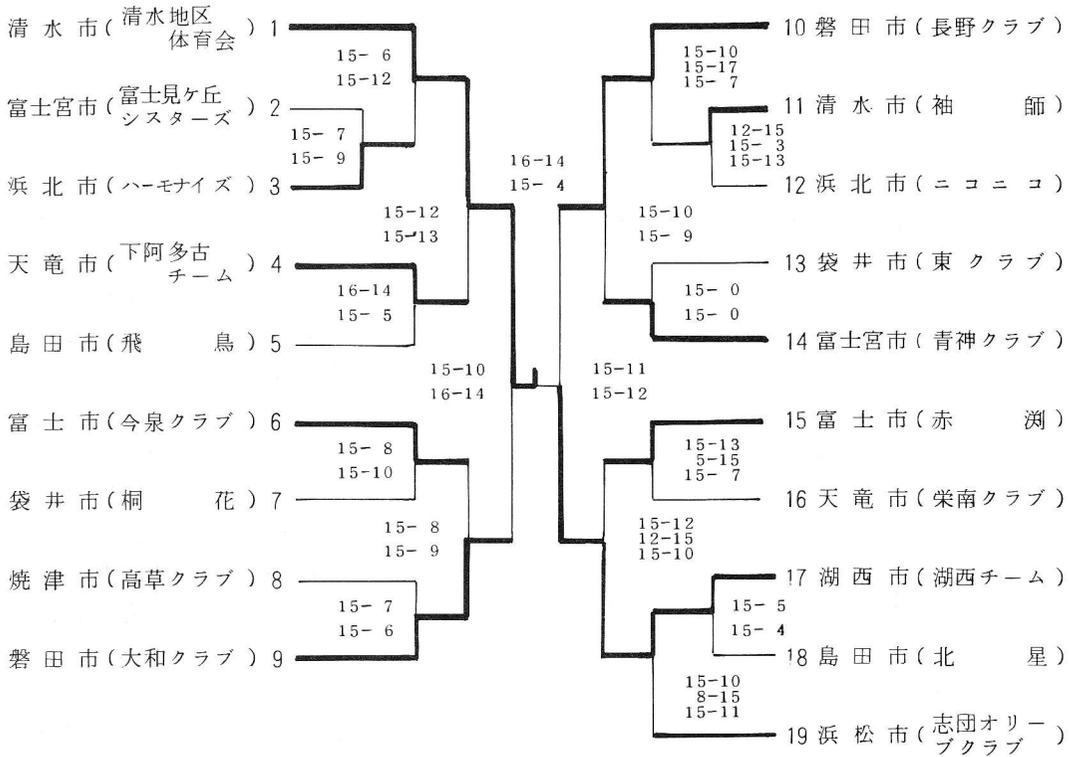


<家庭婦人町村対抗の部>

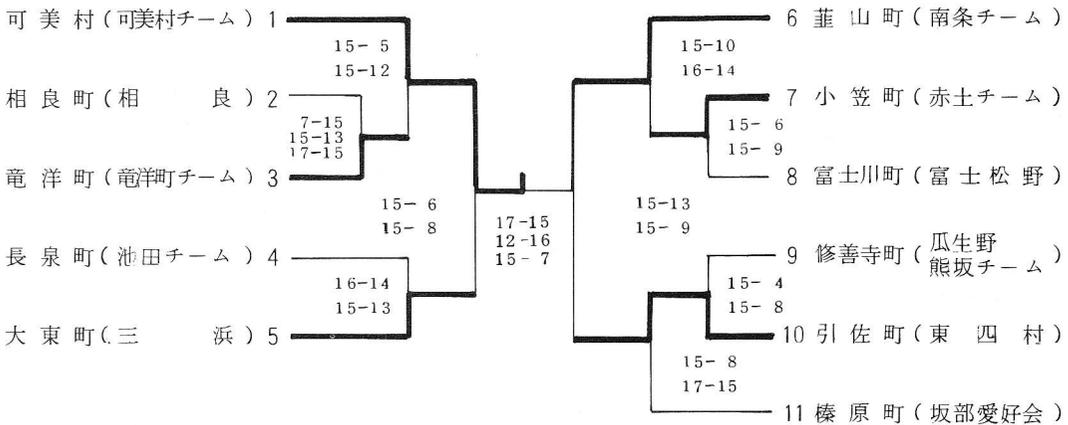


60. 11. 10

< 婦人市対抗の部 >



< 婦人町村対抗の部 >





「大学部をよろしく」

大学部長 稲村欣作

静岡県における大学バレーボールのルーツは、静岡師範学校保井太郎先生（大正11年、現副会長真田賢吉先生が指導を受けた）にあると思われます。また県大学バレーボール大会のルーツは、県下高専バレーボール大会により、今日の基盤は昭和23年頃にできたと思われます。それ以来、現在の静岡大学を中心として、県内大学のバレーボール大会が毎年続けられてきました。

昭和51年からはこの大会に県協会の後援をいただき、現真田副会長、中村総務委員長、伊藤一般部長をはじめ、多くの方々のお世話になりました。なお昭和56年には、学生連合組織、県バレーボール大学選手権大会実行委員会が発足し、この大会は実行委員会によって実施されています。

いわゆる同好会を除く、本県の大学バレーボールチームは、現在19チームあります。しかし、昭和58年度までは、その内の3チーム程度しか県協会に登録しませんでした。その原因は、大学チームが参加できる6人制大会が1～2回しかなく、しかもその日程が必ずと言ってよい程、大学関係の大会（学連の大会等）と重なっていたことでした。また県協会へ登録料および大会参加費が、資金の苦しい学生にとってはあまりにも高額の影響を与えていたことにもあったと思われます。

この問題を解決し、本県における大学バレーボールの発展を求めるためには、県協会内に大学部を設立し、学生のための大会を組み入れることが必要と考えられました。大学部設立については県協会からの強い要望もあり、大学バレーボール指

導者の間で検討を致しました。その結果、現在の実質的指導者3名（聖隷短大長谷川、静大河合、静大稲村）では、あまりにも力不足ではありますが、お引き受けし、担当させていただくことに致しました。大学部設立時に検討されました基本方針は、大学選手権大会実行委員会を従来どおり存続させ、県協会及び大学部がこれを援助することでした。またその業務内容は後に記す事項でした。

1年が何とか無事に過ぎましたが、実働3名のスタッフで満身にできたか不安が残ります。しかしながら、将来の県バレーボール界を支える人材を育てる立場でもありますので、大学バレーボール発展のため続けて頑張りたいと思います。何卒、今後ともよろしくご指導とご協力をお願い申し上げます。なお、昭和61年度は練習会などを実施し、大学チームのレベルアップをめざしたいと考えております。

大学部業務内容

- 1) 新設の大会を主管する。
- 2) 大学選手権大会実行委員会を援助する。
- 3) 大学関係の試合で県内大学が当番校となった場合、その運営について協力をする。
- 4) 登録大学チームの確保と増加を図る。
- 5) 大学チームのレベルの向上及び審判技術の向上等指導を行なう。

大 学 部 記 録

東海大学男女バレーボール 春季大会

4. 20 ~ 5. 26

<男子 2部リーグ>

静岡大 2 $\left\{ \begin{matrix} 15-7 \\ 15-11 \end{matrix} \right\}$ 0 岐阜大 聖隷短大 0 $\left\{ \begin{matrix} 13-15 \\ 10-15 \\ 3-15 \end{matrix} \right\}$ 3 東海女大

静岡大 2 $\left\{ \begin{matrix} 15-12 \\ 15-13 \end{matrix} \right\}$ 0 滋賀大 聖隷学園浜松衛生短大 1部 5位

静岡大 0 $\left\{ \begin{matrix} 7-15 \\ 13-15 \end{matrix} \right\}$ 2 愛知大 <女子 2部リーグ>

静岡大 2 $\left\{ \begin{matrix} 15-11 \\ 14-16 \\ 15-6 \end{matrix} \right\}$ 1 三重大 静岡大 2 $\left\{ \begin{matrix} 15-7 \\ 15-5 \end{matrix} \right\}$ 0 三重大

静岡大 2 $\left\{ \begin{matrix} 15-12 \\ 15-10 \end{matrix} \right\}$ 0 南山大 静岡大 1 $\left\{ \begin{matrix} 7-15 \\ 15-9 \\ 12-15 \end{matrix} \right\}$ 2 南山大

静岡大学 2部 2位 静岡大 2 $\left\{ \begin{matrix} 15-1 \\ 15-7 \end{matrix} \right\}$ 0 名古屋大

<女子 1部リーグ>

聖隷短大 1 $\left\{ \begin{matrix} 15-10 \\ 13-15 \\ 5-15 \\ 10-15 \end{matrix} \right\}$ 3 中京女短 静岡大 2 $\left\{ \begin{matrix} 15-11 \\ 15-13 \end{matrix} \right\}$ 0 岐教育大

聖隷短大 3 $\left\{ \begin{matrix} 15-5 \\ 15-9 \\ 15-1 \end{matrix} \right\}$ 0 岐阜大 静岡大学 2部優勝(入替戦)

聖隷短大 0 $\left\{ \begin{matrix} 11-15 \\ 3-15 \\ 2-15 \end{matrix} \right\}$ 3 中京大 <女子 5部リーグ>

聖隷短大 2 $\left\{ \begin{matrix} 15-7 \\ 15-3 \\ 14-16 \\ 11-15 \\ 4-15 \end{matrix} \right\}$ 3 愛教大 常葉大 2-0 三重短大
常葉大 1-2 名市立大
常葉学園大 2回戦敗退

第1回静岡県大学男女バレーボール大会

6. 16

<男子>静岡市南部体育館

一回戦

常葉大 0 $\left\{ \begin{matrix} 4-15 \\ 8-15 \end{matrix} \right\}$ 2 沼津工専

静大工学 1 $\left\{ \begin{matrix} 19-17 \\ 9-15 \\ 0-15 \end{matrix} \right\}$ 2 日大三島

静岡薬大 2 $\left\{ \begin{matrix} 15-8 \\ 5-15 \\ 15-13 \end{matrix} \right\}$ 1 東海海洋

二回戦

日大三島 2 $\left\{ \begin{matrix} 15-11 \\ 15-11 \end{matrix} \right\}$ 0 静岡薬大

静岡大 2 $\left\{ \begin{matrix} 15-11 \\ 15-9 \end{matrix} \right\}$ 0 沼津工専

三位決定戦

沼津工専 1 $\left\{ \begin{matrix} 9-15 \\ 17-15 \\ 8-15 \end{matrix} \right\}$ 2 静岡薬大

決勝

静岡大 3 $\left\{ \begin{matrix} 15-10 \\ 15-8 \\ 15-7 \end{matrix} \right\}$ 0 日大三島

1位 静岡大学

2位 日大三島

3位 静岡薬大

<女子>

一回戦

常葉大 2 $\left\{ \begin{matrix} 15-7 \\ 15-11 \end{matrix} \right\} 0$ 静岡薬大

東海短大 2 $\left\{ \begin{matrix} 15-6 \\ 10-15 \\ 15-4 \end{matrix} \right\} 1$ 静岡女短

常葉短大 1 $\left\{ \begin{matrix} 6-15 \\ 15-5 \\ 10-15 \end{matrix} \right\} 2$ 静岡女大

日大三島 0 $\left\{ \begin{matrix} 6-15 \\ 3-15 \end{matrix} \right\} 2$ 静岡大

二回戦

聖隷短大 2 $\left\{ \begin{matrix} 15-0 \\ 15-3 \end{matrix} \right\} 0$ 常葉大

静岡女大 0 $\left\{ \begin{matrix} 5-15 \\ 4-15 \end{matrix} \right\} 2$ 静岡大

三位決定

東海短大 1 $\left\{ \begin{matrix} 15-4 \\ 14-16 \\ 10-15 \end{matrix} \right\} 2$ 静岡女大

決勝

聖隷短大 3 $\left\{ \begin{matrix} 15-5 \\ 17-15 \\ 15-8 \end{matrix} \right\} 0$ 静岡大

1位 聖隷短大

2位 静岡大

3位 静岡女大

東海地区国立大学体育大会

7.6 7.7

三菱電気 市立商高

<予選リーグ>

男子

静岡大 2-0 岐阜大

静岡大 2-1 愛知教大

静岡大 2-0 浜松医大

<準決勝>

静岡大 2-0 名古屋大

<決勝>

静岡大 0-2 三重大

静岡大 2位

女子

静岡大 1-2 岐阜大

静岡大 2-0 三重大

静岡大 0-2 愛知教大

静岡大 2-1 名古屋大

関西薬学生連盟バレーボール大会

7.13 7.14

男子

静岡薬大 0-2 京都薬大

静岡薬大 0-2 名城大薬

静岡薬大 2-0 大阪薬大

静岡薬大 2-0 近大薬学

女子予選リーグ

静岡薬大 2-0 名城大薬

静岡薬大 2-0 神戸女薬

静岡薬大 2-1 岐阜薬大

静岡薬大 2-0 北陸大薬

決勝リーグ

静岡薬大 0-2 京都薬大

静岡薬大 0-2 大阪薬大

静岡薬大 0-2 名市大薬

静岡薬科大 4位

全国私立短大体育大会

7月

<女子>

常葉短大 0-2 山陽短大

1回戦 敗退

中部公立短期大学交歓競技会

8.8

静岡女短 2-1 山梨短大

静岡女短 0-2 長野県短

静岡女短 2位

静岡県立三大学スポーツ大会

8.27

静岡女短 2-0 静岡女大

静岡薬大 2-1 静岡女大

静岡女短 2-1 静岡薬大

1位 静岡女子短大

2位 静岡薬大

3位 静岡女子大

東海大学男女バレーボールリーグ秋季大会

9.22 ~ 10.27
 静岡大 2 $\left\{ \begin{matrix} 15-12 \\ 15-12 \end{matrix} \right\}$ 0 岐阜大
 静岡大 0 $\left\{ \begin{matrix} 12-15 \\ 3-15 \end{matrix} \right\}$ 2 三重大
 静岡大 2 $\left\{ \begin{matrix} 15-5 \\ 13-15 \\ 15-13 \end{matrix} \right\}$ 1 南山大
 静岡大 2 $\left\{ \begin{matrix} 15-7 \\ 15-12 \end{matrix} \right\}$ 0 滋賀大
 静岡大 1 $\left\{ \begin{matrix} 14-16 \\ 15-9 \\ 6-15 \end{matrix} \right\}$ 2 愛教大
 静岡大学 2部 3位

男子3部リーグ東海大海洋
 3部6位<入替戦へ>
 男子4部リーグ常葉大
 1回戦敗退

<女子1部リーグ>

9.22

聖隷短大 3 $\left\{ \begin{matrix} 15-12 \\ 15-7 \\ 15-14 \end{matrix} \right\}$ 0 東海女大
 静岡大 2 $\left\{ \begin{matrix} 3-15 \\ 8-15 \\ 1-15 \end{matrix} \right\}$ 0 中京大
 聖隷短大 0 $\left\{ \begin{matrix} 3-15 \\ 6-15 \\ 10-15 \end{matrix} \right\}$ 3 中京大
 静岡大 2 $\left\{ \begin{matrix} 7-15 \\ 3-15 \\ 6-15 \end{matrix} \right\}$ 0 愛教大
 聖隷短大 0 $\left\{ \begin{matrix} 9-15 \\ 14-16 \\ 9-15 \end{matrix} \right\}$ 3 中京女大
 静岡大 2 $\left\{ \begin{matrix} 7-15 \\ 15-10 \\ 6-15 \\ 12-15 \end{matrix} \right\}$ 0 東海女大
 聖隷短大 3 $\left\{ \begin{matrix} 15-13 \\ 15-12 \\ 15-12 \end{matrix} \right\}$ 0 愛教大
 静岡大 0 $\left\{ \begin{matrix} 5-15 \\ 3-15 \\ 3-15 \end{matrix} \right\}$ 3 中京女大
 聖隷短大 3 $\left\{ \begin{matrix} 15-6 \\ 15-9 \\ 15-9 \end{matrix} \right\}$ 0 静岡大

聖隷短大 1部 3位

静岡大 1部 6位<入替>

<女子3部リーグ>東海女短

3部 5位

<女子5部リーグ>

常葉大 2-0 名古屋短

常葉大 0-2 三重大

<入替戦>

男子3~4部>東海大海洋

4部降格

東海海洋 0 $\left\{ \begin{matrix} 1-15 \\ 2-15 \end{matrix} \right\}$ 2 名古屋工大

<女子1~2部>静岡大

1部残留

静岡大 3 $\left\{ \begin{matrix} 15-10 \\ 15-12 \\ 12-15 \\ 16-14 \end{matrix} \right\}$ 1 岐阜大

<東海6人制バレーボール総合
 男女選手権大会 10.10(日)>

<1回戦>

聖隷短大 2 $\left\{ \begin{matrix} 15-13 \\ 15-8 \end{matrix} \right\}$ 0 岐阜市農協

<準決勝>

聖隷短大 0 $\left\{ \begin{matrix} 0-15 \\ 4-15 \end{matrix} \right\}$ 2 日本電装

秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会

11.21 ~ 24

グループ予選

静岡大 1-2 日本大

聖隷短大 2-0 千葉大

静岡大 2-1 新潟大

決勝トーナメント 11.22

1回戦

静岡大 不戦勝

聖隷短大 2 $\left\{ \begin{matrix} 15-3 \\ 15-4 \end{matrix} \right\}$ 0 慶応大

2回戦

静岡大 0 $\left\{ \begin{matrix} 11-15 \\ 7-15 \end{matrix} \right\}$ 2 横浜国大

聖隷短大 0 $\left\{ \begin{matrix} 11-15 \\ 7-15 \end{matrix} \right\}$ 2 中京女大

静岡大 ベスト 3 2

聖隷短大 ベスト 3 2

静岡県バレーボール大学
男女選手権大会

11.24 12.1

<女子Aリーグ>

聖隷女短 $2 \left\{ \begin{matrix} 15-2 \\ 15-3 \end{matrix} \right\} 0$ 静岡女短

聖隷女短 $2 \left\{ \begin{matrix} 15-0 \\ 15-9 \end{matrix} \right\} 0$ 静薬大

静薬大 $0 \left\{ \begin{matrix} 14-16 \\ 7-15 \end{matrix} \right\} 2$ 静女短

<女子Bリーグ>

静岡大 $2 \left\{ \begin{matrix} 15-4 \\ 15-3 \end{matrix} \right\} 0$ 東海短大

東海短大 $1 \left\{ \begin{matrix} 15-8 \\ 12-15 \\ 14-16 \end{matrix} \right\} 2$ 常葉短大

静岡大 $2 \left\{ \begin{matrix} 15-2 \\ 15-3 \end{matrix} \right\} 0$ 常葉短大

<女子Cリーグ>

日大三島 $1 \left\{ \begin{matrix} 15-2 \\ 14-16 \\ 8-15 \end{matrix} \right\} 2$ 静岡女短

静岡大 $2 \left\{ \begin{matrix} 15-4 \\ 15-3 \end{matrix} \right\} 0$ 東海短大

日大三島 $2 \left\{ \begin{matrix} 12-15 \\ 15-13 \\ 15-7 \end{matrix} \right\} 1$ 常葉大

<女子決勝リーグ>

静岡薬大 $0 \left\{ \begin{matrix} 13-15 \\ 8-15 \end{matrix} \right\} 2$ 静岡女大

静岡薬大 $0 \left\{ \begin{matrix} 14-16 \\ 10-15 \end{matrix} \right\} 2$ 東海短大

東海短大 $2 \left\{ \begin{matrix} 15-7 \\ 6-15 \\ 15-10 \end{matrix} \right\} 1$ 静岡女大

常葉短大 $0 \left\{ \begin{matrix} 4-15 \\ 12-15 \end{matrix} \right\} 2$ 日大三島

静岡女短 $2 \left\{ \begin{matrix} 15-3 \\ 15-11 \end{matrix} \right\} 0$ 日大三島

静岡女短 $2 \left\{ \begin{matrix} 15-6 \\ 15-4 \end{matrix} \right\} 0$ 常葉短大

聖隷短大 $2 \left\{ \begin{matrix} 15-1 \\ 15-2 \end{matrix} \right\} 0$ 常葉短大

聖隷短大 $2 \left\{ \begin{matrix} 15-3 \\ 15-4 \end{matrix} \right\} 0$ 静岡大

静岡大 $2 \left\{ \begin{matrix} 15-6 \\ 15-8 \end{matrix} \right\} 0$ 常葉短大

1位 聖隷短大 6位 日大三島
2位 静岡大 7位 東海短大
3位 常葉短大 8位 静岡女大
4位 静岡女短 9位 静岡薬大
5位 常葉短大

<男子Aリーグ>

静岡大 $2 \left\{ \begin{matrix} 5-15 \\ 15-5 \\ 15-8 \end{matrix} \right\} 1$ 日大三島

静岡大 $2 \left\{ \begin{matrix} 15-9 \\ 15-5 \end{matrix} \right\} 0$ 静大工学

静岡大 $2 \left\{ \begin{matrix} 15-7 \\ 15-4 \end{matrix} \right\} 0$ 常葉大

常葉大 $0 \left\{ \begin{matrix} 10-15 \\ 5-15 \end{matrix} \right\} 0$ 静大工学

常葉大 $0 \left\{ \begin{matrix} 6-15 \\ 5-15 \end{matrix} \right\} 2$ 日大三島

静大工学 $0 \left\{ \begin{matrix} 8-15 \\ 8-15 \end{matrix} \right\} 2$ 日大三島

<男子Bリーグ>

東海海洋 $2 \left\{ \begin{matrix} 14-16 \\ 15-12 \\ 15-7 \end{matrix} \right\} 1$ 静岡薬大

東海海洋 $2 \left\{ \begin{matrix} 15-17 \\ 15-6 \\ 15-4 \end{matrix} \right\} 1$ 静岡工短

東海海洋 $2 \left\{ \begin{matrix} 15-9 \\ 5-15 \\ 15-10 \end{matrix} \right\} 1$ 沼津工専

沼津高専 $2 \left\{ \begin{matrix} 10-15 \\ 5-6 \\ 15-10 \end{matrix} \right\} 1$ 静岡工短

沼津高専 $0 \left\{ \begin{matrix} 13-15 \\ 11-15 \end{matrix} \right\} 2$ 静岡工短

静岡工短 $0 \left\{ \begin{matrix} 2-15 \\ 3-15 \end{matrix} \right\} 2$ 静岡薬大

<男子決勝トーナメント>

静大工学 $2 \left\{ \begin{matrix} 15-6 \\ 15-10 \end{matrix} \right\} 0$ 静大工短

静岡大 $2 \left\{ \begin{matrix} 15-1 \\ 15-3 \end{matrix} \right\} 0$ 静岡薬大

静大工短 2 $\left\{ \begin{array}{l} 15-12 \\ 7-15 \\ 15-11 \end{array} \right\}$ 1 沼津工専

静岡薬大 0 $\left\{ \begin{array}{l} 7-15 \\ 6-15 \end{array} \right\}$ 2 東海海洋

常葉大 2 $\left\{ \begin{array}{l} 14-16 \\ 15-8 \\ 15-10 \end{array} \right\}$ 1 沼津工専

日大三島 2 $\left\{ \begin{array}{l} 15-4 \\ 15-1 \end{array} \right\}$ 0 東海海洋

静大工学 2 $\left\{ \begin{array}{l} 15-7 \\ 15-3 \end{array} \right\}$ 0 常葉大

静岡大 2 $\left\{ \begin{array}{l} 15-10 \\ 17-15 \end{array} \right\}$ 0 日大三島

1位 静岡大

2位 日大三島

3位 東海海洋

4位 静岡薬大

5位 静大工学

6位 常葉大

7位 静大工短

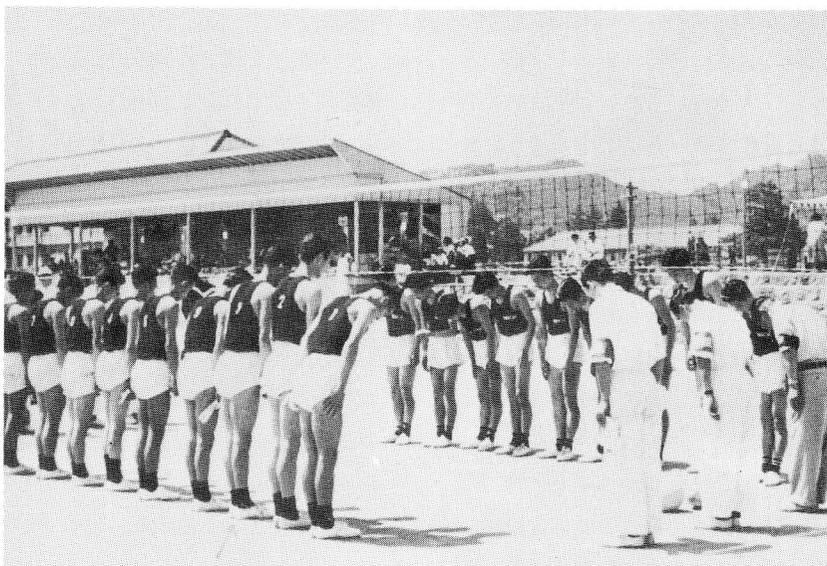
8位 沼津工専



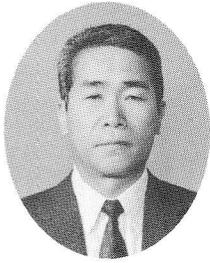


◀ 若かりし海瀬理事長

「選士」とメダルの神話「国引き」
が戦争中を物語っている。



昭和30年頃（清水製薬） 試合開始のあいさつ



高校部の一年

高校部長 桜 井 鋭 一

本年度の競技日程も余すところ新人大会のみとなりました。ここまで大過なく来れた事は役員の皆様はじめ、各校顧問のご指導と、ご協力の賜物と感謝申し上げます。

前年度3月に実施されました、全国高校選抜大会において、浜松西高が第3位に入賞するすばらしい活躍をみせてくれました。主将の抽原を中心によくまとまり、一戦一戦調子を上げ、東海大四と決勝進出をかけて対戦、惜しくも涙のみでしたが、念願のベスト4、この活躍に心から拍手を送りたいと思います。一方女子の浜北西高は全国初出場、初陣らしからぬ戦いぶりです。ベスト16、大舞台での厳しい経験は選手にとって大きな財産になったことであろう。次なる飛躍の土台にしてほしいものです。

今年度は、選抜の実績を踏まえてのスタートだけに期待もつづけての県総体でありました。男子は、小型ながらよく鍛えられた技とチームワークの浜松南高が、準決・決勝と苦しみながらも初優勝、2位に下田北、3・4位に浜松西、韮山、いずれも傑出した選手はいませんでした。ただ選抜ベスト4の浜松西の早々の敗退は調整の失敗か、活躍が期待されただけに残念でならない。女子は3月の異動で監督の交代があり、その戦いぶりが心配された浜松湖東高、エース内

山を中心に精神的に鍛えられた好チーム、攻守に粘りのあるバレーを展開して2年連続2回目の優勝を果たしました。種目こそ違え老練な監督を迎え、前任者の意図を継承し更に発展させ得たことが好結果につながったことと思います。2位以下の富士宮東、浜北西、浜松市立もよく健闘しましたが今一步力がおよばず残念でした。優勝した浜松南、浜松湖東の全国総体での活躍を期待しましたが、ともに1・2回戦で強豪チームのまえに惜敗、3回戦進出がなりませんでした。

国体東海予選では男子の県選抜チームが、全国総体3位の松阪工を中心とした三重選抜に勝って、男女揃って本大会に出場惜しくも1・2回戦で破れましたが、練習につぐ練習を重ねたことが好結果につながったものと思います。選抜チームのスタッフの労苦もさることながら、本県バレー関係者にとって大きな収穫でありました。

最後に、県新人戦は選抜の切符をかけ熱い闘いが繰りひろげられようとしています。11月の県選手権の結果から、男子は掛川工を中心に下田北、東海大一、静岡西、浜松南が、女子は掛川東、浜松市立を中心に浜北西、静岡市商、富士宮東と続くものと思われます。男女の掛川勢に各チームがどう挑むか期待したいと思います。

昭和60年度静岡県高等学校総合体育大会

男子		伊 東 2-0 熱 海	静岡北 2-0 静清工
<東 部 地 区>		葦 山 2-0 沼津学園	東海大一 2-1 静岡東
1回戦		9 . 10位決定戦	藤枝東 2-0 島田学園
裾 野 2-0 桐 陽	沼津東 2-0 沼津学園	静岡市立 2-0 静岡南	
下田南 2-1 富士宮西	準々決勝	大井川 2-0 静岡農	
2回戦		下田北 2-0 稲 取	東海大工 2-0 静岡工
下田北 2-0 裾 野	日大三島 2-1 伊豆中央	島田工 2-0 焼津中央	
御殿場 2-1 伊東商	松 崎 2-0 御殿場南	焼津水産 2-1 清水東	
稲 取 2-0 富士宮北	葦 山 2-0 伊 東	島 田 2-0 藤枝北	
沼津工 2-0 土 肥	7 . 8位決定戦	静 岡 2-0 静岡市商	
伊豆中央 2-0 小 山	御殿場南 2-0 稲 取	静岡学園 2-1 清水南	
富士東 2-0 富士宮農	5 . 6位決定戦	清水市商 2-1 清水工	
沼津東 2-1 修善寺工	伊豆中央 2-0 伊 東	静岡商 2-1 島田商	
日大三島 2-0 沼津商	準決勝	庵 原 2-0 榛 原	
松 崎 2-0 三 島	下田北 2-0 日大三島	3回戦	
吉原工 2-0 伊東城ヶ崎	葦 山 2-0 松 崎	静岡西 2-0 橘	
沼津北部 2-0 田方農	3 . 4位決定戦	東海大一 2-0 静岡北	
御殿場南 2-0 富 士	日大三島 2-0 松 崎	藤枝東 2-1 静岡市立	
伊 東 2-0 三島南	決 勝	東海大工 2-0 大井川	
熱 海 2-0 吉原商	下田北 2-1 葦 山	島田工 2-0 焼津水産	
沼津学園 2-0 星 陵	<中 部 地 区>	静 岡 2-0 島 田	
葦 山 2-0 下田南	1回戦	静岡学園 2-0 清水市商	
3回戦		庵 原 2-0 静岡商	
下田北 2-0 御殿場	金 谷 2-0 相 良	9 . 10位決定戦	
稲 取 2-1 沼津工	焼津中央 2-0 聖光学院	静岡北 2-1 静岡商	
伊豆中央 2-1 富士東	榛 原 2-0 川 根	準々決勝	
日大三島 2-0 沼津東	2回戦	静岡西 2-0 東海大一	
松 崎 2-0 吉原工	静岡西 2-0 金 谷	藤枝東 2-0 東海大工	
御殿場南 2-0 沼津北部	橘 2-0 明 誠	島田工 2-1 静 岡	

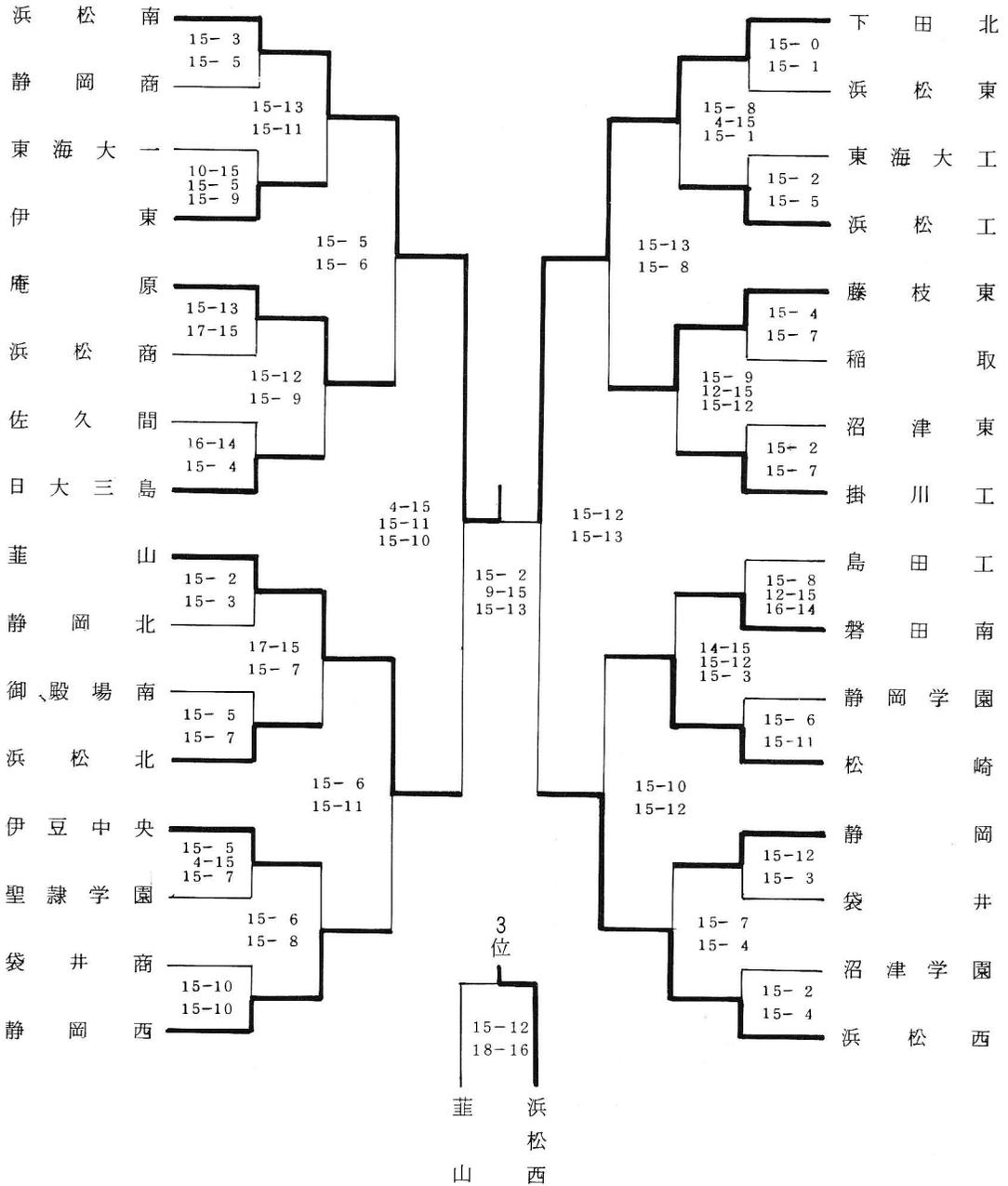
庵原 2-0 静岡学園	浜松東 2-0 新居
7.8位決定戦	浜松南 2-0 浜松城北工
東海大工 2-1 静岡学園	3回戦
5.6位決定戦	浜松西 2-0 池新田
静岡 2-1 東海大一	聖隷 2-0 佐久間
準決勝	浜松北 2-0 掛川西
静岡西 2-1 藤枝東	浜松工 2-0 袋井商
島田工 2-1 庵原	掛川工 2-1 磐田商
3.4位決定戦	袋井 2-0 浜松日体
庵原 2-1 藤枝東	浜松商 2-0 三ヶ日
決勝	浜松南 2-0 浜松東
静岡西 2-0 島田工	11.12位決定戦

<西部地区>

1回戦	佐久間 2-0 磐田南
湖西 2-0 周智	準々決勝
2回戦	浜松西 2-0 聖隷
浜松西 2-0 湖西	浜松北 2-0 浜松工
池新田 2-0 引佐	掛川工 2-0 袋井
聖隷 2-0 常葉菊川	浜松南 2-1 浜松商
佐久間 2-0 磐田商	7.8位決定戦
浜松北 2-0 浜松湖東	聖隷 2-1 浜松商
掛川西 2-0 横須賀	5.6位決定戦
袋井商 2-0 浜北西	浜松工 2-0 袋井
浜松工 2-0 国際海洋	準決勝
掛川工 2-0 興誠	浜松西 2-0 浜松北
磐田南 2-0 オイスカ	浜松南 2-0 掛川工
浜松日体 2-0 小笠農	3.4位決定戦
袋井 2-0 浜松湖南	掛川工 2-1 浜松北
浜松商 2-0 天竜林	決勝
三ヶ日 2-1 浜松江之島	浜松南 2-1 浜松西

県 大 会

60.6. 8・9



女子

各地区大会

60. 5. 12. 19

<東部地区>

1回戦

葦山 2-0 沼津精華
 沼津市立 2-1 下田北
 土肥 2-0 富士宮農
 富士 2-0 小山
 伊東 2-0 沼津東

2回戦

富士宮東 2-0 葦山
 御殿場南 2-0 沼津商
 日大三島 2-0 稲取
 三島南 2-0 伊東城ヶ崎
 大仁 2-0 沼津市立
 吉原 2-0 裾野
 加藤学園 2-0 富士宮北
 沼津北部 2-0 土肥
 富士見 2-0 富士
 熱海 2-0 三島
 富士宮西 2-0 伊豆中央
 三島北 2-0 御殿場
 下田南 2-0 田方農
 沼津西 2-0 松崎
 富士東 2-0 伊東商
 吉原商 2-0 伊東

3回戦

富士宮東 2-0 御殿場南
 日大三島 2-0 三島南
 大仁 2-0 吉原

沼津北部 2-1 加藤学園
 富士見 2-0 熱海
 三島北 2-1 富士宮西
 下田南 2-0 沼津西
 吉原商 2-0 富士東

9. 10位決定戦

加藤学園 2-0 富士東

準々決勝

富士宮東 2-0 日大三島
 大仁 2-0 沼津北部
 三島北 2-1 富士見
 吉原商 2-0 下田南

7. 8位決定戦

下田南 2-0 日大三島

5. 6位決定戦

富士見 2-1 沼津北部

準決勝

富士宮東 2-0 大仁
 吉原商 2-0 三島北

3. 4位決定戦

三島北 2-0 大仁

決勝

富士宮東 2-0 吉原商

<中部地区>

1回戦

清水商 2-0 清水東
 島田商 2-1 藤枝西

2回戦

清水西 2-0 清水商
 清水南 2-0 川根

静岡城北 2-0 榛原
 庵原 2-0 静岡精華
 静岡女商 2-0 英和
 静岡 2-0 雙葉
 静岡商 2-0 藤枝北
 焼津中央 2-0 相良
 常葉 2-0 吉田
 焼津 2-0 静岡南
 大井川 2-0 静岡学園
 静岡星美 2-0 金谷
 藤枝南 2-0 静岡東
 東海大一 2-0 島田
 静岡西 2-0 清水女子
 静岡市商 2-0 島田商

3回戦

清水西 2-0 清水南
 庵原 2-0 静岡城北
 静岡女商 2-0 静岡
 焼津中央 2-0 静岡商
 常葉 2-1 焼津
 静岡星美 2-0 大井川
 藤枝南 2-0 東海大一
 静岡市商 2-0 静岡西

9. 10位決定戦

焼津 2-0 静岡商

準々決勝

清水西 2-0 庵原
 静岡女商 2-1 焼津中央
 静岡星美 2-1 常葉
 藤枝南 2-1 静岡市商

7. 8位決定戦

常 葉 2-1 庵 原	湖 西 2-0 二 俣
5.6位決定戦	浜松市立 2-0 西 遠
静岡市商 2-0 焼津中央	佐久間 2-0 池新田
準決勝	掛川西 2-0 磐田商
清水西 2-1 静岡女商	常葉菊川 2-0 磐田北
静岡星美 2-0 藤枝南	浜松日体 2-0 佐久間
3.4位決定戦	常葉菊川 2-1 掛川西
藤枝南 2-1 静岡女商	気 賀 2-0 磐田東
決 勝	浜松湖東 2-0 気 賀
清水西 2-0 静岡星美	11.12位決定戦

<西 部 地 区>

1回戦

浜松湖南 2-1 浜 名
池新田 2-0 国際海洋
袋 井 2-0 浜松南
磐田商 2-0 オイスカ
浜松江之島 2-0 引 佐
浜松東 2-0 浜松北
掛川西 2-0 浜松西
海の星 2-0 春 野
信 愛 2-0 横須賀
気 賀 2-0 磐田南

2回戦

浜松北 2-0 森
西 遠 2-0 浜松湖南
池新田 2-0 誠 心
袋 井 2-1 三ヶ日
掛川東 2-0 天竜林
磐田商 2-0 新 居
磐田北 2-0 浜松江之島

9.10位決定戦

西 遠 2-0 磐田東

準々決勝

浜北西 2-0 袋 井
掛川東 2-0 湖 西
浜松市立 2-0 常葉菊川
浜松湖東 2-0 浜松日体

7.8位決定戦

湖 西 2-0 常葉菊川

5.6位決定戦

袋 井 2-0 浜松日体

準決勝

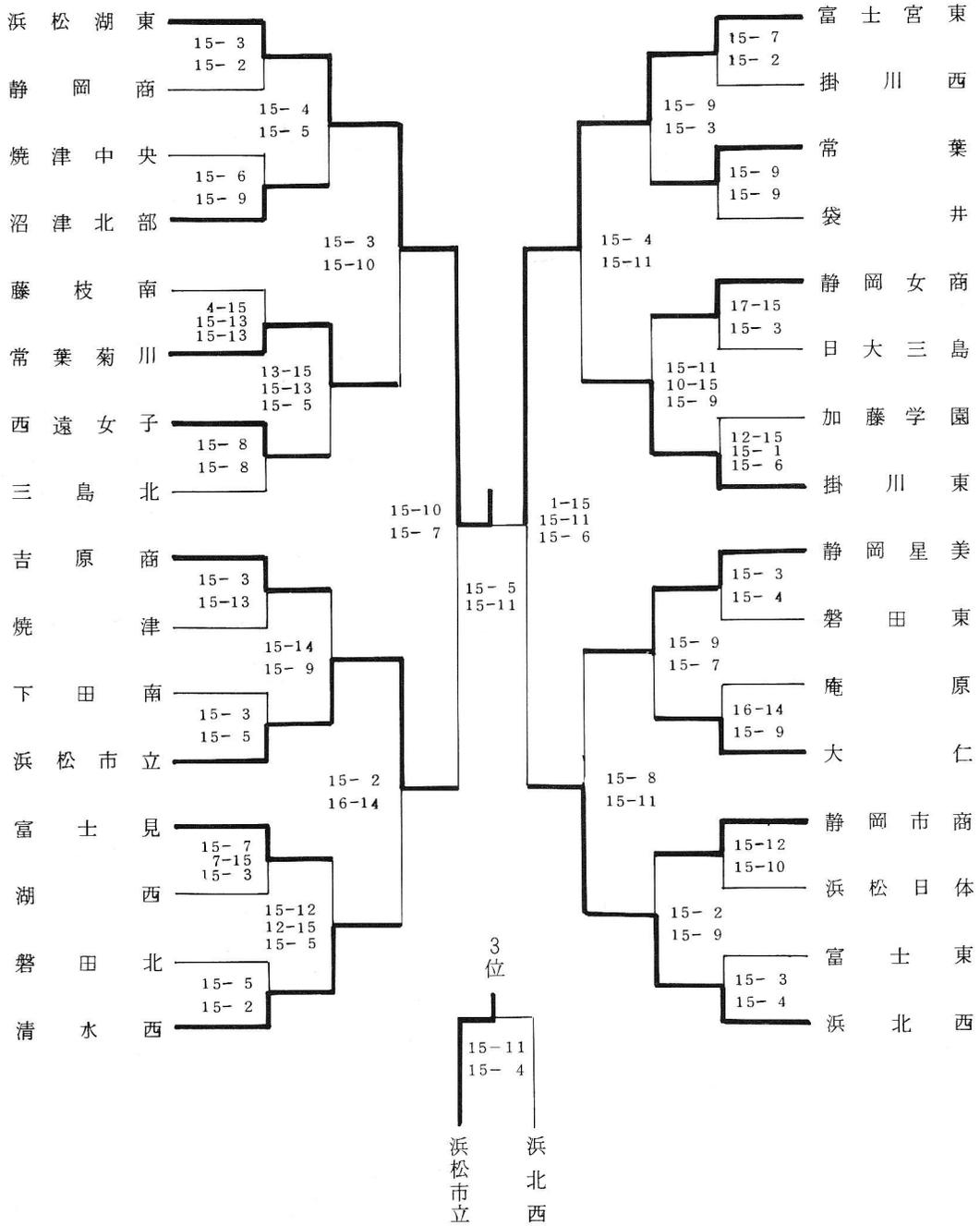
浜北西 2-0 掛川東
浜松湖東 2-1 浜松市立

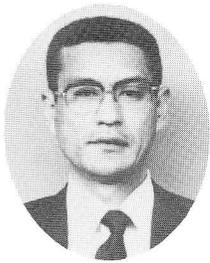
3.4位決定戦

掛川東 2-0 浜松市立
決 勝

浜松湖東 2-0 浜北西

会 大 会 60. 6. 8. 9





国体少年男子

静岡県選抜チームを持って

強化委員会副委員長・高体連副部長

少年男子監督 吉本 秀樹

強化委員会が発足して3年目、今年度の重点目標は、地元静岡で行われた東海国体で、既に出場権を持つ少年女子の他、少くとも2種別を国体に送り出そうということだった。結果としては少年男子が東海を制したにとどまり、9人制男子・東レ九鱗会、同女子・東芝富士はいま一歩のところまで涙をのんだ。しかし、各チームの活躍を見るにつけ、近い将来、各種別とも東海を制し、揃っての国体出場も可能であるとの確信を得た。

さて、本大会出場少年男子の強化について少し触れよう。高校総体県大会終了後、第1次候補選手として17名を選び、強化練習会の後、最終選手として11名を決定した。夏休みに入り、東海国体突破を合言葉に、合宿・遠征等を含め35日間の日程でチームを強化した。練習試合は実団、大学、高校等13チームを相手に約190セットをこなす一方、コーチングスタッフは対戦相手の戦力分析に努め、更に植松登氏の率いる東レ九鱗会に御指導をお願いし一層の強化を計った。その結果、チーム力は向上、充実し、初戦で全国総体3位の松阪工高を15-11、15-11で下し、決勝戦では岐阜選抜を15-7、11-15、15-2のスコアで下し、優勝することができた。

本大会では準々決勝で全国総体2位の都城工高を中心とする宮崎選抜と対戦、15-12、13-15、3-15のフルセットの末敗れ、ベスト4入りは果たせなかったが、選手は持てる力を十分発揮し

ての結果であった。

ともあれ、ここまで駒を進め得たことは、選手への頑張りはもちろんだが、関係各位の暖かいお励ましのたまものと、深く感謝申しあげて、報告とする。

少年男子チーム

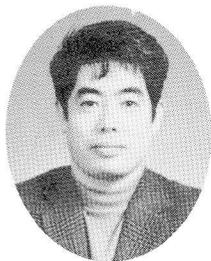
監督 吉本 秀樹(静岡高校教諭)

コーチ 森 啓彰(浜松西高校教諭)

主務 大石 勇二(自営)

選手

No.	氏名	所属校	学年	身長	ポジション
1	高野 克己	下田北	3	170	セッター
3	石川 文敏	日大三島	3	182	センター
4	秋山 央	日大三島	1	194	エース
5	大野 仁志	静岡西	3	188	ライト
6	吉田 明人	藤枝東	3	186	エース
7	元場 貴哉	掛川工	2	185	センター
8	柚原 誠	浜松西	3	182	エース
9	西尾 啓也	浜松西	3	183	センター
10	斎藤 哲	浜松西	3	178	セッター
11	疋田 清光	浜松西	3	173	レシーバー



少年女子静岡県選抜チームを持って

少年女子監督 山元靖夫

昭和59年度は、6月30日発会式をもって約1ヶ月半の練習期間でミニ国体に臨んだが、決勝で13点まで追上げたものの惜敗した。

この結果をふまえて、すぐ60年度の国体対策をスタッフと共に開始した。

- 1 全国大会を経験している選手を重点に選出する。
- 2 スタッフが全国大会を全て観戦し、研究すると共に視野を広げる。
- 3 ア. 選手同志の心の繋がり、イ. 父兄、選手、スタッフの連携。

アについては、浜松市内在住の選手宅に分宿させアットホームな雰囲気の中で親密度を深めた。また、8月中の合宿、9月の木金土日の練習で十分目的を達した。その間、父兄は送迎は勿論、練習・昼食時には顔を出して歓談し、物心両面での支援を受けたことは大きな力となった。

さてチームとしてはインターハイの研究の結果、コンビバレーで攻めてくるチームが多く、同じパターンで攻めても身長・パワー不足のため、得点できないと判断した。インターハイの浜松湖東高校の経験をもとに遅攻法を更に遅くし、トスを更に1m高く上げて攻める方法をとった。エースは同じフォームからボールの面を叩く位置を変える。更にライトには流し気味のDなどを入れて戦ってみた。戦績はベスト8には入れなかったが、身長の大きいチームには大変効果があった。

加えて選手選抜は、遅くとも3月までに20名の選手を選抜し、練習会を開き、準備に入るべきである。パワーは1ヶ月では仕上がるわけがないのである。ちなみに、岐阜県の61年度国体に関

しては3月28日からすでに合宿に入るようである。本県としてもミニ国体を勝抜かなければ国体出場は不可能であるので、少なくとも東海レベルの強化を図る必要があると思われる。

1回戦				
静岡選抜	2	$\left\{ \begin{array}{l} 15-8 \\ 15-6 \end{array} \right\}$	0	熊本信愛女高
2回戦				
静岡選抜	1	$\left\{ \begin{array}{l} 15-11 \\ 7-15 \\ 8-15 \end{array} \right\}$	2	千葉選抜

少年女子チーム

監督 山元靖夫(湖西高校教諭)
 コーチ 西郷 功(掛川東高校教諭)
 主務 鈴木 穰(信愛学園高校教諭)

選手

№	氏名	所属校	学年	身長	ポジション
1	深沢まゆみ	富士宮東	3	165	エース
2	小杉 育代	浜松湖東	3	166	セッター
3	大橋 明美	掛川東	3	165	エース
4	菅沼 祐子	湖西	3	169	エース
5	飯田 桂子	浜松湖東	3	164	ライト
6	高橋 かつお	浜松湖東	3	160	レシーバー
7	福山 康美	浜松湖東	3	166	ライト
8	鈴木希功子	浜北西	3	160	セッター
9	鈴木 明美	浜北西	3	164	ライト
10	中山まり子	掛川東	3	162	レシーバー
11	内山久美子	浜松湖東	3	169	エース
12	渡辺美奈恵	静岡星美	3	168	エース

昭和60年度第4回静岡県高等学校バレーボール 選手権大会

男子

各地区大会

60.11.3~4

<東 部 地 区>

1回戦

富士宮北 2-0 御殿場西
沼津学園 2-0 吉原商
下田南 2-0 富士宮農

2回戦

下田北 2-0 富士宮北
熱海 2-1 沼津市立
沼津北部 2-0 長泉
稲取 2-0 土肥
伊豆中央 2-0 伊東城ヶ崎
沼津工 2-0 御殿場
星陵 2-1 伊東商
日大三島 2-0 三島
松崎 2-0 沼津学園
富士宮西 2-0 沼津北
富士東 2-0 修善寺工
伊東 2-0 田方農
御殿場南 2-0 裾野
三島南 2-0 富士
吉原工 2-0 小山
葦山 2-0 下田南

3回戦

下田北 2-0 熱海
稲取 2-1 沼津北部

沼津工 2-0 伊豆中央 静岡商 2-0 清水商
日大三島 2-0 星陵 2回戦

松崎 2-0 富士宮西 静岡西 2-0 藤枝北
富士東 2-0 伊東 清水東 2-0 橋

三島南 2-0 御殿場南 清水工 2-1 焼津水産
葦山 2-0 吉原工 静岡学園 2-0 金谷

9.10位決定戦

伊豆中央 2-0 御殿場南 静岡 2-0 相良
伊豆中央 2-0 御殿場南 焼津中央 2-0 明誠

準々決勝

下田北 2-0 稲取 静岡工 2-0 島田商
沼津工 2-1 日大三島 島田工 2-0 島田学園
松崎 2-1 富士東 藤枝東 2-0 島田
葦山 2-0 三島南 清水南 2-0 静岡農

7.8位決定戦

三島南 2-0 稲取 静岡市立 2-1 静岡東
三島南 2-0 稲取 東海大一 2-0 川根
日大三島 2-1 富士東 東海大工 2-0 大井川

5.6位決定戦

日大三島 2-1 富士東 静岡清工 2-1 静岡北
日大三島 2-1 富士東 静岡南 2-0 静岡市商
準決勝 庵原 2-0 静岡商

準決勝

下田北 2-0 沼津工 3回戦
葦山 2-1 松崎 静岡西 2-0 清水東

3.4位決定戦

沼津工 2-0 松崎 静岡学園 2-0 清水工
沼津工 2-0 松崎 静岡 2-0 焼津中央

決勝

下田北 2-0 葦山 静岡工 2-0 島田工
下田北 2-0 葦山 藤枝東 2-0 清水南
下田北 2-0 葦山 東海大一 2-0 静岡市立

<中 部 地 区>

1回戦

藤枝北 2-1 榛原 東海大工 2-0 静岡清工
静岡南 2-0 庵原

11.12位決定戦

庵原 2-1 清水東
9. 10位決定戦

静岡市立 2-1 焼津中央
準々決勝

静岡西 2-0 静岡学園

静岡工 2-0 静岡

東海大一 2-0 藤枝東

静岡南 2-0 東海大工

7. 8位決定戦

東海大工 2-0 静岡

5. 6位決定戦

静岡学園 2-1 藤枝東

準決勝

静岡西 2-0 静岡工

東海大一 2-0 静岡南

3. 4位決定戦

静岡工 2-1 静岡南

決勝

東海大一 2-1 静岡西

<西部地区>

1回戦

浜浜日体 2-0 磐田南

興誠 2-0 浜松湖南

浜松商 2-0 引佐

浜松工 2-1 浜松湖東

掛川西 2-0 周智

袋井商 2-0 三ヶ日

浜松北 2-0 新居

掛川工 2-0 浜北西

磐田南 2-0 浜松東

湖西 2-0 オイスカ 決勝

袋井 2-0 佐久間 掛川工 2-1 浜松南

聖隷 2-0 浜松城北工

池新田 2-0 横須賀

常葉菊川 2-0 浜松江之島

2回戦

浜松南 2-0 浜松日体

浜松商 2-0 興誠

浜松工 2-1 掛川西

浜松北 2-0 袋井商

掛川工 2-0 磐田南

湖西 2-0 袋井

池新田 2-0 聖隷

浜松西 2-1 常葉菊川

9. 10位決定戦

磐田南 2-1 浜松日体

準々決勝

浜松南 2-0 浜松商

浜松北 2-0 浜松工

掛川工 2-0 湖西

浜松西 2-0 池新田

7. 8位決定戦

浜松工 2-1 湖西

5. 6位決定戦

浜松商 2-0 池新田

準決勝

浜松南 2-1 浜松北

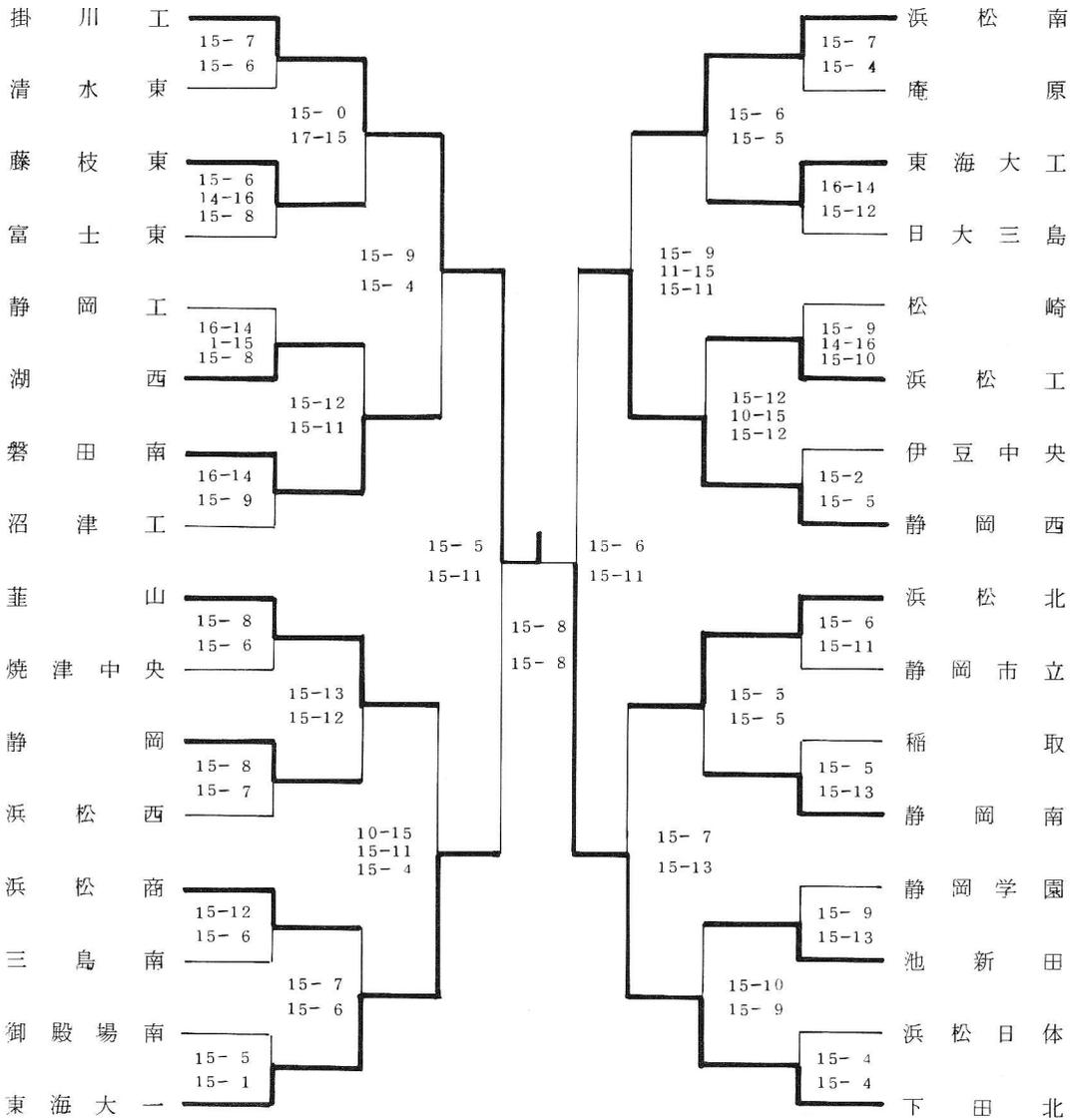
掛川工 2-0 浜松西

3. 4位決定戦

浜松北 2-0 浜松西

県 大 会

60. 11. 23.24



女子

各地区大会

60.11.3~4

<東部地区>

1回戦

富士宮農 2-0 沼津豊
 田方農 2-0 稲取
 三島 2-1 沼津精華
 裾野 2-0 伊東商
 松崎 2-1 下田北
 三島南 2-0 富士
 土肥 2-0 沼津学園
 沼津商 2-0 沼津東

2回戦

富士宮東 2-0 富士宮農
 熱海 2-0 小山
 富士宮西 2-0 沼津市立
 日大三島 2-0 田方農
 富士見 2-0 三島
 富士宮北 2-1 御殿場南
 沼津西 2-0 吉原
 大仁 2-0 裾野
 三島北 2-0 松崎
 富士東 2-0 長泉
 御殿場 2-1 伊東城ヶ崎
 三島南 2-1 沼津北部
 下田南 2-0 土肥
 伊東 2-0 伊豆中央
 葦山 2-1 加藤学園
 吉原商 2-0 沼津商

3回戦

富士宮東 2-0 熱海
 富士宮西 2-0 日大三島
 富士見 2-1 富士宮北
 大仁 2-0 沼津西
 三島北 2-1 富士東
 御殿場 2-0 沼津北部
 下田南 2-1 伊東
 吉原商 2-0 葦山

9.10位決定戦

日大三島 2-1 富士東

準々決勝

富士宮西 2-1 富士宮東
 大仁 2-0 富士見
 三島北 2-1 御殿場
 吉原商 2-0 下田南

7.8位決定戦

富士見 2-1 御殿場

5.6位決定戦

富士宮東 2-1 下田南

準決勝

大仁 2-0 富士宮西
 吉原商 2-0 三島北

3.4位決定戦

富士宮西 2-0 三島北

決勝

大仁 2-1 吉原商

<中部地区>

1回戦

静岡精華 2-0 清水西
 島田 2-0 静岡城北

焼津 2-1 静岡商
 庵原 2-0 清水南
 静岡市商 2-0 吉田
 島田商 2-1 清水商
 静岡東 2-0 静岡南
 静岡女商 2-0 藤枝北
 藤枝南 2-0 東海大一
 金谷 2-0 静岡西
 藤枝西 2-0 相良
 焼津中央 2-1 榛原
 常葉 2-0 清水東
 大井川 2-0 川根
 静岡 2-0 静岡学園
 静岡星美 2-0 静岡英和

2回戦

島田 2-0 静岡精華
 庵原 2-0 焼津
 静岡市商 2-0 島田商
 静岡女商 2-0 静岡東
 藤枝南 2-0 金谷
 藤枝西 2-0 焼津中央
 常葉 2-0 大井川
 静岡星美 2-0 静岡

11.12位決定戦

静岡東 2-0 焼津中央

9.10位決定戦

大井川 2-0 静岡精華

準々決勝

庵原 2-0 島田
 静岡市商 2-0 静岡女商

藤枝南 2-0 藤枝西
常葉 2-0 静岡星美

7.8位決定戦

島田 2-0 静岡星美

5.6位決定戦

静岡女商 2-0 藤枝西

準決勝

静岡市商 2-0 庵原

藤枝南 2-0 常葉

3.4位決定戦

常葉 2-0 庵原

決勝

静岡市商 2-0 藤枝南

<西部地区>

1回戦

浜松商 2-1 気賀

浜松江之島 2-0 磐田東

浜名 2-1 浜松南

西遠 2-0 信愛

森 2-0 浜松西

浜松湖南 2-0 小笠農

2回戦

浜松商 2-1 浜松湖東

袋井商 2-0 浜松女商

佐久間 2-0 新居

湖西 2-0 二俣

常葉菊川 2-0 浜松江之島

三ヶ日 2-0 聖隷

磐田商 2-0 春野

掛川東 2-0 浜名

浜松市立 2-0 西遠

横須賀 2-0 海の星

掛川西 2-0 引佐

袋井 2-0 森

浜松日体 2-0 浜松北

浜松東 2-1 磐田北

池新田 2-0 磐田南

浜北西 2-0 浜松湖南

3回戦

袋井商 2-1 浜松商

佐久間 2-0 湖西

掛川東 2-0 磐田商

浜松市立 2-0 横須賀

袋井 2-0 掛川西

浜松日体 2-1 浜松東

浜北西 2-0 池新田

9.10位決定戦

湖西 2-0 池新田

準々決勝

佐久間 2-0 袋井商

掛川東 2-0 常葉菊川

浜松市立 2-0 袋井

浜北西 2-0 浜松日体

7.8位決定戦

浜松日体 2-1 袋井商

5.6位決定戦

常葉菊川 2-1 袋井

準決勝

掛川東 2-0 佐久間

浜北西 2-0 浜松市立

3.4位決定戦

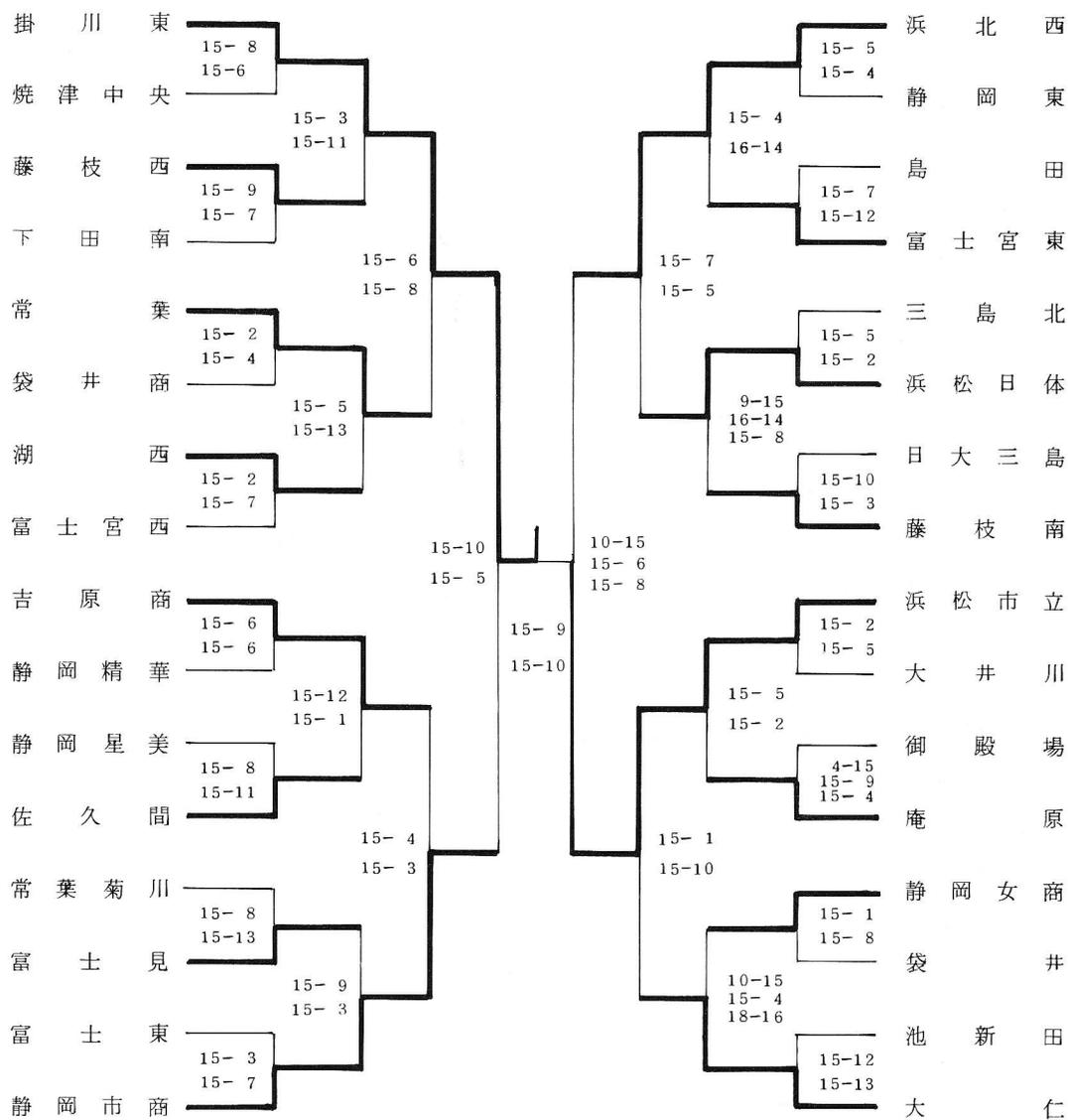
浜松市立 2-0 佐久間

決勝

掛川東 2-1 浜北西

県 大 会

60. 11. 23・24

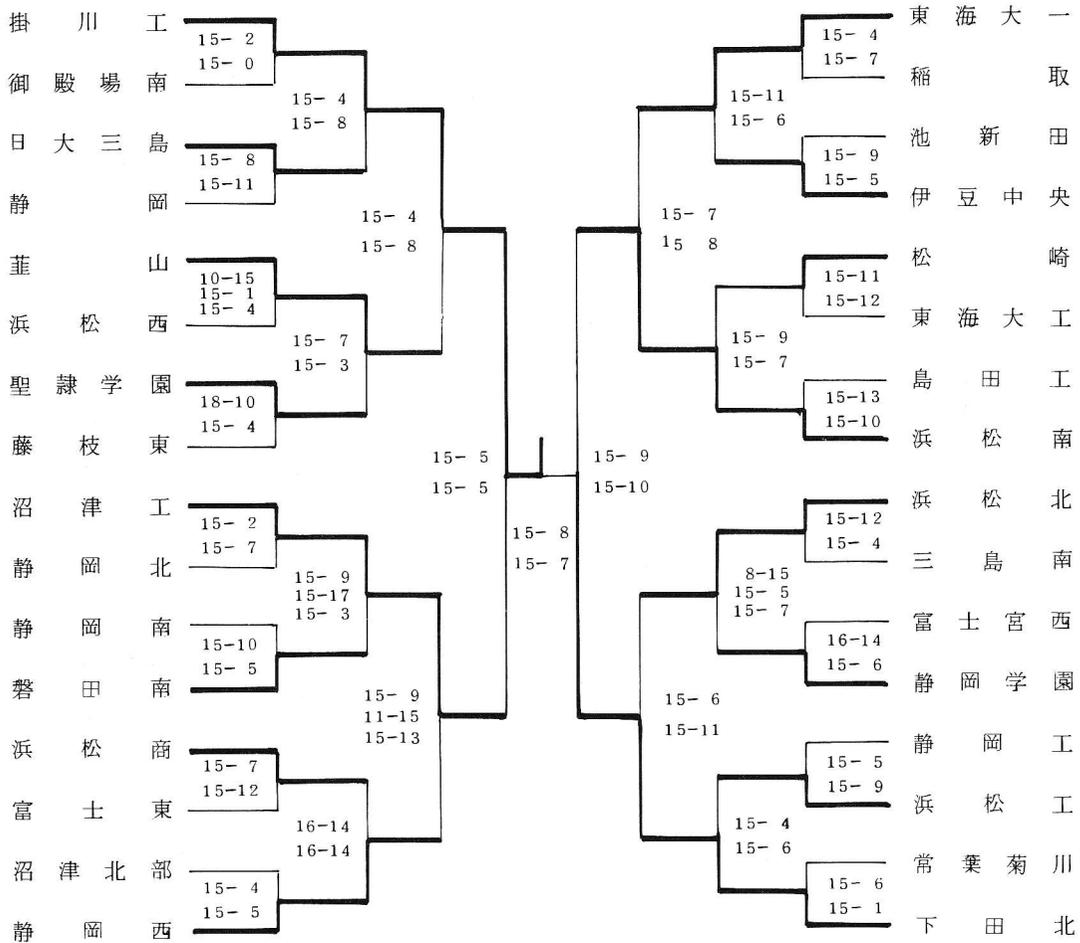


昭和60年度静岡県高等学校新人バレーボール大会
兼第17回全国高等学校バレーボール選抜男女優勝大会
東 東 海 地 区 予 選 大 会

男子	松崎	2-0	吉原工	島田	2-0	静岡農
各地区大会	沼津工	2-0	御殿場南	静岡市立	2-0	金谷
61.1.15・19	富士東	2-0	伊東	2回戦		
<東部地区>	伊豆中央	2-0	三島南	東海大一	2-0	島田
1回戦	葦山	2-0	裾野	島田工	2-0	清水商
星陵	2-1	御殿場	11.12位決定戦	静清工	2-0	相良
熱海	2-0	長泉	稲取	2-0	御殿場前	静岡
2回戦			9.10位決定戦	静岡学園	2-0	島田商
下田北	2-0	星陵	三島南	2-0	沼津北部	清水南
修善寺工	2-1	下田南	準々決勝	清水工	2-1	榛原
富士宮西	2-0	沼津商	下田北	2-0	富士宮西	静岡南
稲取	2-0	富士宮北	松崎	2-0	日大三島	静岡工
日大三島	2-0	土肥	沼津工	2-0	富士東	庵原
沼津北部	2-0	沼津北	葦山	2-1	三島南	静岡北
吉原工	2-0	小山	7.8位決定戦	藤枝東	2-0	橘
松崎	2-0	富士	富士東	2-0	富士宮西	東海大工
沼津工	2-0	沼津東	5.6位決定戦	清水東	2-1	静岡東
御殿場南	2-0	御殿場西	伊豆中央	2-0	日大三島	焼津中央
伊東	2-0	沼津学園	準決勝	静岡西	2-0	静岡市立
富士東	2-0	田方農	下田北	2-0	松崎	3回戦
三島南	2-0	伊東城ヶ崎	沼津工	2-1	葦山	東海大一
伊豆中央	2-0	富士宮農	3.4位決定戦	静岡	2-0	静清工
裾野	2-1	吉原商	葦山	2-1	松崎	静岡学園
葦山	2-0	熱海	決勝	静岡南	2-0	清水工
3回戦			下田北	2-0	沼津工	静岡工
下田北	2-0	修善寺工				庵原
富士宮西	2-0	稲取	<中部地区>	藤枝東	2-0	静岡北
日大三島	2-0	沼津北部	1回戦	東海大工	2-1	清水東
				静岡西	2-0	焼津中央

9 . 10 位決定戦	浜 松 商 2 - 0 興 誠
島 田 工 2 - 0 静 岡 北	池 新 田 2 - 0 掛 川 西
準々決勝	常 葉 菊 川 2 - 0 磐 田 商
東 海 大 一 2 - 0 静 岡	浜 松 日 体 2 - 0 横 須 賀
静 岡 学 園 2 - 1 静 岡 南	2 回 戦
藤 枝 東 2 - 1 静 岡 工	掛 川 工 2 - 0 袋 井
静 岡 西 2 - 0 東 海 大 工	浜 松 工 2 - 0 浜 松 東
7 . 8 位決定戦	浜 松 西 2 - 0 浜 松 城 北 高
静 岡 南 2 - 0 東 海 大 工	磐 田 南 2 - 1 聖 隷 学 園
5 . 6 位決定戦	浜 松 北 2 - 0 浜 松 湖 東
静 岡 工 2 - 1 静 岡	浜 松 商 2 - 0 浜 松 湖 南
準決勝	池 新 田 2 - 0 常 葉 菊 川
東 海 大 一 2 - 0 静 岡 学 園	浜 松 南 2 - 0 浜 松 日 体
静 岡 西 2 - 1 藤 枝 東	9 . 10 位決定戦
3 . 4 位決定戦	聖 隷 学 園 2 - 0 常 葉 菊 川
藤 枝 東 2 - 0 静 岡 学 園	準々決勝
決 勝	掛 川 工 2 - 0 浜 松 工
東 海 大 一 2 - 0 静 岡 西	磐 田 南 2 - 0 浜 松 西
	浜 松 北 2 - 0 浜 松 商
<西 部 地 区>	浜 松 南 2 - 1 池 新 田
1 回 戦	7 . 8 位決定戦
袋 井 2 - 0 引 佐	池 新 田 2 - 0 浜 松 西
浜 松 東 2 - 0 浜 松 江 之 島	5 . 6 位決定戦
浜 松 工 2 - 0 湖 西	浜 松 商 2 - 0 浜 松 工
浜 松 西 2 - 0 小 笠 農	準決勝
浜 松 城 北 工 2 - 0 袋 井 商	掛 川 工 2 - 0 磐 田 南
聖 隷 学 園 2 - 0 新 居	浜 松 南 2 - 0 浜 松 北
磐 田 南 2 - 0 佐 久 間	3 . 4 位決定戦
浜 松 北 2 - 0 浜 北 西	浜 松 北 2 - 0 磐 田 南
浜 松 湖 東 2 - 0 周 智	決 勝
浜 松 湖 南 2 - 0 三 ヶ 日	掛 川 工 2 - 0 浜 松 南

県 大 会 61. 2. 11・19



女子

各地区大会

61.1. 16・19

<東 部 地 区>

1回戦

三島南 2-0 沼津商
 小山 2-0 裾野
 沼津東 2-0 稲取
 長泉 2-0 三島
 加藤学園 2-0 伊豆中央
 沼津精華 2-0 伊東商

2回戦

大仁 2-0 三島南
 日大三島 2-0 土肥
 熱海 2-0 市立沼津
 富士東 2-0 御殿場
 富士宮東 2-0 小山
 御殿場南 2-0 富士
 沼津北部 2-0 下田北
 三島北 2-0 沼津東
 富士宮西 2-0 長泉
 伊東 2-0 不二誠心
 葦山 2-0 沼津西
 下田南 2-0 加藤学園
 富士見 2-0 松崎
 伊東城ヶ崎 2-0 田方農
 富士宮北 2-1 吉原
 吉原商 2-0 沼津精華

3回戦

大仁 2-0 日大三島
 富士東 2-0 熱海

富士宮東 2-0 御殿場南
 三島北 2-1 沼津北部
 富士宮西 2-1 伊東
 下田南 2-1 葦山
 富士見 2-0 伊東城ヶ崎
 吉原商 2-0 富士宮北

11・12位決定戦

富士宮北 2-1 沼津北部

9・10位決定戦

伊東 2-0 日大三島

準々決勝

大仁 2-0 富士東

富士宮東 2-0 三島北

富士宮西 2-0 下田南

吉原商 2-1 富士見

7・8位決定戦

三島北 2-0 下田南

5・6位決定戦

富士見 2-1 富士東

準決勝

富士宮東 2-0 大仁

吉原商 2-0 富士宮西

3・4位決定戦

富士宮西 2-0 大仁

決勝

富士宮東 2-0 吉原商

<中 部 地 区>

1回戦

静岡南 2-0 吉田

2回戦

静岡市商 2-1 静岡南

東海大一 2-0 清水西

静岡精華 2-0 清水南

島田商 2-1 静岡星美

静岡女商 2-0 榛原

静岡西 2-1 英和

相良 2-0 藤枝北

静岡商 2-0 庵原

藤枝南 2-0 焼津

川根 2-0 清水東

金谷 2-0 大井川

藤枝西 2-0 静岡

島田 2-0 静岡学園

静岡東 2-0 清水商

焼津中央 2-0 静岡城北

常葉 2-0 雙葉

3回戦

静岡市商 2-0 東海大一

静岡精華 2-0 島田商

静岡女商 2-0 静岡西

相良 2-0 静岡商

藤枝南 2-0 川根

藤枝西 2-0 金谷

島田 2-0 静岡東

常葉 2-0 焼津中央

9・10位決定戦

静岡東 2-1 静岡商

準々決勝

静岡市商 2-0 静岡精華

静岡女商 2-0 相良

藤枝南 2-0 藤枝西
常葉 2-0 島田

7.8位決定戦

島田 2-0 相良

5.6位決定戦

静岡精華 2-0 島田

準決勝

静岡市商 2-0 静岡女商

藤枝南 2-0 常葉

3.4位決定戦

静岡女商 2-0 常葉

決勝

静岡市商 2-0 藤枝南

<西部地区>

1回戦

浜松南 2-0 浜松西

森 2-0 オイスカ

誠心 2-0 周智

浜松湖南 2-0 新居

二俣 2-0 磐田東

浜松東 2-0 海の星

三ヶ日 2-1 浜松商

聖隷学園 2-0 小笠農

掛川東 2-0 浜松南

池新田 2-0 浜名

浜松江之島 2-0 信愛学園

袋井商 2-0 森

佐久間 2-0 誠心

気賀 2-0 浜松北

湖西 2-0 横須賀

浜松湖南 2-1 浜松日体

浜北西 2-0 二俣

浜松湖東 2-0 引佐

磐田北 2-1 磐田南

浜松東 2-0 常葉菊川

三ヶ日 2-0 袋井

掛川西 2-0 磐田商

西遠女子 2-0 浜松女商

浜松市立 2-0 聖隷学園

3回戦

掛川東 2-0 池新田

袋井商 2-1 浜松江之島

気賀 2-1 佐久間

湖西 2-1 浜松湖南

浜松北 2-0 浜松湖東

浜松東 2-0 磐田北

三ヶ日 2-0 掛川西

浜松市立 2-0 西遠女子

9.10位決定戦

西遠女子 2-0 浜松湖南

準々決勝

掛川東 2-0 袋井商

湖西 2-0 気賀

浜北西 2-0 浜松東

浜松市立 2-0 三ヶ日

7.8位決定戦

気賀 2-1 三ヶ日

5.6位決定戦

浜松東 2-0 袋井商業

準決勝

掛川東 2-0 湖西

浜松市立 2-0 浜北西

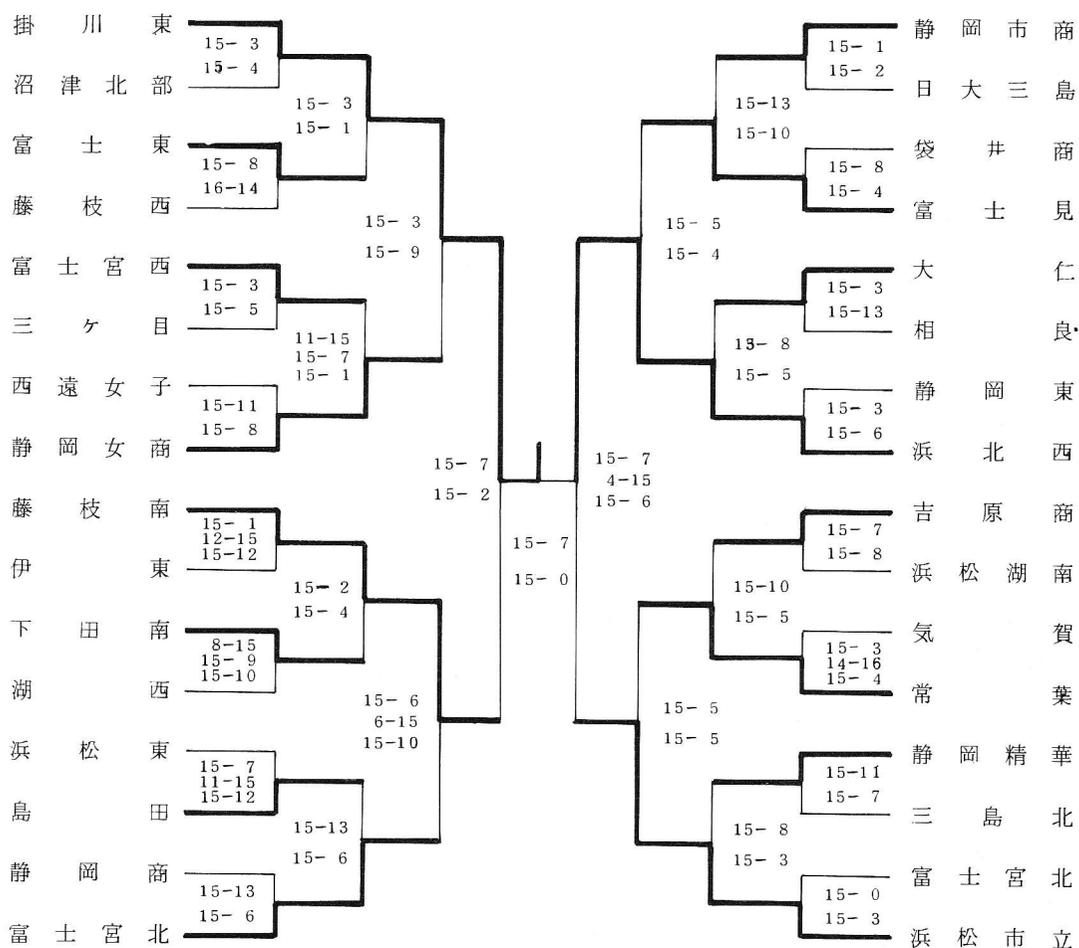
3.5位決定戦

浜北西 2-0 湖西

決勝

掛川東 2-0 浜松市立

県 大 会 61.2.11.19



全国高等学校バレーボール 選抜男女優勝大会に出場して

〈男子〉 掛川工業高等学校

監督 橋本 泰幸

1回戦

掛川工 2 $\left\{ \begin{array}{l} 15-13 \\ 15-13 \end{array} \right\}$ 0 弘前工(青森)

相手のミスも絡み幸先よく5-0とリードしたが、ブロック、サーブポイントですぐ追いつかれた。タイムアウト後、機動力を生かした攻撃がさえ13-6となったが相手もジリジリと加点し13-13となった。

ここで出場したピンチサーバーがあたり15-13でとった。2セット目は、レシーブで粘りソーゲームとなり後半の勝負となった。11-13から相手のミスにつけ込み逆転し、15-13でとった。

2回戦

掛川工 1 $\left\{ \begin{array}{l} 6-15 \\ 15-7 \\ 4-15 \end{array} \right\}$ 2 東播工(兵庫)

荒川スポーツセンターから代々木に会場を移した。1セット目、会場の広さ、天井の高さになれず、雰囲気にもあがり調子がでないままに6-15であっけなくおとした。

2セット目に入りやっとおちつきをとりもどし、7-7から連続得点で15-7でとった。

3セット目、第2セットの勢いでリズムに乗れるかと思ったが最初にサインミスでリズムをくずすと、1-8まで走られた。

チェンジコートしてからも立ち直おらず、4-15で失なった。

〈女子〉 掛川東高等学校

監督 西郷 功

1回戦

兵庫県氷上高校 2 $\left\{ \begin{array}{l} 15-11 \\ 15-5 \end{array} \right\}$ 0 掛川東
(ベスト四位)

強豪氷上高(連続出場五回)平均身長 175 cm

掛川東(初出場) " 170 cm

掛川東は一年生田宮、山田をセンター松村のコンビベレー中心に打倒氷上へ意欲十分「一発逆転」を合言葉に部員一同燃えていたのですがあの大きな体育館、大観衆に最初はのまれ一セット前半より7-0が一セット中盤より盛上り山田、田宮の決定打が多くなるが痛い所でサーブのダブリがあり、痛い負け方をしてしまった。

一年中心(四名)の若いチームの為18回大会には高さに負けない強力な攻撃バレーを練習して今回の敗戦を薬りに頑張りたい。



昭和31年 高校女子(藤枝西高)東海大会も外のコートでブルマーであった。



「中学校部の反省と所感」

中学校部長 杉 村 富 治

県下中学校総数 288 校、男女バレーチームの総数 479、他種目を断然圧倒するチーム数ですが、最近一部の小学校選手が男子は野球、女子はバスケットなどを希望する傾向にあると聞きましたが、小中学校と一貫した指導体制の中でバレーボールの魅力を一層高めるように努力し優秀選手の入部、競技人口の増加を図りたいと考えております。

本年は昭和 62 年度全国中学校大会静岡県開催が決定、その一年次計画とし、全国大会を目標に、全国上位で活躍できる強力チームづくりと、指導者の資質を高める研修会開催との二つを課題としてとりくんでみました。

本年度の中学チームの活動状況については、従来の西高東低と言われた状況から、女子チームでは、中部勢、高洲、榛原、大井川、東部勢富士宮二、三島北、大淵など、中東部の台頭が目立ち乱戦模様となり、その中でも高州の県選手権、県総体の制覇、富士宮二の県スポーツ祭初優勝が特筆されます。

男子は相変わらず西部勢の優位が続き、浜北北部、曳島、江南、庄内の活躍が光り、それを中部の金谷、東部の函南が追いかけているようです。

特に浜松は江南が試合巧者ぶりを発揮し、東海大会を勝抜き全国大会へ出場、滋賀の長浜東を破り、神奈川の生田に惜敗したものの県勢としては本年度最高の成績を収めました。

県内、東海、全国大会を振り返ってみて中学校指導者に幾つかのことを訴え、お願いをしたいと思っております。

その一つは、静岡県チームが全国レベルに飛躍するために、科学的、合理的練習法の研究、フォーメーションの研究、チーム独特の戦法の開発研究、ゲームの流れと監督の採配などと、監督自身の一層の研修を深めること。また、小学校指導者とのより強い連携の中で有望選手の確保とその育成、ひとりひとりの選手に目的意識を持たせての精神力の強化、次に現在中学校現場で抱えている学習と部活動の両立、練習時間の確保、学校、家庭の協力体制づくりなど数多くの問題の一つ一つ着実に解決するように努力をお願いしたいと思います。

県下一の努力(練習)をすることが県優勝の近道であり、日本一の努力をすることが全国制覇への道でもあります。指導者は、教育者とし、勝負師(監督)とし、両者の資質を兼備し、常に選手と共に唯一筋にバレーボールに精進しなければならないと思っております。

本年度は強化対策の一環とし、地区推薦の指定チーム練習会、指導者研修会、一年生練習会などを皆様の御協力で開催できました。

来年も引続いて実施をする予定です。

これらの練習会、研修会の成果が着実に一步一步、中学部の発展につながるものと信じております。関係者の皆様にお礼申し上げます。

昭和60年度 静岡県中学校6人制バレーボール 選手権大会

各地区大会

60.4.28・29

〔男子〕

<東 部 地 区>

1回戦

沼津三	2-1	御殿場南
南伊豆東	2-0	北 上
長泉北	2-0	多 賀
沼津四	2-1	宇佐美
熱 海	2-0	原
熱 川	2-1	富士宮四
御 殿 場	2-1	中 郷 西
松 崎	2-0	小 山
稲 取	2-0	原 里
韭 山	2-0	河 津
三島北	2-0	小 嵐
南伊豆	2-0	長 泉
下 田	2-0	富 岡
天 城	2-1	裾野西
今 沢	2-0	戸 田
中伊豆	2-0	沼津一
修善寺	2-0	静 浦
三島南	2-0	大 岡
清 水	2-0	金 岡
愛 鷹	2-1	函南東
吉原二	2-0	網 代
錦 田	2-0	長井崎

2回戦

伊東北	2-0	沼津三
南伊豆東	2-0	長泉北
沼津四	2-1	熱 海
熱 川	2-0	下田東
大 平	2-0	御 殿 場

稲 取	2-0	韭 山
岳 南	2-0	三島北
函 南	2-0	南伊豆
下 田	2-0	天 城
大 淵	2-0	今 沢
賀 茂	2-0	中伊豆
田 子	2-1	修善寺
三島南	2-1	清 水
吉原二	2-0	愛 鷹
伊東南	2-0	綿 田

3回戦

南伊豆東	2-0	伊東北
熱 川	2-1	沼津四
大 平	2-0	松 崎
稲 取	2-0	岳 陽
函 南	2-1	下 田
賀 茂	2-0	大 淵
田 子	2-0	三島南
伊東南	2-1	吉原二

準々決勝

南伊豆東	2-0	熱 川
大 平	2-1	稲 取
賀 茂	2-1	函 南
田 子	2-1	伊東南

準決勝

大 平	2-0	南伊豆東
田 子	2-1	賀 茂

決勝

大 平	2-1	田 子
-----	-----	-----

<中 部 地 区>

60.6.2・9

1回戦

西 奈	2-1	東益津
葉 梨	2-1	城 山
和 田	2-1	籠 上
静岡豊田	2-0	富士川一
賤 機	2-0	青 島
南	2-0	榛 原
藁 科	2-0	焼津豊田
美 和	2-0	藤 枝
蒲 原	2-1	小 川
島田一	2-1	安 東
焼 津	2-0	末 広
東豊田	2-0	吉 田
島田二	2-1	高 洲
大井川	2-0	大 里
長田西	2-0	相 良
附属静岡	2-0	岡 部

2回戦

金 谷	2-0	西 奈
安倍川	2-0	葉 梨
飯 田	2-0	和 田
服 織	2-1	静岡豊田
賤 機	2-0	清 水 二
大 富	2-0	南
藁 科	2-1	東
六 合	2-0	美 和
玉 川	2-0	蒲 原
清水五	2-1	島田一
広 幡	2-0	焼 津
長田南	2-0	東豊田
観 山	2-0	島田二
城 内	2-0	大井川
興 津	2-1	長田西
富士川二	2-0	附属静岡

3回戦

金谷 2-0 暗倍川
 飯田 2-0 服機
 大富 2-0 清水二
 六合 2-0 藁科
 玉川 2-0 清水五
 長田南 2-0 広幡
 観山 2-1 城内
 富士川二 2-0 興津

準々決勝

金谷 2-0 飯田
 大富 2-1 六合
 玉川 2-0 長田南
 観山 2-0 富士川二

準決勝

金谷 2-0 大富
 観山 2-0 玉川

3.4位決定戦

玉川 2-0 大富

決勝

観山 2-1 玉川

<西部地区>

60.5.19・26

南部・神明両チーム棄権

1回戦

東陽 2-0 北浜
 中部 2-0 引佐南部
 菊川西 2-0 三方原
 与進 2-0 鹿玉
 曳馬 2-0 掛川東
 雄踏 2-0 新津
 入野 2-0 山香
 浜松北部 2-0 可美
 新居 2-0 丸塚
 蛭塚 2-1 湖西

東部 2-0 舞阪

笠井 2-0 大須賀

白須賀 2-0 西部

開成 2-0 豊田

庄内 2-0 北浜東部

高台 2-0 上阿多古

天竜 2-0 浜名

篠原 2-0 周南

附属 2-0 掛川北

2回戦

江南 2-0 北浜

菊川西 2-1 引佐南部

積志 2-0 与進

曳馬 2-0 福田

三ヶ日 2-0 雄踏

浜松北部 2-0 入野

北星 2-0 新居

袋井 2-0 蛭塚

湖東 2-0 東部

白須賀 2-0 笠井

掛川西 2-0 開成

庄内 2-0 光明

高台 2-0 浜岡

篠原 2-1 天竜

鷺津 2-0 附属

浜北北部 不戦勝

3回戦

江南 2-0 菊川西

積志 2-0 曳馬

浜松北部 2-0 三ヶ日

袋井 2-0 北星

湖東 2-0 白須賀

掛川西 2-0 庄内

高台 2-0 篠原

浜北北部 2-0 鷺津

準々決勝

江南 2-0 積志

袋井 2-0 浜松北部

湖東 2-0 掛川西

浜北北部 2-0 高台

7.8位決定戦

高台 2-0 積志

5.6位決定戦

浜松北部 2-0 掛川西

準決勝

江南 2-0 袋井

浜北北部 2-0 湖東

3.4位決定戦

湖東 2-0 袋井

決勝

浜北北部 2-0 江南

[女子]

<東部地区>

60.4.28・29

1回戦

今沢 2-0 北上

富士宮西 2-0 南伊豆

長泉 2-0 河津

伊東北 2-0 吉原三

三島北 2-0 富岡

熱海 2-0 沼津四

網代 2-0 原里

大岡 2-0 裾野東

清水南 2-0 下田

富士宮二 2-0 静浦

下田東 2-0 河津二

鷹岡 2-0 函南

吉原東 2-0 葦山

中伊豆 2-0 浮島

戸田 2-0 熱川

大平 2-0 中郷西
 大仁 2-0 御殿場南
 北郷 2-0 宇佐美
 長井崎 2-0 吉原二
 函南東 2-0 小山
 多賀 2-0 愛鷹
 御殿場 2-0 対島
 原 2-0 修善寺
 岳陽 2-0 稲取
 錦田 2-0 土肥
 天城 2-0 三島南
 柚野 2-0 伊東南
 長泉北 2-0 御殿場西
 清水 2-0 松崎
 中郷 2-1 金岡
 裾野西 2-0 小嵐
 大淵 2-0 賀茂
 2回戦
 今沢 2-0 富士宮西
 伊東北 2-0 長泉
 三島北 2-0 熱海
 大岡 2-0 網代
 富士宮二 2-0 清水南
 下田東 2-1 鷹岡
 吉原東 2-0 中伊豆
 大平 2-0 戸田
 大仁 2-0 北郷
 函南東 2-0 長井崎
 御殿場 2-0 多賀
 岳陽 2-0 原
 天城 2-0 錦田
 長泉北 2-0 柚野
 清水 2-0 中郷
 大淵 2-0 裾野西
 3回戦
 今沢 2-1 伊東北

三島北 2-1 大岡
 富士宮二 2-0 下田東
 大平 2-0 吉原東
 大仁 2-0 函南東
 岳陽 2-1 対島
 天城 2-0 長泉北
 大淵 2-0 清水
 準々決勝
 三島北 2-1 今沢
 富士宮二 2-1 大平
 大仁 2-0 岳陽
 大淵 2-0 天城
 準決勝
 三島北 2-0 富士宮二
 大淵 2-0 大仁
 決勝
 大淵 2-1 三島北
 <中部地区>
 60.6. 2・9
 1回戦
 富士川 2-0 服織
 西奈 2-1 小川
 牧之原 2-0 藁科
 東豊田 2-1 清水一
 川根 2-0 末広
 青島北 2-0 島田北
 焼津 2-0 城山
 大洲 2-0 静岡豊田
 六合 2-0 井川
 焼津豊田 2-0 蒲原
 和田 2-0 賤機
 岡部 2-1 安倍川
 金谷 2-0 清水七
 大里 2-0 興津
 大村 2-0 笹間

広幡 2-1 長田西
 吉田 2-0 美和
 東益津 2-0 由比
 島田一 2-0 城内
 南 2-0 富士川
 藤枝 2-1 本川根
 島田二 2-0 東海一
 大富 2-0 観山
 清水二 2-0 東
 籠上 2-0 葉梨
 港 2-0 附属静岡
 2回戦
 高洲 2-0 富士川
 牧之原 2-0 西奈
 川根 2-0 東豊田
 青島北 2-1 焼津
 相良 2-0 大洲
 焼津豊田 2-0 六合
 岡部 2-0 和田
 長田南 2-0 金谷
 大井川 2-0 大里
 大村 2-0 広幡
 東益津 2-1 吉田
 青島 2-0 島田一
 南 2-0 藤枝
 大富 2-0 島田二
 籠上 2-1 清水二
 榛原 2-0 港
 3回戦
 高洲 2-0 牧之原
 青島北 2-0 川根
 焼津豊田 2-0 相良
 長田南 2-1 岡部
 大井川 2-0 大村
 青島 2-0 東益津
 大富 2-0 南

榛原 2-0 籠上
 準々決勝
 高洲 2-0 青島北
 焼津豊田 2-1 長田南
 大井川 2-0 青島
 榛原 2-0 島田二
 準決勝
 高洲 2-0 焼津豊田
 榛原 2-0 大井川
 決勝
 高洲 2-0 榛原

<西部地区>

60.5. 19・26

1回戦

笠井 2-0 気賀
 新津 2-0 菊川西

2回戦

引佐北部 2-0 袋井
 浜松南部 2-0 大須賀
 浜名 2-0 東陽
 細江 2-0 浜松西部
 江西 2-0 浦川
 雄踏 2-0 浜松東部
 栄川 2-0 積志
 与進 2-0 舞阪
 掛川西 2-0 丸塚
 高台 2-0 浅羽
 笠井 2-0 白須賀
 天竜 2-0 上阿多古
 浜岡 2-0 浜松中部
 浜北北部 2-0 光明
 篠原 2-0 竜山
 開成 2-0 相ヶ丘
 岳洋 2-0 入野
 森 2-1 湖西

附属 2-1 引佐南部
 鹿玉 2-0 中郡
 春野南 2-0 神久呂
 北星 2-0 可美
 福田 2-1 西遠
 北浜 2-0 江南
 掛川東 2-0 三方原
 鷺津 2-0 浜松北部
 二俣 2-0 新津
 新居 2-0 南陽
 曳馬 2-0 豊田
 北浜東部 2-0 湖東
 桜ヶ丘 2-0 八幡
 三ヶ日 2-0 蜷塚

3回戦

雄踏 2-0 栄川
 掛川西 2-1 与進
 高台 2-0 引佐北部
 浜名 2-0 浜松南部
 細江 2-0 江西
 天竜 2-1 笠井
 浜岡 2-0 浜北北部
 開成 2-0 篠原
 岳洋 2-0 森
 鹿玉 2-0 附属
 北星 2-0 春野南
 北浜 2-0 福田
 掛川東 2-1 鷺津
 新居 2-0 二俣
 北浜東部 2-1 曳馬
 三ヶ日 2-0 桜ヶ丘

4回戦

雄踏 2-0 掛川西
 浜名 2-0 高台
 細江 2-0 天竜
 開成 2-0 浜岡

岳洋 2-0 鹿玉
 北浜 2-0 北星
 掛川東 2-0 新居
 三ヶ日 2-0 北浜東部
 準々決勝
 雄踏 2-0 浜名
 細江 2-1 開成
 岳洋 2-0 北浜
 三ヶ日 2-0 掛川東
 7・8位決定戦
 浜名 2-0 掛川東
 5・6位決定戦

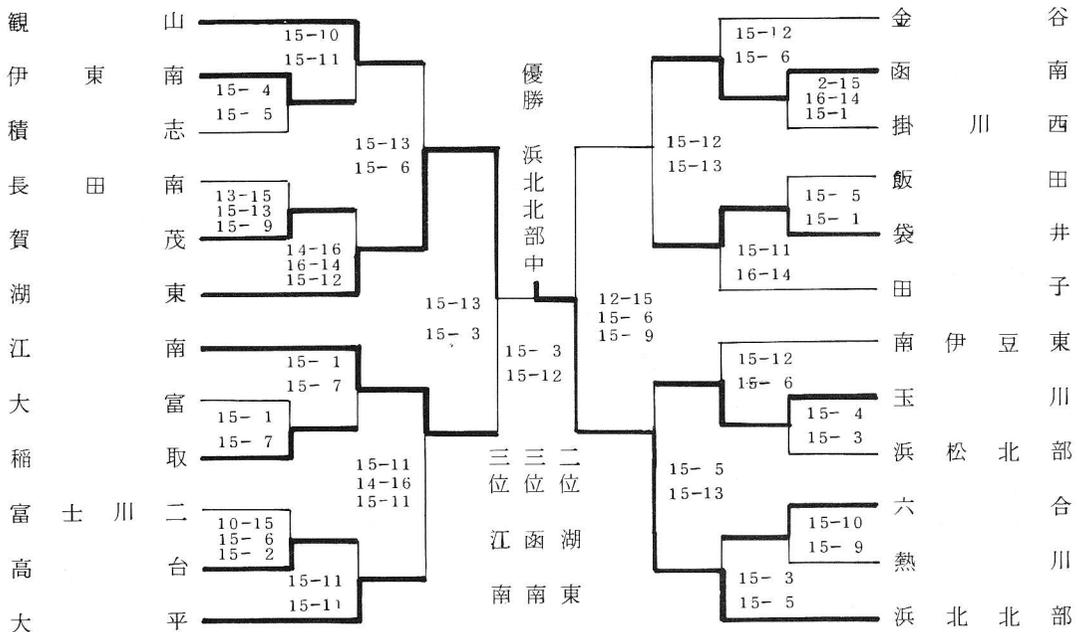
準決勝

雄踏 2-1 細江
 岳洋 2-0 三ヶ日
 3・4位決定戦
 三ヶ日 2-0 細江
 決勝
 雄踏 2-0 岳洋

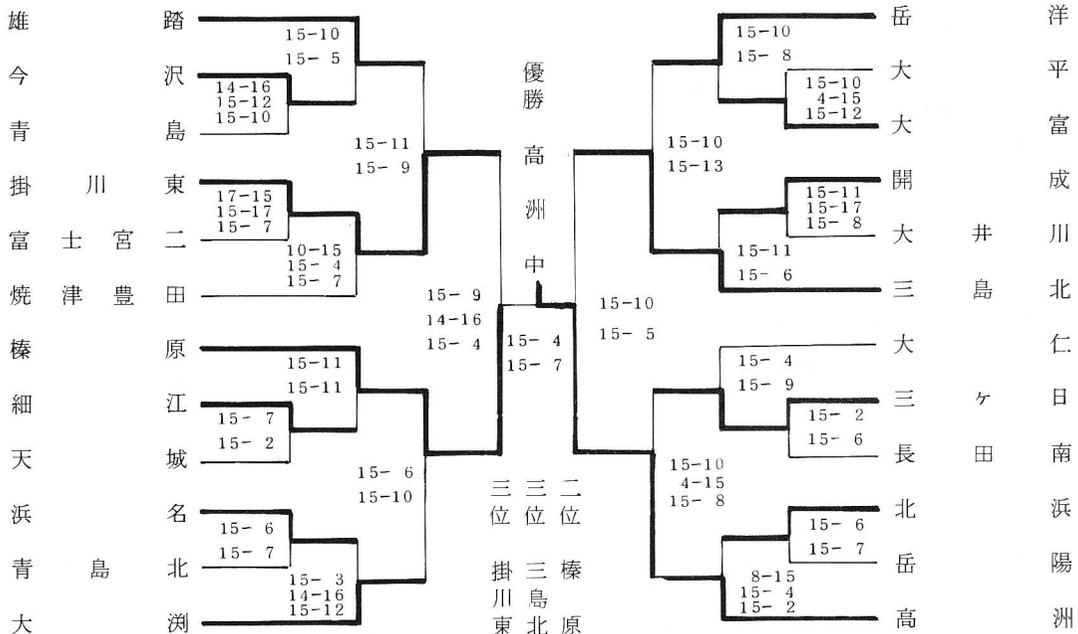
昭和60年度静岡県中学校6人制バレーボール選手権大会

6月23日、30日 三島市民体育館

男子の部



女子の部



静岡県中学校総合体育大会バレーボール大会

<p>各地区大会</p> <p>〔男子〕</p> <p><東部地区></p> <p>1回戦</p> <p>賀茂 2-1 修善寺</p> <p>岳陽 2-0 御殿場</p> <p>伊東北 2-0 静浦</p> <p>三島北 2-0 富士宮西</p> <p>田子 2-0 富士宮四</p> <p>吉原二 2-1 伊東南</p> <p>大平 2-0 裾野東</p> <p>函南 2-0 三島南</p> <p>2回戦</p> <p>伊東北 2-0 三島北</p> <p>吉原二 2-0 田子</p> <p>函南 2-1 大平</p> <p>賀茂 2-0 岳陽</p> <p>5.6位決定戦</p> <p>三島北 2-1 岳陽</p> <p>大平 2-0 田子</p> <p>大平 2-1 三島北</p> <p>準決勝</p> <p>伊東北 2-0 賀茂</p> <p>函南 2-1 吉原二</p> <p>決勝</p> <p>伊東北 2-0 函南</p> <p><中部地区></p> <p>1回戦</p> <p>金谷 2-0 服織</p> <p>清水五 2-0 大井川</p> <p>長田南 2-1 大富</p>	<p>観山 2-1 清水二</p> <p>富士川二 2-0 焼津</p> <p>玉川 2-0 吉田</p> <p>六合 2-0 城内</p> <p>広幡 2-0 飯田</p> <p>2回戦</p> <p>金谷 2-0 清水五</p> <p>観山 2-1 長田南</p> <p>玉川 2-1 富士川二</p> <p>六合 2-0 飯田</p> <p>5.6位決定戦</p> <p>長田南 2-0 清水五</p> <p>富士川二 2-0 広幡</p> <p>長田南 2-0 富士川二</p> <p>準決勝</p> <p>観山 2-1 金谷</p> <p>玉川 2-0 六合</p> <p>決勝</p> <p>玉川 2-0 観山</p> <p><西部地区></p> <p>1回戦</p> <p>新居 2-0 磐田一</p> <p>福田 2-0 掛川北</p> <p>白須賀 2-0 庄内</p> <p>水窪 2-0 大浜</p> <p>湖東 2-0 細江</p> <p>北星 2-0 可美</p> <p>開成 2-1 雄踏</p> <p>掛川西 2-0 浜名</p> <p>浜松北部 2-0 城山</p> <p>三ヶ日 2-0 光明</p>	<p>積志 2-0 浜岡</p> <p>篠原 2-0 掛川東</p> <p>2回戦</p> <p>江南 2-1 新居</p> <p>白須賀 2-0 福田</p> <p>湖東 2-0 水窪</p> <p>北星 2-0 菊川西</p> <p>袋井 2-0 開成</p> <p>掛川西 2-1 浜松北部</p> <p>積志 2-0 三ヶ日</p> <p>浜北北部 2-0 浜松</p> <p>3回戦</p> <p>江南 2-0 白須賀</p> <p>湖東 2-0 北星</p> <p>袋井 2-0 掛川西</p> <p>浜北北部 2-0 積志</p> <p>5.6位決定戦</p> <p>北星 2-0 白須賀</p> <p>掛川西 2-0 積志</p> <p>北星 2-1 掛川西</p> <p>準決勝</p> <p>江南 2-0 湖東</p> <p>浜北北部 2-0 袋井</p> <p>3位決定戦</p> <p>袋井 2-0 湖東</p> <p>決勝</p> <p>江南 2-0 浜北北部</p>
--	---	---

各地区大会

〔女子〕

<東部地区>

1回戦

北 上 2-1 伊 東 北
大 仁 2-0 裾 野 東
大 渕 2-0 南 上
今 沢 2-0 富 士 宮 四
富 士 宮 二 2-0 対 島
吉 原 東 2-0 長 泉 北
函 南 東 2-0 賀 茂
三 島 北 2-1 大 平

2回戦

大 仁 2-0 北 上
大 渕 2-0 今 沢
富 士 宮 二 2-0 吉 原 東
三 島 北 2-0 函 南 東

5.6位決定戦

今 沢 2-0 北 上
函 南 東 2-1 吉 原 東
今 沢 2-0 函 南 東

準決勝

大 仁 2-1 大 渕
富 士 宮 二 2-1 三 島 北

決勝

富 士 宮 二 2-1 大 仁

<中部地区>

1回戦

榛 原 2-0 興 津
籠 上 2-1 青 島 北
大 井 川 2-0 清 水 二
静 岡 南 2-0 富 士 川 二
長 田 南 2-0 焼 津

青 島 2-0 清 水 一
吉 田 2-0 東 豊 田
高 洲 2-0 大 里

2回戦

榛 原 2-0 籠 上
大 井 川 2-0 静 岡 南
長 田 南 2-1 青 島
高 洲 2-1 吉 田

5.6位決定戦

静 岡 南 2-0 籠 上
吉 田 2-1 青 島
吉 田 2-0 静 岡 南

準決勝

榛 原 2-0 大 井 川
高 洲 2-0 長 田 南

決勝

高 洲 2-0 榛 原

<西部地区>

1回戦

雄 踏 2-0 桜 が 丘
袋 井 2-1 高 台
引 佐 北 部 2-1 笠 井
浜 岡 2-0 旭 が 丘
麗 玉 2-1 春 日 野
細 江 2-0 北 星
掛 川 東 2-0 北 浜 東 部
開 成 2-0 竜 山
三 ヶ 日 2-0 西 遠
大 須 賀 2-1 光 明
浜 名 2-0 二 俣
天 竜 2-0 栄 川
北 浜 2-0 湖 東
掛 川 西 2-0 浅 羽

新 居 2-0 曳 馬
岳 洋 2-0 下 阿 多 古

2回戦

雄 踏 2-0 袋 井
浜 岡 2-1 引 佐 北 部
細 江 2-0 麗 玉
開 成 2-0 掛 川 東
三 ヶ 日 2-0 光 明
浜 名 2-0 天 竜

3回戦

北 浜 2-0 掛 川 西
岳 洋 2-0 新 居

3回戦

雄 踏 2-0 浜 岡
細 江 2-1 開 成
三 ヶ 日 2-0 浜 名
岳 洋 2-0 北 浜

5.6位決定戦

浜 岡 2-0 開 成
北 浜 2-0 浜 名
北 浜 2-1 浜 岡

準決勝

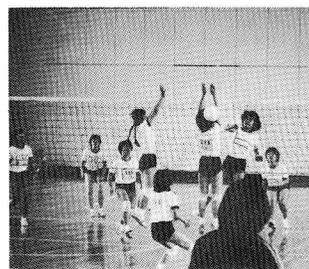
雄 踏 2-1 細 江
三 ヶ 日 2-0 岳 洋

3位決定戦

岳 洋 2-1 細 江

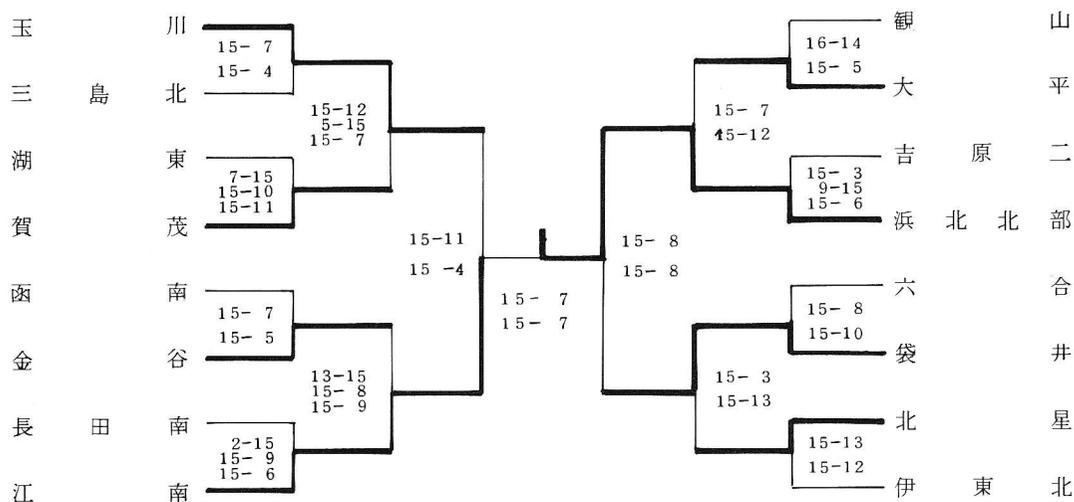
決勝

三 ヶ 日 2-0 雄 踏

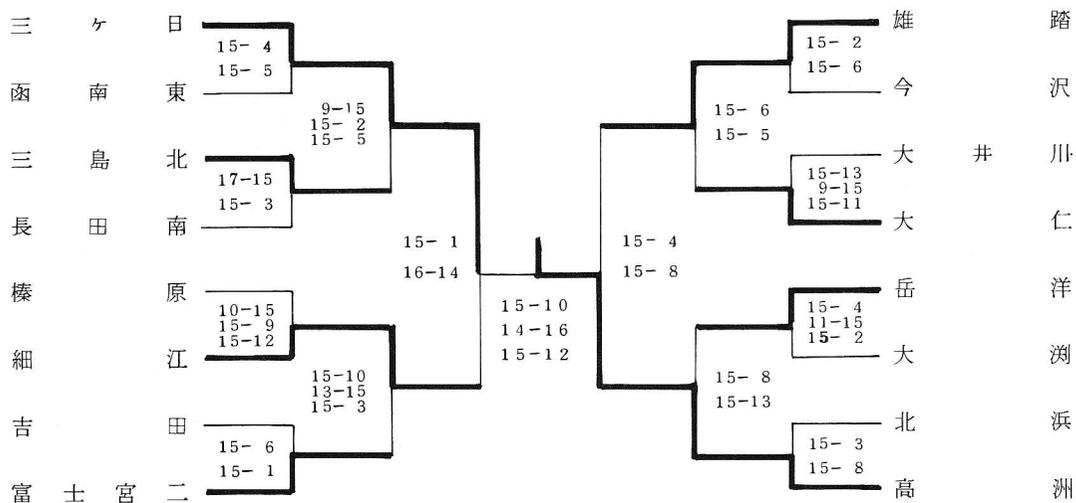


県大会 60.8. 1・2

男子



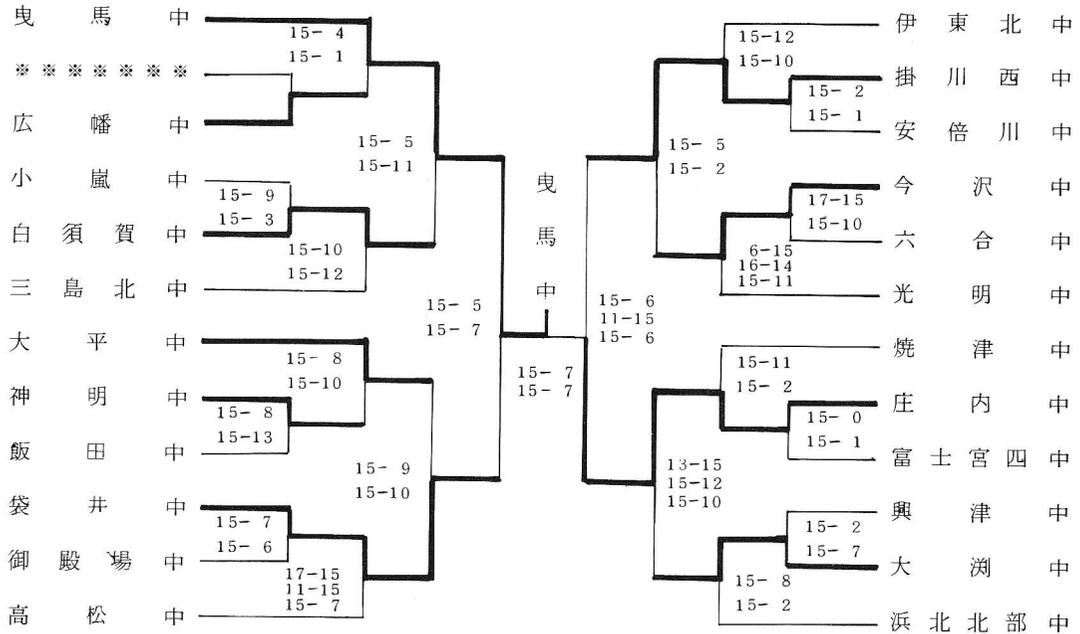
女子



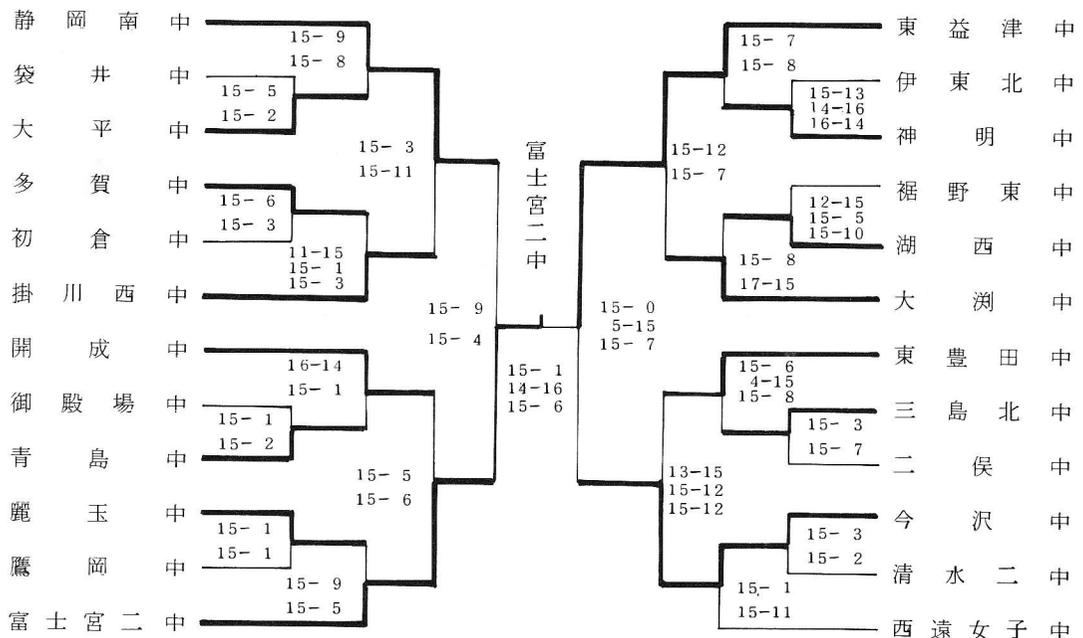
第39回静岡県スポーツ祭バレーボール競技大会 少年Bの部

男子

市 対 抗



女子





清水市の親子バレーボール教室



伊豆天城湯ヶ島町でも熱心な練習

天城湯ヶ島町家庭婦人の大会





静岡県の小学生バレー

小学生部長 藪野智士

登録団体 80。チーム数 172。チビっ子バレーボーラー 3,193 名。指導者 455 名 中審判員 293 名。常任理事 19 名。理事 14 名。各事業部・地区委員延 124 名。の陣容で展開する静岡県小学生バレーは、60 年度も着実に増加の一途をたどり、300 名の出席する総会まで、大過なくその事業を終了出来ました。

県協の各事業委員会、各専門部、各地区協会の温かいお力添えのあった事を一人身に感じ、全国大会のテーマである「ありがとう」の言葉を申し上げたいと思います。

ライオン大会、スポーツ祭、選抜大会、木部杯大会の 4 大タイトルの競技会の定着。指導者講習会、バレーボール教室、強化合宿の指導普及事業の定着。審判講習会の審判員養成活動の定着と充実発展してゆく中で、今日も体育館では、汗を流し黄色い声をはり上げるチビっ子の姿を見るのは、本当に嬉しい事です。

中でも本年度昭和 60 年 3 月の静岡県小学生バレーボール大会には、木部佳昭会長から真紅紫紺のすばらしい優勝旗の寄贈を受け、重い旗によるめき乍らも、嬉しさ一杯の笑顔を見せた優勝チームの姿は特に印象深いものでした。

然し乍ら「芸の道は深い」と申します。小学生バレーの奥深さを身にしみた年でもありました。

普及すればする程、増えれば増える程、その組織運営について複雑多彩な事務処理を要求されます。「大きな仕事を小さく分けて、みんなでやればきっと大きな仕事出来る」この合言葉も、やゝもすれば、その複雑多彩な物量にのみ込まれそうな状態です。

「お客さん意識」をのり越えて、自分達の小学生バレーは、自分達の手で運営してゆく自分のもの意識をもっともっと発揮してゆきたいものだと思います。

「つめる」「つなぐ」「つとめる」の三つ“つ”運動を展開してこのピンチをのり越えたいものです。

普及率 29% 全国順位 28 位(県下小学校数 545 校としての対比)とまだまだの普及率。中でも男子チームの普及の困難さに手をやいている現況の中で、絶対数不足の指導者の確保養成。悩みつきない課題です。

又発育段階の児童期にあってのオーバートレーニングの問題。「いじめ」問題に見られる協調性、自主性の育成への課題。

小学生バレーの指導者は、単にバレーの技術専門屋であってはならない事への認識を深め、児童の教育、心と身体とバレーの多面的な指導者でなくてはならない責任を学ぶべき時期に来ていると云えましょう。

技術指導者、育成指導者ともに、ボランティア、奉仕としての活動だけに、本当に大変な事です。それでも、バレーが好きで、子供が好きな多くの指導者の熱意によって支えられている小学生バレー。悩み乍らも、模索し乍らも着実に一步一步「子供たちのため」のバレーボールに向けて前進している事は確かです。

60 年が終わって、61 年に向う小学生バレーのますますの困難さへ敢えて挑戦する各位の熱意に心から「ありがとう」と敬意を表します。

ライオンカップ第5回全日本バレーボール小学生大会

各地区予選

〔男子〕

＜東 部 地 区＞ 60.6.2 大湊第一小

A	大湊A	富士宮	大仁B	順 位
大湊A	—	2-0	2-0	1
富士宮	0-2	—	2-0	2
大仁B	0-2	0-2	—	3

B	金 岡	沼 三	大平A	順 位
金 岡	—	0-2	0-2	3
沼 三	2-0	—	0-2	2
大平A	2-0	2-0	—	1

C	大湊B	大平B	大仁B	順 位
大湊B	—	1-2	2-0	2
大平B	2-1	—	2-1	1
大仁B	0-2	1-2	—	3

D	今 沢	大平C	北 郷	順 位
今 沢	—	2-0	2-0	1
大平C	0-2	—	2-0	2
北 郷	0-2	0-2	—	3

1. 2位決定戦

大 湊 A 2-0 大 平 A

3. 4位決定戦

沼 三 2-1 富 士 宮

＜中 部 地 区＞ 60.6.2 広 幡 小

A	港	広 幡	青 島 東	順 位
港	—	2-0	2-0	1
広 幡	0-2	—	0-2	3
青 島 東	0-2	2-0	—	2

B	岡 部	焼 津 西	焼 津 東	焼 津 南	順 位
岡 部	—	2-0	2-0	2-0	1
焼 津 西	0-2	—	1-2	2-0	3
焼 津 東	0-2	2-1	—	2-1	2
焼 津 南	0-2	0-2	1-2	—	4

＜西 部 地 区＞ 60.6.2 掛川中央小

A	桔梗ヶ丘	竜 洋 西	桜 木	掛川中央	三ヶ日	順 位
桔梗ヶ丘	—	2-0	2-0	1-2	2-0	1
竜 洋 西	0-2	—	0-2	0-2	2-0	4
桜 木	0-2	2-0	—	2-0	2-0	2
掛川中央	2-1	2-0	0-2	—	2-0	3
三ヶ日	0-2	0-2	0-2	0-2	—	5

B	桜 木	三ヶ日	桔梗ヶ丘	順 位
桜 木	—	2-0	2-0	1
三ヶ日	0-2	—	0-2	3
桔梗ヶ丘	0-2	2-0	—	2

[女子]

各地区予選

<東部地区> 60.6.2 今泉小、丘小

第1回戦

準々決勝

準決勝

清穆 A 2-0 大仁 C	清穆 A 2-0 坂 A	清穆 A 2-0 北上 A
坂 A 2-0 今沢 B	北上 A 2-1 金岡 A	大洲 A 2-0 今沢 A
金岡 A 2-0 富士宮	今沢 A 2-0 丘 A	決勝
北上 A 2-1 大平 A	大洲 A 2-0 大仁 A	大洲 A 2-0 清穆 A
今沢 A 2-0 大仁 B		
丘 A 2-1 北上 B		
大仁 A 2-0 沼三 A		
大洲 A 2-0 北郷 A		

<中部地区> 6.9 吉田町体育館

1		川崎	焼津東	大井川東	豊田	順位
1	川崎		2-0	1-2	2-0	1
4	焼津東	0-2		0-2	0-2	4
位	大井川東	2-1	2-0		1-2	2
	豊田	0-2	2-0	2-1		3

5		笹間	高洲	東益津	細江	順位
5	笹間		0-2	2-1	0-2	7
8	高洲	2-0		2-0	2-0	5
位	東益津	1-2	0-2		1-2	8
	細江	2-0	0-2	2-1		6

9		和田	坂部	大洲	住吉	順位
9	和田		1-2	0-2	2-0	11
12	坂部	2-1		1-2	0-2	12
位	大洲	2-0	2-1		0-2	10
	住吉	0-2	2-0	2-0		9

<西部地区> 60.6.9 小笠町総合体育館

第1回戦

準々決勝

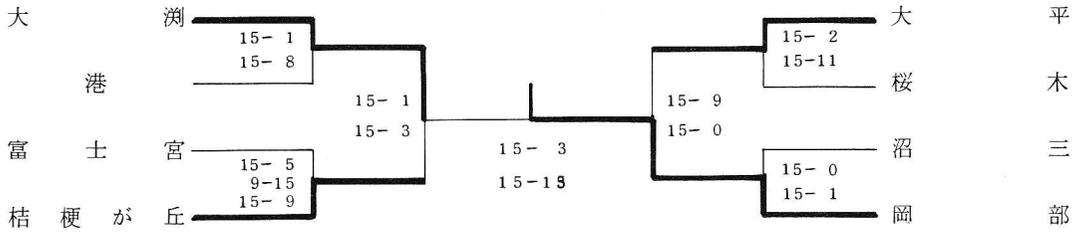
準決勝

小笠東 2-0 掛川原田	小笠東 2-0 豊西	小笠東 2-0 小笠南
豊西 2-1 掛川城北	小笠南 2-1 黒潮東	浜北 A 2-0 小笠北
黒潮東 2-1 掛川桜木	小笠北 2-0 掛川中央	決勝
小笠南 2-0 竜洋西	浜北 A 2-0 掛川西郷	小笠東 2-0 浜北 A
小笠北 2-0 浜北 B		
掛川中央 2-1 浜北 C		
掛川西郷 2-0 小笠東 B		
浜北 A 2-0 掛川桜木		

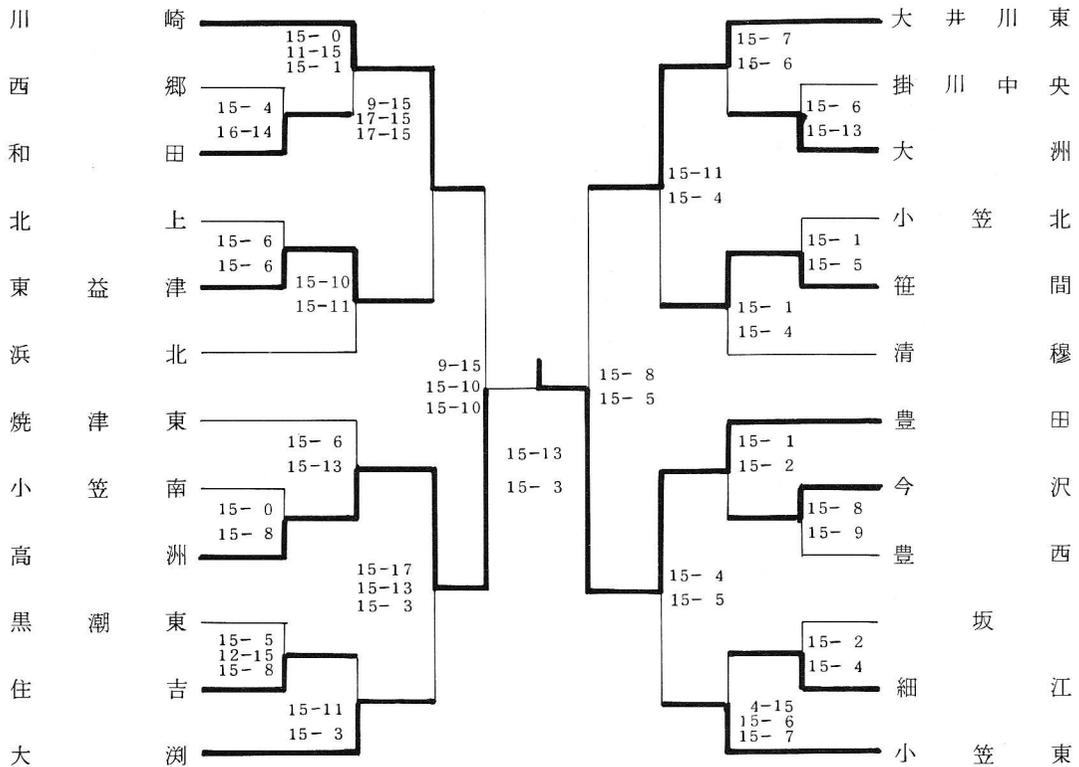
県 大 会

第1日目 6月30日
 第2日目 7月 7日
 会 場 吉田町総合体育館

男子の部



女子の部

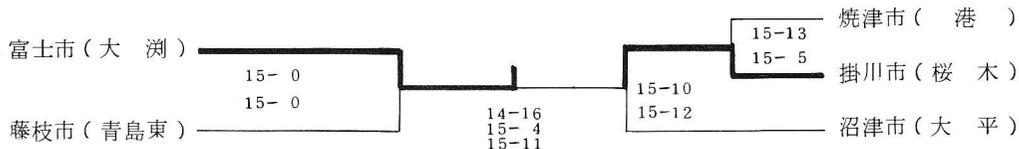


第39回静岡県スポーツ祭バレーボール競技大会

60.10.27

少年Cの部

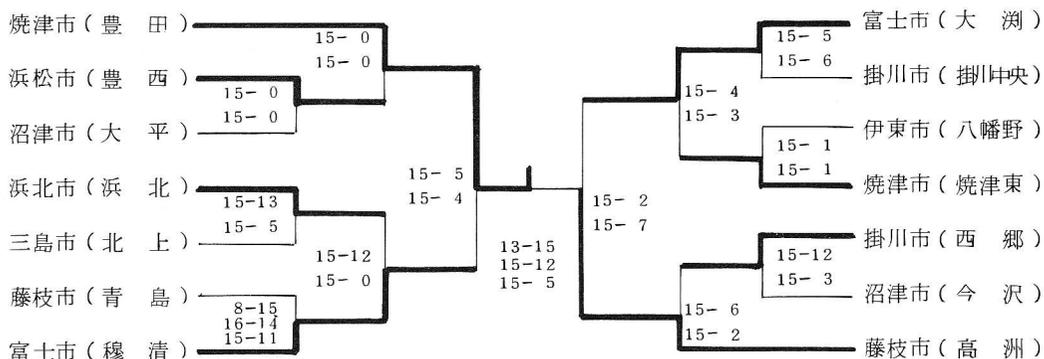
1. 市対抗男子 沼津市原小体育館



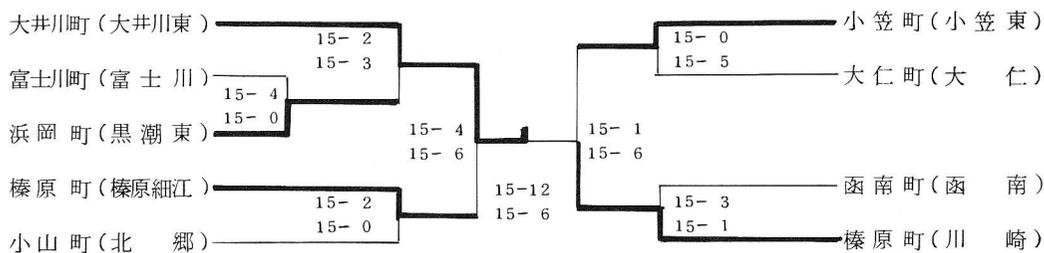
2. 町村対抗男子 (沼津市原小体育館)

	岡部町	小山町	大仁町	順位
岡部町(岡部)		2(¹⁵⁻⁰ ₁₅₋₀)0	2(¹⁵⁻⁴ ₁₅₋₀)0	1
小山町(北郷)	0(⁰⁻¹⁵ ₀₋₁₅)2		0(¹³⁻¹⁵ ₅₋₁₅)2	3
大仁町(大仁)	0(⁴⁻¹⁵ ₀₋₁₅)2	2(¹⁵⁻¹³ ₁₅₋₅)0		2

3. 市対抗女子 沼津市原小体育館



4. 町村対抗女子 (沼津市静浦東小体育館)



昭和60年度静岡県小学生バレーボール選抜優勝大会

各地区予選

[男子]

<東部地区> 60.11.17 長泉南小

A	大湍A	沼三	富士宮	順位
大湍A		2-0	2-0	1
沼三	0-2		0-2	3
富士宮	0-2	2-0		2

B	大平A	金岡	大仁	順位
大平A		2-0	2-0	1
金岡	0-2		2-1	2
大仁	0-2	1-2		3

1.2位決定戦 大湍A 2-0 大平A

<中部地区> 60.11.10 青島小

A	岡部	青島東	焼津西	順位
岡部		2-0	2-0	1
青島東	0-2		0-2	3
焼津西	0-2	2-0		2

B	港	焼津東	焼津南	順位
港		2-0	2-0	1
焼津東	0-2		2-0	2
焼津南	0-2	0-2		3

1.2位決定戦 岡部 2-0 港

<西部地区> 61.11.10 掛川中央小

A	掛川中央	桜木	桔梗ヶ丘	順位
掛川中央		2-0	2-0	1
桜木ジョーンズ	0-2		2-0	2
桔梗ヶ丘5年	0-2	0-2		3

B	桔梗ヶ丘	竜洋西	桜木	順位
桔梗ヶ丘6年		2-0	0-2	2
竜洋西	0-2		0-2	3
桜木イーグルス	2-0	2-0		1

1.2位決定戦 桜木イーグルス 2-1 掛川中央

6年女子

<東部地区> 60.11.17 長泉北中

A	大湍	大平	富士宮	沼三A	順位
大湍		2-0	2-0	2-0	1
大平	0-2		2-0	0-2	3
富士宮	0-2	0-2		0-2	4
沼三A	0-2	2-0	2-0		2

B	穆清	今沢	北上	坂	順位
穆清		2-0	2-0	2-0	1
今沢	0-2		1-2	2-0	3
北上	0-2	2-1		2-1	2
坂	0-2	0-2	1-2		4

1.2位決定戦 大湍 2-0 清穆

<中部地区> 60.11.10 港小、黒石小

Aグループ

1回戦
 東益津 2-0 大井川南 決勝
 坂部 A 2-0 静岡教室 住吉 B 2-0 身成 川崎 2-0 東益津

2回戦 準決勝
 川崎 2-0 坂部 A 川崎 2-0 港 B
 港 B 2-0 広幡 B 東益津 2-0 住吉 B

Bグループ

1回戦
 青島北 2-0 港 A 決勝
 焼津南 2-1 高洲南 焼津西 2-0 小川 豊田 2-0 青島北

2回戦 準決勝
 豊田 2-0 焼津南 豊田 2-0 和田
 和田 2-0 中島 青島北 2-0 焼津西

Cグループ

1回戦
 大洲 2-0 広幡 A 決勝
 岡部 2-0 朝比奈 大井川東 2-0 坂部 B 高洲 2-0 大井川東

2回戦 準決勝
 高洲 2-0 岡部 高洲 2-0 青島東
 青島東 2-1 相良 大井川東 2-0 大洲

Dグループ

1回戦 準決勝 決勝
 笹間 2-0 青島 笹間 2-0 焼津東 細江 2-0 笹間
 焼津東 2-0 黒石 細江 2-0 住吉 A
 住吉 A 2-0 大井川西
 細江 2-0 大富

<西部地区> 60.11.10 広沢小

A	小笠東	掛川	小笠北	三ヶ日	順位
小笠東		2-0	2-0	2-0	1
掛川中央	0-2		2-1	2-0	2
小笠北ホワイト	0-2	1-2		2-0	3
三ヶ日オレンジ	0-2	0-2	0-2		4

1、2位決定戦 小笠東 2-0 小笠南

B	小笠南	浜北	小笠北	西郷	順位
小笠南		2-0	2-0	2-0	1
浜北	0-2		2-0	2-0	2
小笠北レッド	0-2	0-2		0-2	4
西郷	0-2	0-2	2-0		3

3、4位決定戦 浜北 2-0 掛川中央

5 年 女 子

<東 部 地 区> 60.11.17 長 泉 中

A	大 平	丘	今沢A	坂	順 位
大 平		1-2	0-2	2-1	3
丘	2-1		2-0	2-0	1
今沢A	2-0	0-2		2-1	2
坂	1-2	0-2	1-2		4

B	大 湊	穆清A	金 岡	北 上	順 位
大 湊		2-0	2-0	1-2	2
穆清A	0-2		0-2	0-2	4
金 岡	0-2	2-0		0-2	3
北 上	2-1	2-0	2-0		1

1、2位決定戦 北 上 2-0 丘

<中 部 地 区> 60.11.17 大富小、豊田小

Aブロック

1回戦
 住吉 A 2-0 大富 A 決 勝
 青 島 2-0 和 田 東 益 津 2-0 青 島 東 大井川町南A 2-0 住吉 A

2回戦 準決勝
 大井川南A 2-0 青 島 大井川南A 2-0 岡 部
 岡 部 2-1 細 江 住吉 A 2-1 東 益 津

Bブロック

1回戦
 大井川南B 2-1 大井川西 決 勝
 笹 間 2-0 広 幡 身 成 2-0 焼津東B 笹 間 2-0 大井川南B

2回戦 準決勝
 笹 間 2-0 焼津西 笹 間 2-1 相 良
 相 良 2-0 大 洲 大井川南B 2-1 身 成

Cブロック

1回戦
 高 洲 2-0 青 島 北 決 勝
 坂 部 A 2-0 藤 岡 黒 石 2-0 焼津南 豊 田 2-0 高 洲

2回戦 準決勝
 豊 田 2-0 坂 部 A 豊 田 2-0 朝 比 奈
 朝 比 奈 2-1 港 高 洲 2-0 黒 石

Dブロック

1回戦 準決勝 決 勝
 住吉 B 2-0 坂 部 B 小 川 2-0 住吉 B 川 崎 2-0 小 川
 小 川 2-0 大井川東 川 崎 2-0 焼津東A
 川 崎 2-0 高洲南
 焼津東A 2-0 大富 B

<西部地区> 60.11.10 竜洋西小

A	浜北	掛川城北	西部	桜木	順位
浜北みどり		2-0	2-1	2-0	1
掛川城北オレンジ	0-2		0-2	2-1	3
西郷	1-2	2-0		2-0	2
桜木	0-2	1-2	0-2		4

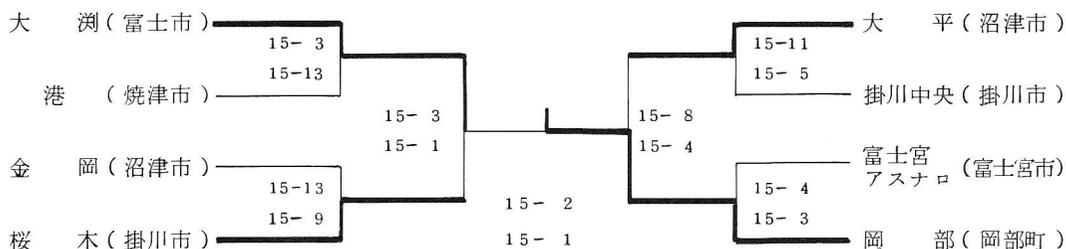
B	竜洋西	小笠東	黒潮東	掛川城北	順位
竜洋西ビーバー		0-2	0-2	2-0	3
小笠東	2-0		2-0	2-0	1
黒潮東	2-0	0-2		2-0	2
掛川城北レモン	0-2	0-2	0-2		4



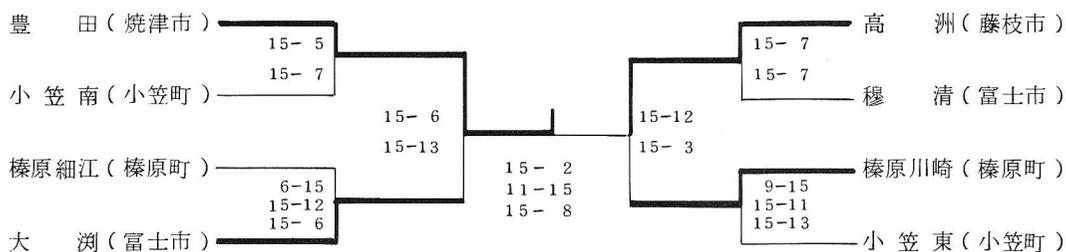
県 大 会

60. 12. 1

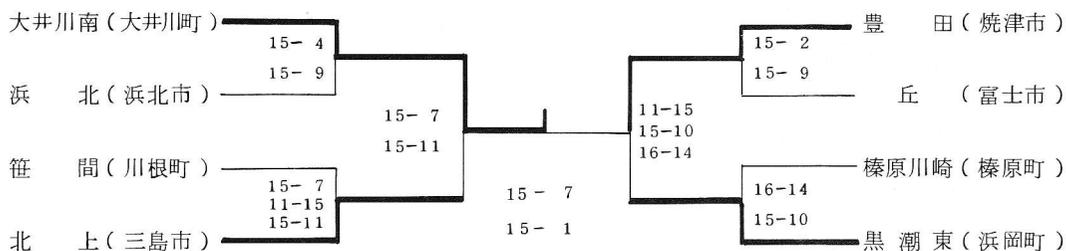
男 子 （浜北市立北小学校体育館）



6 年 女 子 （浜北市民体育館）

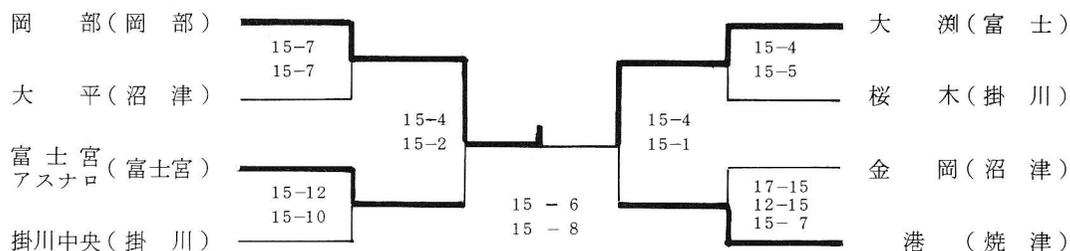


5 年 女 子 （浜北市民体育館・浜北市立北浜小体育館）

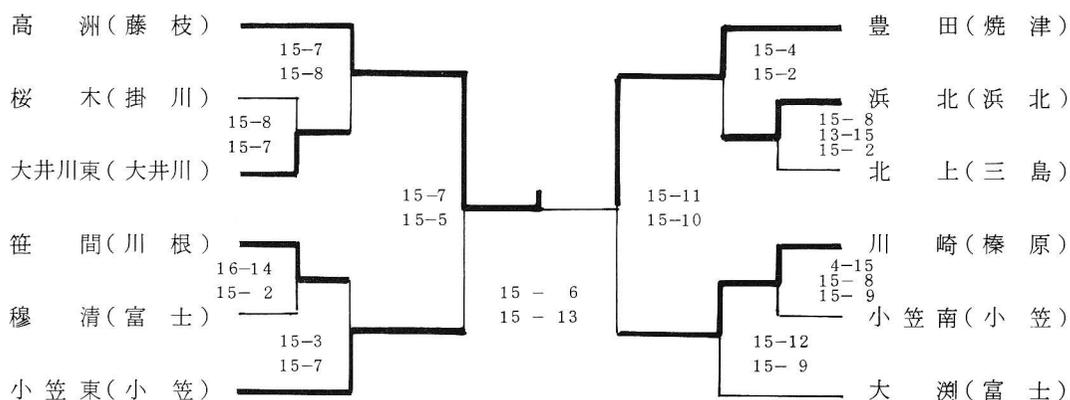


第14回 木部杯少年少女大会

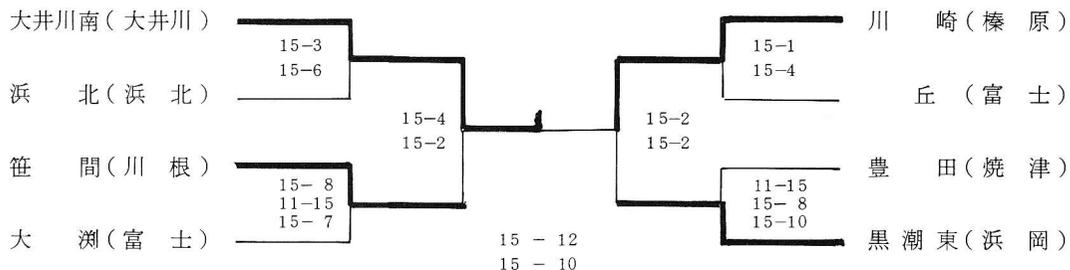
男子



6年女子



5年女子



編 集 後 記

静岡県バレーボール大会の組織も拡大し、活動もますます活発化してくると、各業務部や専門部の活動状況が把握しにくくなってきた。せめて記録だけでも年度毎に一括して残しておきたいとの声で、この冊子にまとめることになった。

昭和59年暮ころ、中村均総務委員長より、前記の主旨による「年鑑」的なものの編集を考えてほしいとの要請があった。60年3月の県評議員総会で正式に話が出され、編集部がその任に当ることとなった。60年6月総務委員会の事務局と経理部、編集部の手合会議が開かれて、細部にわたる話し合いを行った。9月の常任理事会で「年鑑」の内容の概略を発表して、作業に取りかかった。

「創刊号」は欲ばらず、記録を中心にまとめる程度にしようと思いをきめた。その記録を集めた結果、量が多いことと、記録のまとめ方がばらばらで、この整理が大変であった。

会長さん始め、それぞれの職場で多忙な仕事をもっている各責任者の皆さんに原稿をお願いしている間に、「年鑑」の正式の名前を英語の「Volleyball Annual Shizuoka」ときめたり、表紙は若い人の感覚

のものにしようと、結局静岡城北高校の牧野民枝さんを書いてもらうことにした写真を撮ったり集めたりしなくてはならず、小学生に「私とバレーボール」の記事を依頼、総務委員長からは名簿も入れてくれ、あれも、これもとの要望も多く、編集委員の中からも、こんな記事も入れたい、こんな企画もしたいと出たものの、予算と頁数の関係で来年以降に盛り込むことにし、結局地味な記録中心のありきたりのものになってしまった。

来年度の Annual には、バレーボールを愛する皆様に親しんでもらえるもの、皆様からの写真や便りや、楽しい企画も入れたいと話があった。

編集に当ってはサンヨー印刷の大村勇氏に大変お世話になり、一方、度々の編集会議には快よく場所を提供して下さった梅乃家旅館さんと、写真の提供と表紙選定には大野カメラ店さんのご協力をいただいたことに深く感謝する。

編集委員長 大 川 勇



編集スタッフ

募集

表紙：イラスト，絵，版画
などVolleyball Annualに
ふさわしいもの

写真：試合，応援，練習風景

作文：バレーボールに関するもの

カット：ページの空白を埋めるもの

送り先：〒422 静岡市聖一色
大川 勇

☆—————☆—————☆

編集委員会よりのお願い

編集委員会では60年度版を総力を上げて作成しましたが、
61年度版もより一層の充実を図りたいと考えています。

そこで、皆様より表紙イラスト，作文，スナップ写真などを
募集いたしますので、上記へお送りください。

よろしくお願ひします。